

## 付録1：Q22「学術論文の利用に関して問題となる事項や要望」（自由記入）回答

アクセス環境に関する意見、コンテンツの拡充に関する意見、システム機能の改善に関する意見、各大学の事情に起因する意見、その他・全般的な意見に分類した。複数の意見を含むものについては、主たる意見は何かを基本に判断した。また、アクセス環境に関する意見とそれ以外の意見が並列で述べられている場合には、アクセス環境以外で分類した。なお、これ以外に「なし」「特になし」という記述をしているものが68件あった。また、どの機関に所属しているかがわかるものについては、趣旨を損なうことなく改変し、日本原子力研究開発機構に所属する回答者の意見は、所属属性の表記によって機関が特定されてしまうので、この付録には含めなかった。

### 1. アクセス環境に関する意見

パスワードさえあればどこでも利用できるようにしてほしい【大学院生，人文学，国立大学】

私は自宅からも勤務先を経由して各種検索が出来るので、現在のシステムをありがたいと思っている。【教員，数物系科学，PULC】

自宅など学外からも自由にアクセスできるようにしてほしい。【教員，医歯薬学医学，PULC】

○自宅からも使いたい○古い論文にアクセスする権利がない場合がある。アクセスできるようにしてほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

インターネットが接続できないときでもすぐに入手できるシステムを開発してほしい。・自宅から使いたい。【大学院生，化学，国立大学】

データ更新の早さ・検索機能の充実・学外からも利用可能であること【大学院生，生物学，国立大学】

学外からも使いたい。・利用可能な神経科学・脳科学関連の電子ジャーナルを増やしてほしい。【教員，総合領域，国立大学】

自宅からも使いたい・Web上で見ることの出来ないジャーナルがある（Avian Disease など）・Key Wordとして存在しないと検索で引っかからない時がある【大学院生，農学，国立大学】

自宅からも使いたい・もっと速くアクセスできるようにしてほしい【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも使いたい・学生にはかなり費用の負担が大きいが、図書館以外のものも使いたい。【大学院生，社会科学，PULC】

自宅からも使いたい・古い年代の論文が無い・登録されていない雑誌がある・有料ダウンロードサービスは科学進歩を考えるならやめるべき【教員，数物系科学，国立大学】

自宅からも使えると便利（本学ではVPN接続で可能であるが、接続速度が遅い）【教員，工学，国立大学】

自宅からも使えるようにしてほしい。・検索の仕方と検索できる分野の説明などを書いたハンドブックのようなものが欲しい。【教員，複合新領域，国立大学】

I wish to search journal at home. 【大学院生，化学，国立大学】

I would like to use the E-journal facility from my home, so that I can search for necessary papers even on holidays (while I am at home). 【大学院生，生物学，国立大学】

ID やパスワードを発行して、自宅からでも利用できるシステムがあればいいと思います【大学院生，農学，国立大学】

ID やパスワードを利用して自宅からも電子ジャーナルを使用できるような仕組みがあると助かります。【教員，社会科学，国立大学】

IEEE xplore が自宅から使えると便利 【大学院生，工学，国立大学】

It will be very convenient if we can use it at home. For example, as students of the university of Tokyo, we can log in with our student ID. 【大学院生，生物学，国立大学】

mac アドレス登録方式で家からもアクセスできるようにしてほしい。【教員，工学，国立大学】

ScienceDirect 等は自宅でも印刷不可でもいいので論文のPDFを見れるようにしてほしい。【大学院生，化学，国立大学】

Virtual Private Network (VPN)等を経由して、是非とも自宅や出張先からも利用したいと考えています。以前は利用できていましたが、最近になってセキュリティ・ポリシーが変更になったためか、利用できなくなりました。【教員，数物系科学，国立大学】

VPN との連動を向上させる 【教員，工学，PULC】

VPN 接続等を介して、学外からの利用を可能にして欲しい。電子ジャーナルの購読数を増やして欲しい。【教員，生物学，国立大学】

アカウントを利用して自宅や出先からアクセスすることができれば大変便利だと思います。【大学院生，工学，国立大学】

アクセスがどこでも可能になることを希望 【教員，数物系科学，国立大学】

アクセスするために、わざわざ出勤することもあり、自宅から可能ならば望ましい。ただし、現在のアクセス権の管理、使いやすさなどから考えると施設の IP での管理はやむを得ないと思っている。個人認証が進歩し、学内にアクセス権等を管理する部署（人事がやらざるを得ない情勢とは思っています）ができれば可能になると期待している。【教員, 医歯薬学医学, PULC】

アクセスに制限があるのは不便。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

アクセスの制限がかかっている事が、利用場所の制限になっている。【教員, 医歯薬学医学, PULC】

アクセスはどこからでも可能になることが望ましい。大学ごとの個別の電子ジャーナルではなく、様々な大学の論文をみるのが可能な総合的なデータベースを構築すべきと思われる。【大学院生, 人文学, 国立大学】

アクセスは大学に限られてもかまわないが、とにかく手に入らないということがないようにしてほしい【教員, 工学, 国立大学】

アクセスまでに時間がかかりすぎる【教員, 医歯薬学医学, PULC】

アクセス制限や、使用可能な年数が限られていることがある。研究期間を通じてアクセスできる電子ジャーナル上に見受けられても年数のために、閲覧できない場合がある（結局、調べることを諦めた）。全てのジャーナルが全件検索、閲覧できるとありがたい。【教員, 化学, 国立大学】

いろいろ問題はあると思いますが、自宅からでも自由に使えるようになってくれると嬉しいです。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

インターネットからの PDF 等の論文の入手は大変便利であるが、インターネット接続環境により入手できたりできなかったりする。また、出版年により有料になったりするので、できるだけどこでも無料で入手したい。【大学院生, 工学, PULC】

インターネットを経由して自宅から、web of science に入れたり、大学のサーバを通じて論文をダウンロードできるシステムがあればとても便利だともいます。【大学院生, 生物学, PULC】

インターネットを経由して論文を取得する際、データ量の重い論文をダウンロードする場合にパソコンが停止してしまい、時間がかかってしまう。【大学院生, 生物学, PULC】

かなり便利ですが、利用できる施設が限られており（大学）、それ以外の所属の場合、高いコストを払う必要があるのが非常につらいです。大学所属であれば、せめて、ID 等により自宅等を含め、外部からもアクセスできるようにしてほしいです。【その他, 医歯薬学医学, PULC】

すべての雑誌が自宅からアクセスできるといい【教員, 医歯薬学薬学, 国立大学】

さまざまな困難が予想されるが、自宅でも使えるようになれば、こんなによいことはない。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

セキュリティー機能を強化して、自宅からアクセスしたい。日本語の論文も電子化していただきたい。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

セキュリティー上の問題が大きいかもしれませんが、研究を進める上では、大学外からでもアクセスできるようにしてほしいです。【大学院生，化学，国立大学】

セキュリティーを確立した上で自宅や移動先でも使用できるとよい【大学院生，工学，国立大学】

ぜひ、自宅からも使えるようにしてほしい【大学院生，化学，国立大学】

ぜひ、自宅から使いたい。【大学院生，生物学，PULC】

ぜひ、自宅で使いたいです。【大学院生，工学，国立大学】

ぜひ自宅からもアクセスできるようにして頂きたい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

ぜひ自宅からも使いたい【教員，工学，国立大学】

ぜひ自宅から使えるようにしてほしい。【大学院生，工学，国立大学】

そうです。自宅からも使いたいです。【大学院生，社会科学，国立大学】

そうですね、自宅からも使えると助かります。【大学院生，複合新領域，国立大学】

できれば、自宅から使いたい【大学院生，化学，国立大学】

できれば自宅からも使いたいです。【教員，工学，国立大学】

できれば電子ジャーナルを自宅からも使いたい。現状でも、大学のコンピュータに自宅から接続し、その大学のコンピュータ経由で論文をダウンロードするといった方法はあるが、より手軽な方法があればその方が良い。【大学院生，人文学，国立大学】

どこからでもDL出来ればいいな、と思います。【大学院生，医歯薬学-医学，PULC】

どこからでもアクセスできるとよい。電子化をすすめるべきである。【大学院生，工学，国立大学】

どこからでもアクセスできるようにしていただきたい。【大学院生，化学，PULC】

どこからでもアクセスできるようになれば便利。【教員, 工学, PULC】

どこからでも権利があればアクセスできると、どんな良いかと思います。【教員, 医歯薬学看護学, 国立大学】

どこからでも使えると助かりますほしい論文ができる限りインターネット経由で入手できると良い  
【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

どこからでも使えるのが最もよい。【教員, 生物学, 国立大学】

どこからでも手軽に利用できるようになってほしい。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

どこからでも利用できるようにしていただくと助かります【教員, 医歯薬学看護学, PULC】

どこでも使えます。【大学院生, 工学, 国立大学】

どこでも使えるようにしてほしい【教員, 農学, 国立大学】

どこでも読める様にしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

どこでも利用できれば、ありがたいと思います。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

どこにいても論文検索ができて、データがPDF化されてほしい。たまってきた論文は保存しておくのに場所が必要になるため。【大学院生, 社会科学, PULC】

どのパソコンからもアクセスできると便利【大学院生, 生物学, 国立大学】

パスワードがあれば、どこのパソコンを利用していても論文が入手できるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

パスワードで制限かけて自宅や出先からも利用できるとよいと思う。【大学院生, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

パスワードなど、何らかのセキュリティ対策をした上で、自宅など、大学以外からも検索できれば大変助かる。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

パスワードの配布などで学外から使えるようになれば便利です。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

パスワードをもらうことによって自宅、学外から使えるようになると便利。【大学院生, 農学, 国立大学】

パスワードを設定して自宅や外出先からも使用したい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

パスワードを設定するなどして自宅からも使えるようにしてほしい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

パスワード制などでもかまわないので，自宅からも利用できると嬉しい。紙媒体のみのものもどんどんPDFで読めるようになると嬉しい。【大学院生，工学，国立大学】

パスワード設定で自宅や出張先でも使いたい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

パスワード等の入力により大学外からも電子ジャーナルのフルアクセスが利用できるようになると便利です。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

パスワード等を使って自宅コンピューターからもアクセスできると便利【教員，生物学，国立大学】

パスワード等を使用することで世界中どこからでも利用できるようになると便利で助かります。【大学院生，化学，国立大学】

パスワード等を用いて自宅からも利用できると嬉しい【大学院生，総合領域，国立大学】

フィールド調査で一年のうち半分は学外にいるので，学外（自宅含む）でも使いたい。【大学院生，生物学，国立大学】

ほとんどの電子ジャーナルが学内PCからしか利用できないので，是非とも自宅からも使えるようにしてほしい。日中は授業と事務で忙殺されるので，深夜や早朝に自宅で利用できると非常に助かる。【教員，社会科学，PULC】

まさしく自宅から使いたいです。休日にデスクワークだけしたくても，研究室に来て，学内からアクセスしなくては文献が読めません。【大学院生，生物学，国立大学】

まさに自宅からも使用したいです。印刷体でも，コピー版をダウンロードできると便利と考えます。【大学院生，工学，国立大学】

もちろん，自宅からも無償で使用したいとは思いますが。【教員，生物学，PULC】

もちろん自宅からも使いたい。【大学院生，社会科学，PULC】

もちろん自宅からも使うことが出来れば，とても便利になる。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

もちろん自宅からも使えるのが best!!購入の際に，個人のクレジットカードではなくプリペイドカ

ード（研究費の利用が可能、あるいは大学負担）のようなものが使えると助かります。自腹が多くなるので考えてほしいものです。この場を借りて、愚痴を言わせてもらえるのなら研究費が全てプリペイドカード方式で支給されれば問題はないし、中間チェックも入れ安く、不正も防ぎやすいと思います。こうなれば当然電子 paper が世の主流になるでしょう。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

もちろん自宅からも使えるようにしてほしい。さらに使える雑誌を増やしてほしい。今日、研究室に対する予算削減により購読を止めてしまう雑誌が増加している。そのため、電子ジャーナルも使えなくなり不便を感じる。【大学院生, 生物学, PULC】

もっと安価に個人利用が可能になればよい【大学院生, 人文学, 国立大学】

もっと安価に自宅からのアクセス【教員, 化学, 国立大学】

もっと自宅から利用しやすくしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

モバイル機器での利用を充実してほしい。【教員, 複合新領域, PULC】

やはり、パスワード等により自宅でも使用できるようにしていただきたい。【教員, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

やはりどこからでも使用できる体制が一番と思うので、海外の大学ではこの点が充実しており、日本でもできればと思います。【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

やはり自宅から使いたいです。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

やはり自宅から使えたらよいと思う。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

ユーザー登録・パスワード設定等により自宅からもアクセスできるようになればうれしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

ユーザー名とパスワードを入力するだけで学外から利用できるようにしてほしい。それによって例えば通学中に論文を読むことが可能になり、研究の効率が飛躍的に高まると思います。【大学院生, 工学, PULC】

よく使う論文に関しては自宅からも使いたい【教員, 数物系科学, 国立大学】

リモートアクセスが禁止されているジャーナルについては、リモートアクセスの許可が欲しい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

リモートアクセスが非常に便利であり、頻用しております。取扱雑誌がさらに増されることを期待しております。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

ログインして自宅からも検索できるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

ログインの ID とパスワードを支給するなどして, 自宅からでもアクセスできるようにしていただきたい。【大学院生, 農学, 国立大学】

安価にしてほしい。どこからでも使用できるようにしてほしい。【教員, 生物学, 国立大学】

以前は平日夜間や休日に医局で, 論文検索や学会準備をしていましたが, こどもができてからは, 夜間, 休日に出て来れなくなったため, 自宅から電子ジャーナルが使えると助かります。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

医学図書館に申請して, 使える以外の雑誌も自宅から使いたい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

育児をしながら勉強していますので, あらゆる資料が自宅から入手できると非常にありがたいです。【大学院生, 社会科学, PULC】

一点目, 自宅からの利用を可能にしてほしい。二点目, 古い雑誌を入手できるようにしてほしい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

一部, 自宅からも利用できるようになっていて, できるだけ広げて欲しい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

一部タイトルだけでなく, 図書館で契約している全ての雑誌が, 大学外からも見られるとよいと思う。少なくとも, Web of Knowledge が使えたらいいと思う。【大学院生, 生物学, 国立大学】

一部の雑誌はポータルサイトを通じて自宅からでも利用できるようになっていて, 最も利用頻度の高い ACS (American Chemical Society) の雑誌を阪大外部からも取得できるようになればよい。【大学院生, 工学, 国立大学】

閲覧は自宅などあらゆる所で出来る様にすべきだが, ワードなどへのコピーペーストがされない様にすべき。【教員, 医歯薬学-看護学, PULC】

可能であるならば, SciFinder を自宅の PC から利用可能にしてほしい。【大学院生, 化学, PULC】

可能であれば, いつでもどこでも閲覧できればよい。【教員, 総合領域, 国立大学】

可能なら自宅からも使用したい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

可能な範囲で, 登録された情報を利用して自宅等からもアクセスができればよい。認証等に問題が



るようであれば、閲覧したい論文を外部から登録して、別プロセスで取得できるようなどしてほしい。メールでタイトル等を送る機能を利用して、同様のことをしているが、本文が閲覧できないので、空き時間での論文検索作業で効率が悪い。【大学院生，工学，国立大学】

家でふと思いついた事柄など調べたいと思っても、抄録しか読めない場合、とても歯がゆい時があります。一般のウェブを介した方法で図書館にアクセスでき、ダウンロードすることができればいいと思います。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

外部から（パスワード等で）アクセスできるようにしてほしい。【教員，化学，国立大学】

外部からのアクセスもできるようにしてほしい。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

確かに、自宅からも使いたい。【教員，工学，国立大学】（ほか1名）

過去4年以上のものは無料で閲覧したい。契約していない出版社のものはもっと安く～100円で閲覧できればうれしい。自宅からも使いたい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

確かに、自宅からも使えると便利！【教員，工学，国立大学】

確かに、自宅や出張先から利用したい。ある意味一番時間があるので。【教員，工学，国立大学】

確かにどこからでも(自宅や学会出張先などから)アクセスできるとよい。【教員，化学，国立大学】

確かに自宅からも使えるととても便利になります。【その他，医歯薬学-医学，国立大学】

確かに自宅から使えればいいですが、どうしてもというわけではありません。【教員，化学，国立大学】

確かに職場だけでは休日など不便だとは思いますが。でも予算の問題もあるでしょうし・・・あとはもっと古い雑誌もオンライン化されるとありがたいですね・・・60年代とか・・・【教員，生物学，国立大学】

学園祭など大学の行事の時は図書館が開いていないことが多いので、電子ジャーナルなどで公開して、自宅からでも使えるようにしてほしいです。【大学院生，人文学，PULC】

学外(自宅，出張先)から利用したい【大学院生，数物系科学，国立大学】

学外（自宅や出張先）からも使える個人認証サービスを取り入れてほしい。データベースからの論文へのリンクをより充実させて欲しい。【教員，化学，国立大学】

学外からアクセスして情報をダウンロードできるようにしてほしい。【教員，化学，国立大学】

学外からアクセスできなのが不便【教員, 工学, PULC】

学外からでも(出張先や自宅), 使用できるようなシステムがあるといいと思う。特別のパスワードなどを作って。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学外からでもVPN等を利用して使えるようにしてもらいたい。【教員, 化学, 国立大学】

学外からでもダウンロードできるようにしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

学外からのアクセスを可能にするかどうかについては慎重になるべき。ただし, 連携研究機関等に長期間滞在している場合など学外で業務を行う必要がある場合の教職員, 大学院生の利用については便宜を図れるようであるとありがたい。【教員, 複合新領域, 国立大学】

学外からのアクセス可能にしてほしい【教員, 生物学, 国立大学】

学外からの利用が可能になると素晴らしいと思う。使い方, 契約等の情報をもっと積極的に提供してほしい。【教員, 工学, 国立大学】

学外からの利用も検討してほしいもう少し雑誌の種類を増やしてほしい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学外からもアクセスできると便利。大学側の都合(停電やメンテナンス)により, ジャーナルへのアクセスができなくなることが有り, 不便。【教員, 化学, 国立大学】

学外からもアクセスできるようにしてほしい。【教員, 工学, 国立大学】

学外からも医中誌やMEDLINE等が利用できるようにしてほしい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学外からも簡単に利用したい。【大学院生, 工学, 国立大学】

学外からも検索できるようにしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

学外からも使いたい【教員, 工学, 国立大学】(ほか3名)

学外からも使いたい。また, 雑誌の最新版の論文も読みたい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

学外からも使えると便利【教員, 生物学, 国立大学】

学外からも利用したい。【教員, 数物系科学, 国立大学】

学外からも利用できるとうい【大学院生, 工学, 国立大学】

学外でも使いたい【教員, 工学, 国立大学】

学外で研究するときなど利用できる電子ジャーナルが限られてしまうが, 外出先からも使いたい。  
【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学外で論文を読むことを想定してPDFでダウンロードして保存しておくことになるが, どこでもネットワークからアクセスできるようならその必要がなく便利である。ただし, 本当に読みたい論文は紙の方が読みやすいこともあり, 印刷するようにしている。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学外にて, 学内と同様に検索ダウンロードできると大変助かります。【大学院生, 農学, 国立大学】

学外のパソコンからでも閲覧できるようになれば素晴らしいと思う。【その他, 化学, 国立大学】

学校の方からIDやパスワードをもらうなどの方法によって自宅からも使えるようになればよい。最近の論文は電子ジャーナルで見ることができるとは, 雑誌によっては少し昔の論文は読めなかったりするので最近のものだけではなく過去の論文も見られるようにしてほしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

学校の末端に限らず, IDとアクセスパスワードがあればどこでも使えるサービス【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学校以外でも, 検索, 印刷が可能になれば, もっと便利になると思う。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

学校中では使えるが, 学校以外ところでは使えないです。他のところからもアクセスできることになれば良いと思います。【大学院生, 工学, 国立大学】

学術論文が自宅からも見れるようになるのであれば, その方が嬉しい。【大学院生, 工学, 国立大学】

学術論文の検索・閲覧は, 自宅からもできるようにしてほしい。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

学生にとって論文をオンラインで読むには学校を通して読むことが経済的に最も有効です。大学が購読料を払ってくれていることで学生は大学で高い頻度で読むことができます。できれば大学で購読できるものくらいは自宅でも読めるようになると非常に便利だと考えています。【大学院生, 化学, 国立大学】

学内からしかアクセスできないのが不便である。(外勤先などから照会したいときなど)【教員, 医

歯薬学-医学, PULC】

学内だけでなく、自宅でも検索できるとありがたい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学内だけでなく出張先からも使えると便利【教員, 農学, 国立大学】

学内だけのほうがよい。【教員, 総合領域, 国立大学】

学内でしか利用できないものに関しては、自宅からも利用したいと思います。また、最近だと Web において PDF など閲覧・DL ができる文献とできない文献では、利用頻度が大きく変わっているのではないかと思います。大変だとは思いますが、全ての文献ができるだけ Web で迅速に、かつ無料で入手できるようになってほしいという希望があります。【大学院生, 総合領域, PULC】

学内で使用できる e-journal は自宅からでも使用したい。大学院を卒業した後も大学院の HP にアクセスすることにより自宅からでも使用できるようにしてほしい。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

学内と同じ環境(雑誌の制限なく)で自宅からも使いたい古い学術雑誌についても、オンラインで見れる分には、すべてを網羅してほしい【大学院生, 化学, 国立大学】

学内にいないと検索出来てもダウンロードできないのは不便。出張先や自宅でもできるようにしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学内の network がダウンすると使えなくなるのが不便。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学内のネットワークからしか接続できないようなデータベースに自宅などからも接続したい。【大学院生, 社会科学, PULC】

学内以外でも検索できるようにしてほしい【大学院生, 生物学, 国立大学】

学内以外で使用する場合、スムーズに使用できないのが不満です。接続の手続きや、繋いでからも不安定です。でも、だいたいは学内だけで足りるので、そこまでは必要とはしていません。【大学院生, 化学, PULC】

機関に所属していることを ID とパスワードなどから確認させて、所属機関以外(たとえば自宅)でも電子ジャーナルにアクセスできるようにしてほしいです。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

休日を有効に使えるので是非自宅で使いたい。【大学院生, 工学, 国立大学】

検索および取り込みを自宅でも利用したい【教員, 数物系科学, 国立大学】

研究の都合で、長期間野外調査に出ることが多いのですが、インターネットが使える環境であれば、

出先からでも、簡単に文献検索ができたり、電子ジャーナルを入手できるようなくみがあると大変助かります。現状では、帰ってきている間に、出張中に使うであろう文献をまとめて、検索、入手していますが、やはり不都合は感じます。【大学院生，生物学，国立大学】

研究機関を通さずに自宅からアクセスできるようにしてほしい【大学院生，数物系科学，PULC】

研究室あるいは大学内だけでなく、自宅あるいは外出先での利用ができると都合が良い。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

研究室以外でも使えるようにしてほしい。【大学院生，農学，国立大学】

研究室単位にアカウントを付与する制度があると便利（学生に使わせることができる）【教員，総合領域，PULC】

研究上かなりの論文を読むため、論文検索にはいつも苦労している。できることなら自宅からも電子ジャーナルに接続できるようにしてもらいたい。【大学院生，総合領域，PULC】

現在、研究室内のサーバーを介して、図書館のデータベースにアクセスしているが、直接アクセスしたい。【大学院生，工学，国立大学】

現在、東京大学では基本的には電子ジャーナルのアクセスは大学内からとなっているが、自宅や出張先で確認したいこともあるので、せめて教官だけでも ID，password を出してもらって使えるようにしてほしい。【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

現在では、裁判所の判例等も自宅のインターネットで検索できるようになっているので、学術論文についてもそのような措置がとれるようになれば、時間を有効に使用できる。【大学院生，社会科学，PULC】

現在の電子ジャーナルのほとんどは、大学からのみ利用できるもので、ID & パスワードを利用するなどして自宅でも利用できるようにしてほしい。【教員，社会科学，国立大学】

現在は、所属部局を介して自宅からアクセス可能だが、直接出来るようになれば便利。【教員，総合領域，国立大学】

現在は、大学内でしか利用できないため少し不便さを感じます。ほしい時に例えば、自宅や学外等でも入手できるとありがたいです。あと、「検索」はうまくできない場合があります。例えば、電子情報通信学会の ELEX をたまに使っていますが、やはり検索はうまくいかずあきらめて Google などで探してみることも多々あります。【大学院生，工学，国立大学】

現在は学内のコンピューターでないと利用できないので、自宅から使えればありがたい。PDF をダウンロードするためには料金を払わなければならないジャーナルがある。無料化できないのだろう

か。【教員，農学，国立大学】

現在は学内のみであるが，パスワードを設定するなどして使用可能にすると役立つ。【教員，工学，国立大学】

現在は大学，研究所のみからアクセス可能な状態なので，パスワードなどにより，どこからでも利用できるようなれば，うれしい。過去の学術論文で，PDF化されていないものが多い。大学単位で，所蔵雑誌のPDF化を進め，学内の人に広く利用しやすくしてほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

現在は大学でしか使えないが，自宅で使えるとよい。【教員，工学，国立大学】

現在は大学構内で無料で見ることのできる論文が限られている。そこで，もっと多くの論文を無料で見ることができるようしてほしい。【大学院生，農学，国立大学】

現状で，ほぼ満足ですが，今後，退職した後にも，自宅等から利用できればありがたいと思います。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

個人用のオールマイティーなID・パスワードを設定し，自宅や出張先からも利用できるようなると便利【教員，数物系科学，国立大学】

構内からのみではなく，どこからでも繋げるようにしてほしい。【大学院生，工学，国立大学】

国内および海外出張の時にも使用したい。【教員，生物学，国立大学】

今は大学のみでしか利用できないため自宅でも同様の機能で使いたい。【大学院生，医歯薬学-医学，PULC】

仕事に関することは自宅からでも使えると便利【教員，農学，国立大学】

仕事場以外でもダウンロードできるようにしたい。【教員，工学，国立大学】

子育て中で学校で十分に論文検索ができないので，自宅から使えるようにぜひしてほしい。【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

支度からも利用したい【教員，化学，国立大学】

私は社会人コースですが，学内の検索を使用できないため，それが使用できるよう改善を願う。【大学院生，化学，国立大学】

私は社会人ドクターゆえ，会社のシステムを使います。JSTPlusで検索をしてもらって，文献複写

依頼を書いて対応しています。当然、予算が必要ですが（専用の人を確保、および、コピー代等）、大学でも、そういったシステムを作った方が、役に立つと思います。私の大学時代に、全学に散って存在する、各学科の図書館に行って、コピーをする時間をとられたことを考えると、いくら時間がある大学生にも、面倒くさいと思いますので、専用の人を置いて対応する可能性もあった方がよいと思います。また、現状の検索システムでは、古い論文の検索が不可能である点も、やや難があります。古く、価値の高い論文は、開架で論文誌を保管されていないと探せないのも、古い本の保管も、大学の重要な役目であると思います。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅,あるいは出張中のホテルなどから使いたい場合がある。【教員, 工学, 国立大学】

自宅, 或いは外出先等, 研究室以外の場所からアクセスしたい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅, あるいは大学院の LAN 以外からも使いたい【大学院生, 社会科学, 国立大学】

自宅, また出先, 移動中にも使いたい。その際の接続速度を速くする工夫がほしい。【教員, 人文学, PULC】

自宅, 海外どこでも使用できるようにしてほしい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅, 外勤先からも使いたい (Keio.jp でできますが) 電子ジャーナルが紙媒体のようにばらばらめくって情報が得られるようなシステムにできればと思います【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅, 研究室などからも使いたい【大学院生, 社会科学, 国立大学】

自宅, 出先から使いたい。【大学院生, 農学, 国立大学】

自宅, 出先でも使用できるようになればもっと良い。【教員, 生物学, 国立大学】

自宅, 出張先あってもオンラインジャーナルにアクセスできればよい。古い論文やマイナーな論文もどんどんオンライン化して欲しい。【教員, 工学, 国立大学】

自宅, 出張先からの使用 (VPN などを用いて職場からアクセスすることで対応可能だが, レスポンスの点で不満が残る)。契約金額の問題であることは重々承知しているが, 出版社が提供している限りは, 過去の巻・号すべてへのアクセス。【教員, 工学, 国立大学】

自宅, 出張先からも使えると便利。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅, 出張先から使いたい。【教員, 生物学, 国立大学】

自宅, 出張先から利用したい【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅、出張先などでも使用できるようになると良い。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

自宅，他所でも使えたらよい【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅・外出先から簡単な認証のみで使用ができればより使いやすい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅・学外からもアクセスできるシステムだと助かる。【大学院生，数物系科学，国立大学】

自宅・出張先からも使いたい【教員，農学，国立大学】（ほか4名）

自宅あるいは学外からもアクセスできると有難い【教員，化学，国立大学】

自宅あるいは出張先から電子論文サービスにアクセスでき，大学内で利用するのと変わりなく論文を検索および閲覧できれば素晴らしいです。【大学院生，化学，国立大学】

自宅および出張した場所でも使いたい。【大学院生，工学，国立大学】

自宅から，あるいは出張先から使えるとかなりありがたい。パソコンのプロキシ設定など手軽にできると良いのだが。。【教員，数物系科学，国立大学】

自宅から，あるいは大学図書館が印刷体を収蔵していないときにも，手軽に使えるようになったらよいと思う。【教員，社会科学】

自宅から，また出張先でもつかえるとうれしい【大学院生，工学，国立大学】

自宅からアクセスできるとありがたい。【教員，工学，国立大学】

自宅からある程度の範囲の論文がオンラインで使用できればより好ましい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅からインターネットでアクセスしたいが，PCの扱いに不慣れなのでやりかたがよくわからない【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅からインターネットを介して閲覧できればとても有用。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からでもIEEE xplora から論文をダウンロードしたい。【大学院生，工学，国立大学】

自宅からでもIPアドレスやユーザーなどの登録によって使えるようにしてほしい。【大学院生，数物系科学，PULC】

自宅からでも使いたい【教員，工学，国立大学】（ほか4名）



自宅からでも使いたい。有償でも良い。価格が安いことが必要。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅からでも使えれば良い事は勿論, 自身が属しない他大学や他研究機関のサイトでも自由に借りる事ができる様にして欲しい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

自宅からでも利用できるると便利である。とくに, 子育てや介護との両立を目指す研究者にとって, 自宅でのデスクワークは非常に重要と考える。【教員, 生物学, 国立大学】

自宅からでも利用できるようにしてほしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

自宅からでも利用できる論文量を増やしてほしい【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅からでも自由に見れたら便利だとは思う【大学院生, 化学, 国立大学】

自宅からでも電子ジャーナルが利用できるようになってほしいと思う。また, 文献の複写等が手軽にインターネット上で購入できるようになると便利である。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅からでも電子ジャーナルが利用できるようになると, もっと使う頻度が増すと思う。大学関係者であることを示すためのID及びパスワードの工夫が成されることを願っている。【大学院生, 人文学, 国立大学】

自宅からの利用をしたい。利用法の分かりやすい解説がほしい【教員, 化学, 国立大学】

自宅からの利用を可能にしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

自宅からの利用を可能にして欲しいと思います。【教員, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

自宅からは是非つかいたいです。雑誌の種類はもっと増やしてほしいです。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からは是非使いたいと思います古い文献も電子化されると便利【大学院生, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

自宅からも, また出張先でも簡単に使いたい【教員, 生物学, PULC】

自宅からも, 使えるようにしてほしいです【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅からも, 是非使いたい【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からも, 電子ジャーナルの閲覧ができるととても便利です。【大学院生, 医歯薬学-看護学, 国立大学】

立大学】

自宅からも science direct の利用が可能なのですが、閲覧できる雑誌数が少ないので困っています。

【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からも SciFinder や電子ジャーナルを使えるようになったらよい。また, SciFinder 検索のリンク先の雑誌がダウンロード対象外のことが多いのもっと大学からダウンロードできる電子ジャーナルを増やしてほしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

自宅からもアクセスしたい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】(ほか3名)

自宅からもアクセスして使用したい。【教員, 工学, 国立大学】

自宅からもアクセスできると良いと思う。【教員, 化学】

自宅からもアクセスできるような設定が欲しい。【教員, 化学, 国立大学】

自宅からもアクセスできるようにしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅からもアクセスできるようになれば非常に便利である。PDF 化されていない論文も多いので増やしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅からもつかえるといいPDFだとコンピューター画面上で読みにくい。もうすこし読みやすいレイアウトになるといいと思う。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅からもぜひ使いたいです【大学院生, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

自宅からもぜひ使用したい【教員, 生物学, 国立大学】(ほか1名)

自宅からもっと自由に使いたい【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

自宅からもパスワードなどの使用により, 利用できれば便利だとは思う。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からもパスワードなど入力でつかいたい利用できない電子ジャーナルの論文のpdfを, 入手できる方法を考えてほしい(有料でも可)【教員, 生物学, 国立大学】

自宅からもパスワードを入れることで使えるようにしてほしい【教員, 化学, 国立大学】

自宅からもパスワード等からあれば使えるようにしてほしい。古い文献もなるべくデータベース化して検索できて中身までできるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からもリンクできるようにしてほしい【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅からも閲覧, 検索, プリントアウトができるとよい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅からも閲覧できる雑誌を増やしてほしい【大学院生, 総合領域, 国立大学】

自宅からも検索でき, 利用できるようにしていただきたい【大学院生, 社会科学, 国立大学】

自宅からも見たい。【大学院生, 人文学, 国立大学】

自宅からも見られると便利だと思います【教員, 化学, PULC】

自宅からも使いたい【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】(ほか191名)

自宅からも使いたい(IDとPasswordを使って)【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅からも使いたい。・ダウンロードできる雑誌を増やしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からも使いたい。あるいは, CDやDVDで購入して手元におきたい。【その他, 工学, 国立大学】

自宅からも使いたい。一般に大学関連は学内からの接続限りの情報が多すぎる。【教員, 数物系科学, 国立大学】

自宅からも使いたい。使えるものについては, 使えることをもっと知らせて欲しい。【大学院生, 農学, 国立大学】

自宅からも使いたい。また, 卒業してからも使いたい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

自宅からも使いたい。リモートサービスを申し込んだが, 使い方がよくわからず, 結局使えなかった。もっと簡単に使えるようにしていただきたい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅からも使いたい。海外出張中でも使いたい。【教員, 数物系科学, 国立大学】

自宅からも使いたい。学生についてもどこからでもアクセスできることを希望する。【教員, 工学, 国立大学】

自宅からも使いたい。取れない雑誌があるとこまる。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からも使いたい。就職してからも使いたい。【大学院生，工学，国立大学】

自宅からも使いたい。新しい記事の閲覧開始時期(embago 1year みたいなのをできるだけなくしてほしい。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも使いたい。全て無料にしてほしい。【大学院生，数物系科学，国立大学】

自宅からも使いたい。非常に使いたい。【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも使いたい。余分な頁（情報）を付けなくて欲しい（例えば Science の1頁目）。【教員，生物学，国立大学】

自宅からも使いたいが一番大きいです。【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも使いたいデータベースから，各雑誌へのリンク移動が遅い【大学院生，生物学，国立大学】

自宅からも使いたいです。【大学院生，不明，国立大学】（ほか6名）

自宅からも使いたいと思います。【教員，社会科学，国立大学】

自宅からも使いたいと思う。【教員，社会科学，国立大学】

自宅からも使いたいと思うことがある。（大学よりも自宅を拠点に研究しているため）【大学院生，農学，国立大学】

自宅からも使いたいのは当然。PDFにできないものがあり，不便。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅からも使いたい接続に不具合が多いので改善して欲しい【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも使いたい無料で使用したい【大学院生，農学，国立大学】

自宅からも使えたら便利ですが，利用者特定の困難さから実現しないとあきらめている。【教員，化学，国立大学】

自宅からも使えると，研究がはかどる。【教員，生物学，国立大学】

自宅からも使えるとありがたい【大学院生，不明，国立大学】

自宅からも使えると大変助かります。【大学院生，生物学，国立大学】

自宅からも使えると非常にありがたい【教員，工学，国立大学】

自宅からも使えると非常に助かる。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも使えると便利【教員，生物学，国立大学】

自宅からも使えるようにしてほしい。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】（ほか3名）

自宅からも使えれば便利だと思う。すべての雑誌について利用できればいい。【大学院生，医歯薬学-歯学，国立大学】

自宅からも使えれば便利ではあるが，今のレベルで十分である。現状維持で構わないと思う。【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも使用したい【教員，医歯薬学-医学，PULC】（ほか3名）

自宅からも使用したい（図書館を経由するなどして大学にいる時と同様のセキュリティで）【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも使用することができれば便利だと思います。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも使用できたら便利だと思います【大学院生，医歯薬学-歯学，国立大学】

自宅からも使用できたら良いと思うが，不特定のIPからのアクセスを許容することになるので危険だと思う。大学・図書館などが認めたユーザに大学などへのリモートアクセスの権利を与え，きちんと管理し，それを経由した上で論文サービスにアクセス出来るように整備されると便利かと思う。  
【大学院生，工学，国立大学】

自宅からも使用できますが，検索のスピードの向上を望みます。【教員，化学，PULC】

自宅からも使用可能にしてほしい。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも自由に使えるようになると便利である【教員，生物学，国立大学】

自宅からも是非使いたい。【教員，農学，国立大学】

自宅からも大学で使える論文について，すべて使えると好ましい。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも大学へNETで入って使えるので問題ない【大学院生，工学，国立大学】

自宅からも電子ジャーナルへのアクセスが可能になるようになるとありがたい。【教員，人文学，国立大学】

自宅からも電子ジャーナルを使うことができれば嬉しい。【教員，工学，国立大学】

自宅からも電子ジャーナルを使えるようにしてほしい。【大学院生，工学，国立大学】

自宅からも文献検索ができるのととても嬉しい【大学院生，生物学，国立大学】

自宅からも利用したい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】（ほか5名）

自宅からも利用したい。課金もなるべく低価格にしてもらいたい。論文の迅速な提供と，提供元に迅速に質問など出来るシステムが整備されているとありがたい。【大学院生，人文学，国立大学】

自宅からも利用したい。契約上利用できないジャーナルは利用できるようにしてほしい。【大学院生，社会科学，国立大学】

自宅からも利用したいが，無料であると良い。【大学院生，工学，国立大学】

自宅からや関連施設からも簡単に使えるようにしてほしい【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅からより多くのタイトルをPDF閲覧できるようにしてほしい。【大学院生，化学，国立大学】

自宅から閲覧できるジャーナルを増やしてほしい【大学院生，人文学，国立大学】

自宅から学術雑誌をダウンロードして利用したい。【教員，数物系科学，国立大学】

自宅から学内LANに接続できると非常に良い。【教員，人文学，PULC】

自宅から簡単に使えるようになると非常に便利である。【教員，数物系科学，国立大学】

自宅から気軽に引けると嬉しい【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅から検索はできるが，オンラインジャーナルの印刷が全てできるわけではない。大学専任教員はオンラインジャーナルの入手を自宅からもできると便利と思う。検索サイトの関連について，同じキーワードで，他のサイトでも検索されるようなシステムになっていると何度も同じ入力をしなくてよいので助かる。【教員，医歯薬学-看護学，PULC】

自宅から研究室からまでの距離が遠く，大変不便を感じることが多い。せっかく電子ジャーナルがあっても，研究室のみでしかアクセスできないものが多く，これでは紙媒体と同じである。【大学院生，人文学，国立大学】

自宅から雑誌記事索引が使いたいです。【大学院生，社会科学，PULC】

自宅から使いたい【教員，工学，国立大学】（ほか12名）

自宅から使いたい 登録されてない論文も多い【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅から使いたい。ID とパスワードの使用によってアクセスできるようにすれば便利です。その際、サーバーの停止期間について、なるべく早期に知りたいと思います。【大学院生，医歯薬学-薬学，国立大学】

自宅から使いたい。サイトが基本的に重い(時間がかかる)ものが多い気がする。【大学院生，工学，PULC】

自宅から使いたい。卒業しても使いたい。【大学院生，生物学，国立大学】

自宅から使えたら最高【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅から使えるサービスはとても便利で助かります。PubMed や Scopus で読みたい雑誌が見つかって、PDF を入手できないことが多いので、ダウンロードできる雑誌数を増やしてほしい。もしくは、制限がないと便利です。【大学院生，医歯薬学-薬学，国立大学】

自宅から使えると、大変便利である。帰宅途中に、ふとした事で文献を参照したくなり、自宅で PubMed 検索をしても Abstract のみだと意欲が半減することもあるからだ。【教員，総合領域，国立大学】

自宅から使えると助かる【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅から使えるなら便利【教員，化学，PULC】

自宅から使えるのは望ましい。【教員，工学，国立大学】

自宅から使えるようにしたい【教員，生物学，国立大学】（ほか1名）

自宅から使えるようにしてほしい。【大学院生，医歯薬学-薬学，国立大学】

自宅から使えるようになれば、さらに便利だと思う。【大学院生，社会科学，国立大学】

自宅から使えれば確かに便利になると思いますが、認証がやっかいでしょうね。たとえば、Web のフォームで申請して、メール返信先が東北大のアドレスであれば自動で1日限りのパスワードが送られてくるというのは、いかがでしょうか？大学のアドレスのメールを転送している人は多いと思

いますし、上記であれば、学内の人に限る、という出版社との契約とも抵触しないように思います。  
【教員，数物系科学，国立大学】

自宅から使用したい（高額でなければ）【教員，数物系科学，国立大学】

自宅から使用したい。【教員，社会科学，PULC】（ほか1名）

自宅から使用したい。アクセス制限（新しい論文など）がないほうがよい。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅から使用することができるようになること。【教員，工学，国立大学】

自宅から使用できると良い【大学院生，医歯薬学-歯学，国立大学】

自宅から出張先からも使用したい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅から図書館 IP を経由しての論文検索が出来ると助かります。【大学院生，数物系科学，国立大学】

自宅から図書館を通じて電子ジャーナルを閲覧できると良いですね。【教員，農学，国立大学】

自宅から図書館経由で利用できることが望ましい【教員，数物系科学，国立大学】

自宅からは是非使いたい【教員，生物学，国立大学】（ほか2名）

自宅から大学の図書館経由で Pubmed（大学契約雑誌）などに自由にアクセスが可能となるようにして欲しい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅から大学の電子ジャーナルを使いたい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅から電子ジャーナルにアクセスしたい。【教員，数物系科学，国立大学】

自宅から電子ジャーナルを利用できると便利だと思う。【大学院生，総合領域，PULC】

自宅から無料でデータベースにアクセスできるなど，社会的インフラとして整備されることを願って止みません。【大学院生，人文学，PULC】

自宅から利用したい【大学院生，農学，国立大学】

自宅から利用できれば申し分ない。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】



自宅から利用は歓迎。【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

自宅コンピューターから検索できると確かにありがたい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅ですべて使用したい【教員，化学，国立大学】

自宅でのダウンロードが出来ると非常にうれしい。【大学院生，工学，国立大学】

自宅での利用が簡単に行えるとよい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅では使用できないマサチューセッツ工科大学やハーバードでは，大学のメンバーであれば大学敷地にいなくとも，自宅や海外でも e-journal の検索や論文の PDF がダウンロード可能である。日本でもすべきである。【教員，総合領域，国立大学】

自宅でも閲覧したい【教員，医歯薬学-看護学，国立大学】

自宅でも簡単に利用できるようになると良いと思います。【大学院生，農学，国立大学】

自宅でも使いたい【教員，医歯薬学-医学，PULC】（ほか4名）

自宅でも使いたい。もっと使いやすくしてほしい。【大学院生，社会科学，PULC】

自宅でも使えたら便利なので使わせてほしい【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅でも使えるなら非常に便利。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

自宅でも使えるようにしてほしい【大学院生，化学，国立大学】

自宅でも使えるようにしてほしい【大学院生，化学，国立大学】

自宅でも使えれば非常に便利で助かると思います。【大学院生，工学，国立大学】

自宅でも使用したい。【大学院生，化学，国立大学】（ほか1名）

自宅でも大学に在籍しているときと同様に文献検索および入手を行いたい。【大学院生，化学，国立大学】

自宅でも読めるようになれば，非常にありがたい例えば，USB を差し込めば，東北大の職員であることを証明し，どこからでもアクセスできるようなシステムを構築できないか。【教員，生物学，国立大学】

自宅でも利用したい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】(ほか2名)

自宅でも論文のダウンロードが出来るようにしたい。検索結果は見れるが、ダウンロードできないものが多い。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅でも論文の検索, ダウンロードが出来るようにしてほしい。私は院生なので, もっと手軽に論文依頼が出来るようにしてほしい。(個人のアカウントをくばる)【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅でも論文検索が自由にできると便利。【大学院生, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

自宅で検索しても, 読めない場合が多いが, それは実験室にいる間に印刷するので特に問題とは感じていない。特に自宅からも読めるようになったとしても, 利用はあまり無いと思う。【その他, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅で使いたい【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅で使いたいです。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅で使うことができればより便利になる。【教員, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

自宅で使えないと不便【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅で使えるようにしてもらいたい【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅で使えればよいと思う。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

自宅で読みたい論文を見つけても, 学校でしか落とせないときに煩わしさを感じる。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

自宅で利用したい【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅で論文を書くことが多いので, 自宅からも利用できれば助かります。【大学院生, 農学, 国立大学】

自宅など, 外出先でも使用したい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅など, 研究室以外からのアクセスが容易になるとよい。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅などから, ありとあらゆる場所から, ストレス無く自由にアクセスしたい【教員, 化学, PULC】

自宅などからも利用できたら効率がよい【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅などから使いたいまた、無料でどれでもアクセスできる環境になることを望む【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅などでも使いたい。取得できる雑誌を増やして欲しい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅など外部からも使いたい。【教員, 数物系科学, PULC】

自宅など学外でも使えれば利便性が増して研究室にあまりいないような学生でも効率よく研究が進められると思います。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅など学外で使いたい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅に限らず学外から使えると助かります。銀行のオンラインサービスのように、IDカードと組み合わせることでセキュリティの面もある程度守られると思うので、ぜひご検討をおねがいします。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅のPCから使用できればなお良いと思う。【教員, 人文学, PULC】

自宅のパソコンからもアクセスできるようになればなおよいと思います（チェック機能は必要だとは思いますが）。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅のパソコンからも利用できるようにしてもらいたい【大学院生, 社会科学, 国立大学】

自宅または出張先でも可能なら使いたい【教員, 生物学, 国立大学】

自宅もそうですが、半年や1年など比較的短期間大学から市中病院に派遣されている場合も、利用できるよになるとよいE-journalの対象雑誌をできるだけ増やしてほしい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅もダウンロードできれば確かにより便利。【教員, 生物学, 国立大学】

自宅や海外出張中にも利用したい。実際にはVPNが使えるときは出張先から見えています。【教員, 工学, 国立大学】

自宅や外出先からも見れると便利。もう少し動作が速くなればもっと快適。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅や外出先からも使いたい【教員, 工学, 国立大学】(ほか3名)

自宅や学外のインターネットからも使いたい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

自宅や学校外の場所（ネットカフェなど）でも使いたい【大学院生，農学，国立大学】

自宅や企業ネットからアクセスできると嬉しいです。【大学院生，工学，国立大学】

自宅や出先からでもアカウントとパスワードを利用した接続等で使えるようにしていただければ嬉しいです。【大学院生，医歯薬学-薬学，国立大学】

自宅や出先からのアクセスが欲しい【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

自宅や出先からもアクセスできる自由度が広がれば良い。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅や出先からも利用したい。卒業後もある程度のお金を払えば利用できるようなシステムがほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

自宅や出張先（学会など）からも使えるとありがたい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅や出張先からアクセスできると助かります，大学院を休学して大学以外の病院にいるとき等は毎回大学にこないといけないので不便です。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅や出張先からから使いたい<-非常に要望したい。出張中に必要になることが多々ある。【教員，数物系科学，国立大学】

自宅や出張先からでの使用したい。【教員，化学，PULC】

自宅や出張先からでも気軽に使いたい【教員，工学，国立大学】

自宅や出張先からもぜひ使いたい。大学図書館に ID とパスワードでアクセスできるようにしてほしい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅や出張先からも使いたい【教員，医歯薬学-医学，国立大学】（ほか4名）

自宅や出張先からも大学を経由して検索や論文のダウンロードが（簡単に）できるようにしてほしい【教員，数物系科学，国立大学】

自宅や出張先から使いたい【教員，化学，国立大学】（ほか1名）

自宅や出張先でもみられるシステムが必要【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅や出張先でも使いたい。【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

自宅や出張先でも使えるようにしてほしい【教員, 工学, 国立大学】

自宅や出張先でも使用できるようになるとうれしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

自宅や出張先でも自分の大学と同じ環境で使いたい。【教員, 数物系科学, 国立大学】

自宅や出張先でも適切な手続き(本人認証など)をもとに使えると便利。【教員, 数物系科学, 国立大学】

自宅や出張先でも利用したい【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅や出張先でも論文検索できると便利(もちろん, ID, パスワードで利用者制限はやむを得ない)。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅や出張先で電子ジャーナルが使えると助かります。【教員, 生物学】

自宅や出張先で論文等を執筆中に必要になったとき, 大学を経由して使うことができれば都合がいい。現在でもできるのですか?【教員, 化学, 国立大学】

自宅や出張先などからもどうしても使いたい【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅や出張先などでも使用したい【教員, 化学, PULC】

自宅や出張先のコンピューターを利用してみられるようになるとよい。【教員, 生物学, 国立大学】

自宅や他のアクセスポイントからも使いたい【大学院生, 工学, PULC】

自宅や他の病院でもつかえるとありがたいです。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅より使いたい。アカウントを作成し, 閲覧履歴を残したい。また, アマゾンのように連鎖して欲しい。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅を含めどこからでも(研究会場, 学会場など)利用できるようにして欲しい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅を含めどこからでも使える方がいい。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅以外でも出張先からアクセスしたいときは多い。セキュリティだけの問題なので対応可能では。【教員, 数物系科学, 国立大学】

自宅等学外でも使用できるのなら助かる。しかしそうすると第3者の不正アクセスなど色々と問題

も生じる可能性が出てくると思うので現実問題としては学外での使用は難しいと思う。【大学院生，化学，国立大学】

自由に自宅や学外でも使用したい。もし使用できるようになるのであれば，設定の仕方も丁寧に教えていただきたい。【大学院生，工学，国立大学】

社会人入学の学生のため，なかなか学内の端末を利用することができませんし，コピーに図書館へ行く日も限られてしまいます。医学中央雑誌などは，家にも論文のコピーを取り寄せることができますが，高額です。国内の報告書や学位論文をみたいときには，司書さんをお願いしますが，これがもう少し利用しやすいといいなと思うことがあります。【大学院生，医歯薬学看護学，国立大学】

種類が多すぎて，利用開始当初は戸惑った。自宅からも使いたい。【大学院生，社会科学，国立大学】

週末や夜など自宅で仕事することも多いので，自宅からも使えるようにしてほしい。一時期，使えたときは非常に便利でした。（認証・パスワードなどを設定するなどして，制限をかけるなどして。）  
【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

出先からも使えれば便利と思います。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

出張が多いので，出先からも利用できると助かります。【教員，数物系科学，国立大学】

出張が多いので出先でもしよりたいが，個人購読する気にもなれない。機関購読しているものはすべて出先でも読めるようにしてほしい。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

出張などが多いので，電子ジャーナルを学外からでも簡単にアクセスでき，検索できるといいです。  
【教員，工学，国立大学】

出張時などに，外出先から利用したい。【教員，化学，PULC】

出張先（海外）でも使いたい，【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

出張先，自宅からも使いたい。【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

出張先からの利用が可能となれば，情報を迅速にとれる。【教員，生物学，国立大学】

出張先からも電子ジャーナルを見たいときがある【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

出張先から使えると便利と思う。【教員，化学，国立大学】

出張先から電子ジャーナルを読むことが出来ると便利だと思う。【教員，数物系科学，PULC】

出張先から利用できないのは思いのほか不便。もちろん個人アクセスを開設した頂いたり、いろいろと便宜を図っていただいたので、利便性は非常に上がったが、たとえば science direct や oxford 以外のものになると大学のライブラリーにログインしても使えません。満足度を万店にするためにもぜひ大学街からのアクセスができるような構造を将来的に考えていただけると、外に出る方にも役に立つと思います。【教員, 生物学, 国立大学】

出張先でも使えるようになると、すごく便利になると思う。【教員, 化学, 国立大学】

出張先でも使いたい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】(ほか2名)

出張先で急に資料が必要になることもあるためどこからもアクセスさせてほしい。【教員, 工学, 国立大学】

出張先などからアクセスできるPWなどを1ヶ月単位で変更するなどして構成員限定で配布して貰えると便利かも知れません。【教員, 数物系科学, 国立大学】

出張先や自宅では、東北大学のサーバーを経由しないので論文を読めない。【教員, 複合新領域, 国立大学】

出張先や自宅でも利用したい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

出張中にも使えるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

所属研究機関内のみでしか利用できないので、自宅や職場からも使用したいと思います。【大学院生, 社会科学, PULC】

小生の場合、研究室が大学のキャンパス内に無く、大学のオンラインジャーナルが快適に利用できない。IPアドレスでフィルタをかけるのではなく、PWであるとかそういった可決策はないのだろうか？【大学院生, 工学, 国立大学】

場所を問わず使いたい【教員, 工学, 国立大学】

職員限定でもよいので自宅からでも使えるようにしてもらいたい。【教員, 化学, 国立大学】

職場、自宅ともにアクセスできることが必要。現在は職場からのみのアクセスに限られてしまう。また、個人利用に限ってはある程度の一括ダウンロードを許可すべき。【教員, 工学, PULC】

図書館に通って利用している。【大学院生, 農学, 国立大学】

図書館の電子ジャーナルの利用は、現在学内からに限定されているが、学外からも認証等を行うこ

とにより使用できるようにしてほしい。【教員，複合新領域，国立大学】

図書館以外の場所で利用可能であれば，非常に便利である。【大学院生，工学，国立大学】

図書館利用者コードとパスワードを入力すれば，学内以外でも学術論文が入取できるようにしていただきたい。【大学院生，農学，国立大学】

世界中どこからでも，学内と同じ条件でアクセス可能な環境を希望する。【教員，工学，PULC】

是非，自宅からもアクセスできるようにして頂きたい（遠方のため）。【大学院生，工学，国立大学】

是非，自宅からもアクセスできるようになってほしい。【大学院生，農学，国立大学】

是非自宅からでも使えるようにして貰いたい。【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

是非自宅からでも使用したい【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

是非自宅からでも使いたい 大学からのアクセスだけでは大変不便【教員，農学，国立大学】

是非自宅からでも使いたい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】（ほか1名）

是非自宅からでも使いたい。研究室兼居室は雑音も多く，デスクワークにはまったくむかない環境なので。かといって図書館では作業の自由度が低い。以上の理由から，自宅からの利用を強く希望します。【大学院生，化学，国立大学】

是非自宅からでも使える環境を広げて欲しい【大学院生，工学，国立大学】

多分，機関単位で登録されているからか，大学のPCからは閲覧が可能だが，自宅のPCからは閲覧不可能な場合がよくあるので，できれば自宅からも閲覧可能になると便利である。【教員，工学，国立大学】

退職後は自宅から使えればよいと思う【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

大学（のサーバー経由）からだけではなく，どこからでもアクセスできるとよい。【教員，数物系科学，国立大学】

大学・研究室外での利用【大学院生，生物学，国立大学】

大学がアカウントを所持している場合であっても，自宅からも利用できるようにしてほしい。【大学院生，工学，国立大学】



大学からアクセスすると無料だが、自宅からアクセスするとアクセスできなかつたり、有料となることあり。価格が高い【教員，総合領域，PULC】

大学からだけではなく、自宅からアクセスしたい。【教員，工学，国立大学】

大学からだ登録されているので無料だが出張先からだによめない どこからでも読めるようにしてほしい【教員，数物系科学，国立大学】

大学では論文に full access ですが自宅ではタイトル抄録のみです。大学のサーバーにアクセスして論文に full access できれば大変たすかります【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

大学で契約しているオンライン検索を自宅からも利用したい【教員，工学，国立大学】

大学で契約している雑誌を自宅などの外部のパソコンで閲覧できるようにしてほしい。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

大学で見られる電子ジャーナルはどこにいても使えるようにしてほしい。学外では制限が多すぎる。【大学院生，生物学，国立大学】

大学で購入している雑誌は、大学からのコンピュータだけでなく、どこからでもアクセスできるようにしてほしい。【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

大学にいる時は電子ジャーナルに簡単にアクセスできるが、大学外からはアクセスできない。しかし、出張先から、あるいは深夜や休日に自宅から利用できたらありがたいと思うこともよくある。パスワードなどを入力すれば使えるようにしてほしい。【教員，化学，国立大学】

大学のネットワーク外からだ利用が出来ない点【大学院生，総合領域，国立大学】

大学の学内だけでなく（自宅も含めて）様々な場所から自由にアクセスでき、情報の質・量とも充実していただきたいと思います。また、使い勝手の良いシステムであることも考慮していただけると幸いです。【教員，工学，国立大学】

大学の学内だけではなくパスワードを用いたり登録をすれば、学外からもアクセスできるようにしてほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

大学の購読している論文に関しては自宅からも使いたい。【大学院生，医歯薬学-薬学，国立大学】

大学や研究機関が連携するなどして、国内のどの研究関連組織でも簡単に豊富な電子ジャーナルにアクセスできるようにしてほしい。と同時に、パスワード設定などにより、自宅や出張先などからも使えるようにしてほしい。【大学院生，農学，国立大学】

大学を経由せずに自宅から使えれば大変便利。出張先（海外とか）で論文検索したいときなどは、大学経由でなく使えればよいと感じる。【教員，複合新領域，国立大学】

大学を通して使用しているのですが自宅からでは検索できない。大学から配布される pass をもって自宅からでも検索できるようにしてほしい【大学院生，工学，PULC】

大学以外でもアカウント登録等の方法で利用できると良い。また，検索後に該当した論文等がそのままリンクしていて入手できると良い。【大学院生，化学，国立大学】

大学以外の場所でも scopus 等のデータベースを使用したい。データベースで検索しても，実際に web 上で利用できない雑誌があるので困る。【大学院生，工学，国立大学】

大学院生には ID を与え，大学以外（自宅その他）の PC からでも利用できるようにしてほしい。【大学院生，総合領域，国立大学】

大学外からも使えるようになるとありがたい。【教員，数物系科学，国立大学】

大学外でも使いたい。（社会時大学院生などからも要望高い）【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

大学外の IP アドレスからの利用を希望します。不正利用できないシステム，例えば，時間限定（6 時間）の ID とパスワードを発行し，使用を許可するなどいかがでしょうか。【教員，総合領域，PULC】

大学学外からも電子ジャーナルを取得できると非常に便利である。【教員，医歯薬学-薬学，国立大学】

大学間のネットワークを利用してインターネットで見れる雑誌数を増やしてほしい。自宅でも見れるようにカードキーのようなものを発行してほしい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

大学在学者のパスワードを設定し，自宅から使えるようになれば，より便利になると考えられる。【大学院生，医歯薬学-医学，PULC】

大学図書館などを通して（ID とパスワードでログインするなどして），大学以外の場所からも学術論文を読めるようにしてほしい。【教員，工学，国立大学】

大学図書館へは学内からしかアクセスできないので，自宅や出張先などの学外からもアクセスして利用したい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

大学単位で journal と契約しているため，自宅で使えないのが問題である。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

大学内からしかアクセスができないので，ぜひ自宅でも使いたいと思います。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

大学内だけでなく、自宅等からも論文のダウンロード等ができるようにしてほしい。【大学院生，人文学，国立大学】

大学内だけでなく、自宅からも電子ジャーナルが使用できるようになるとよい。【教員，数物系科学，国立大学】

大学内だけでなく、自宅などでも利用可能にしてほしい。また、閲覧できるジャーナルの種類，期間を増やしてほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

大学内だけの使用に限られるのでその点を検討してほしい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

大学内で利用する場合は，全ての雑誌の閲覧が無料で行えるとよい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

大学内にアクセスが限定されているデータベースが自宅でも使えればよい。【大学院生，社会科学，PULC】

大学病院でも利用したい【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

大学名義の機関購読を大学以外の場所でも使えると便利だと思う。【大学院生，医歯薬学-医学，PULC】

大抵図書館からしか使えなかったりするので，自宅から使いたい。【大学院生，人文学，PULC】

定年が過ぎても使いたい。(可能と思うが)【教員，工学，国立大学】

電子ジャーナルが自宅から使えれば最強早く病院から使えるようにしてほしい【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

電子ジャーナルが大学内でしか使えないのは不便なので，自宅でも使えるようにしてほしい。Web上の論文は，雑誌によっては1990年代以前のもは掲載していない場合もあるので，できれば古い論文も参照できるように掲載してほしい。PubMedの検索機能は，”.”(点)が入ったり入らなかったりする違いで検索がかからず不便。もっと柔軟な検索に対応してほしい。東京大学で利用できる電子ジャーナルのタイトルをもっと増やしてほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

電子ジャーナルについて，出来れば自宅など学外からもアクセスできる機能がほしい。あと，大学で登録していない電子ジャーナルに関して，なにか一つ国の機関が登録するようにして，そこからアクセスできるようにしていただけるとありがたいと思う。【大学院生，生物学，国立大学】

電子ジャーナルは大学内からのみ利用できるものが多いので，自宅からもアクセスできるようにし

てもらいたい。(図書館からパスワード・アカウントを発行するなど)【大学院生, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルは便利なのでよく使いますが、やはり学内でしか見られないものが多いので、学外(特に自宅)からもパスワードなどで利用できるようにしていただければと思います。また、ジャーナル数ももっと多くなるとありがたいです。【大学院生, 農学, 国立大学】

電子ジャーナルを学外からも使用したい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

電子ジャーナルを学外から使えるようにすると、自宅だけでなく出張先でも文献検索をすることができて便利である。しかし、セキュリティ面で大いに問題があるので、慎重な議論をすべきである。【教員, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルを学校外でも利用したいです。【大学院生, 医歯薬学医学, PULC】

電子ジャーナルを自宅からも使いたい。Net 経由の何らかの認証方法を使えば、学内限定という条件を外せる可能性があるように思う。【教員, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルを自宅からも使えると夜間や休日などに便利だとは思いますが、購読者以外へのアクセス制限が掛けにくくなるでしょうね。【教員, 数物系科学, 国立大学】

電子ジャーナルを自宅で使えるなら使いたい。【大学院生, 化学, 国立大学】

電子ジャーナルを出張先や自宅からも使用したい。【教員, 数物系科学, 国立大学】

電子ジャーナルを利用する場合、学内から出ないとアクセスできないので、不自由を感じる場合があります。【教員, 人文学, 国立大学】

登録機関外からのアクセスを希望【教員, 工学, 国立大学】

働きながら研究をしているので、大学にいる時間が少ないです。ですので、自宅のパソコンからも使えるようになると思います。【大学院生, 社会科学, PULC】

認証をもっと有効に使って、好きなときに、好きな場所からアクセスできる環境になればうれしい。  
【大学院生, 総合領域, 国立大学】

博士課程後期課程修了後、いずれの大学にも所属していなくても、自宅や出身大学等自由に利用できる環境であれば、うれしく思います。【大学院生, 人文学, PULC】

博士後期課程の学生です。教授方とは違い、使用できる範囲が決められていて、大学に出かけないと使用できない場合があり、深夜の使用とか、急ぎの使用に支障があります。せめて、博士後期課程の学生には教授並の使用権限を持たせて欲しい。【大学院生, 社会科学, PULC】

必要なら登録するから、自宅からも使いたい。【教員, 生物学, 国立大学】

病棟・自宅での使用【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

法学部の場合, DVDの法律関連雑誌のものが法共研のパソコンには入っているが, オンラインではないので自宅からは見るができない。自宅からも見られるようなデータベースとしての利用が可能になるとうれしい。【教員, 社会科学, PULC】

本当に自宅からも使いたい【大学院生, 工学, 国立大学】

利便性を考えればどこからでもアクセスできるようにすべき。セキュリティの問題を言う人もいるが, きちんと適切な鍵をかけて違法アクセスできないようにすればよい。鍵をしめないのはユーザーの責任で, しまっている鍵をこじ開けるのは犯罪である。図書館の扉につける物理的な鍵と同程度の強固さがあれば充分。【教員, 工学, 国立大学】

利用サービスやデータベースが自宅からの利用だと最小限に限られてしまうので, 大学と同様なシステムが自宅でも利用できると嬉しい【教員, 農学, 国立大学】

利用者登録制にして, どこからでも利用できるように出来れば便利だと思います。【教員, 化学, 国立大学】

利用制限をもう少し広げて欲しい。【大学院生, 生物学, PULC】

留学中はハーバードの図書館を利用していたが, どこからでもアクセスできるので, 絶対的に便利である。大学のみでは, 使用頻度が減るので, 是非東北大でもIDを発行し, 自宅からでもPDFを見れるようにしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

例にもあるが, 自宅から使用ができるようになれば便利であると思う。【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

例にも挙げられていますが, 自宅から使えると便利だと思います。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

例にも出ているが, 自宅から検索できると非常にありがたい。家で作業しているときに, ちょっと気になったことが検索できるとうれしいです。【大学院生, 工学, 国立大学】

論文を自宅で検索できるなら, 利用したい【教員, 数物系科学, 国立大学】

論文検索・PDFのダウンロードについては自宅から使えるようにしたいです。SciFinder等研究室単位で登録しているものは特定のパソコンだけでなくパスワードなどで研究室員全員が使えるようになるとうれしいです。【教員, 化学, 国立大学】

## 2. コンテンツの拡充に関する意見

●多くの出版社では近10年分の論文しかインターネット上で閲覧できないこと。●PDFファイルで文字（文章）検索のできないものが多いこと。【大学院生，工学，国立大学】

1980年以前の論文に関しては，電子ジャーナルでアブストラクトなどの入手は可能だが，フルペーパーの入手が困難であり残念だ。・確かに，自宅からも使用できれば助かります。【教員，工学，国立大学】

学術雑誌によってはある年以前の論文は有料となる場合があり，困ることがある（とはいっても，通常お金を払ってまでもその論文をダウンロードすることはしない）・自宅から使えれば非常に便利だと思う。【教員，工学，国立大学】

古い文献(80年代以前)についてはオンラインに対応していない（DL出来ない）ことがある。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも使いたい・図などの画像の質が非常に低いPDFファイルを提供している出版社，あるいは学術誌がある（たとえば文字の判読ができないなど）。コンテンツのクオリティーを一定以上に保つための基準の策定が望まれる【大学院生，生物学，国立大学】

自宅で使いたい・古い雑誌もPDF化して欲しい・日本語雑誌も読めるようにして欲しい【大学院生，工学，国立大学】

年代の古い論文をもっと利用できるようにしてほしい。【教員，複合新領域，国立大学】

博士論文の電子化を希望します。・日本国内の学術雑誌を網羅し，全文検索，引用文献検索のできる検索サイトがあれば大変助かります。・電子ジャーナルについて，最新の雑誌の論文も早期に掲載してほしいです。【大学院生，社会科学】

1) 施設の契約により，購読できる期間がきまっており，それより古いものにはアクセスできない。  
2) 論文によっては要旨も読めないことがある。要旨はすべての学術論文にて読めるようにしてほしい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

1) 自宅からも使いたい。2) 古い論文（1950年代以降）の電子ジャーナル化【教員，生物学，国立大学】

1950年代～1980年代の古い論文が，電子ジャーナル化されていないのが今後の課題と思われます。研究分野によりますが，古い論文を必要とすることが多々あるので，電子ジャーナルの今後の課題の1つに出来るだけ多くの（年代・種類問わず）論文を電子化することが挙げられると思います。【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

1960 年以前の古い論文も、必要に応じて無料ダウンロードできるような方策がないものだろうか。  
【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

1990 年代の論文をオンライン上で見られる機会を増やしてほしい【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学会発表の proceedings の PDF が無い・有料の場合がある。【大学院生, 工学, 国立大学】

①自宅からも使いたい。②必要な記事の載った雑誌と大学が契約しておらず、読みたいときに読めないのはすごく悔しい。③貧乏学生に自腹は無理です。【大学院生, 化学, PULC】

2000年以前のものも検索可能にしてもらいたい。【教員, 工学, 国立大学】

5 年前と比べどんどん便利になってきており、今後相互ネットワーク化が進むことで、ネット上で読める雑誌がもっと増えて欲しい。【大学院生, 総合領域, PULC】

Abstract のみしかみれない雑誌を減らして、なるべく FULL TEXT が読めるようにしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

E ジャーナル購読雑誌が更に充実するとよい。eDDS を学内全図書館（場合によっては国内各機関図書館）に完備してほしい。【教員, 農学, 国立大学】

Free Access を増やして欲しい。【教員, 生物学, 国立大学】

It is necessary to read some references that was not written by English (ex. Russian). 【大学院生, 化学, 国立大学】

Journal of chemical society 系(RSC)(例: Perkin Transaction など)の電子ジャーナルの購読を推進してほしいです。過去の論文の電子ジャーナルも閲覧可能になることを望みます。【大学院生, 化学, 国立大学】

PDF の画質が悪い。大学, 博物館紀要が PDF, 雑誌共に所蔵が少ない。【大学院生, 数物系科学, PULC】

pdf の形式でダウンロードすることが多いので、web 上でタイトル, 著者名, アブストラクトしか見れないものは不便に感じる。【大学院生, 化学, 国立大学】

PDF ファイルで保存されていない過去の論文に関しても、PDF ファイルを作成し、検索サイトにリンクをしてほしい。【大学院生, 生物学, PULC】

PDF を Download できる雑誌数を増やして欲しいということは切実に思います。自宅や出張先から PDF の Download ができればその分便利なので申し分ないですが、これは大学に戻ってから行なえば済むことで、それほど必要性は感じません。雑誌検索には普段 PubMed しか使いませんが、このアンケートによると他にもいろいろなデータベース (?) があるようです。各データベースの特徴、利点などをまとめたものが入手できれば有り難いです。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

PDF 化した文献を増やしてほしい。自宅からも使いたい。英語以外の多言語で書かれた論文の全訳がほしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

proceedings にも対応して欲しい【大学院生, 工学, 国立大学】

we want to read books on Pc 【教員, 人文学, PULC】

Web から電子媒体で多くの論文が手に入れることができれば、時間的にも能率的にも、とても助かると思う。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

WEB に全文あげてほしい。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

WEB 上で利用できない学術雑誌は、まだ多い。今後、ますます利用できるようになることを希望する。【教員, 工学, 国立大学】

アクセスできる電子ジャーナルを増やして欲しい。費用の面で対応できないのであれば、全国共同利用でもいいので、24h オープンの複写サービスセンターを作って、遅くとも12時間以内に、当該論文のPDFが届くシステムを作って欲しい。【教員, 化学, 国立大学】

アクセスできる論文を増やしてほしい。また、自宅でも研究室と同環境で電子ジャーナルを利用したい。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

アクセスを自宅でもできるようにしてほしい。過去の論文が未だに電子ジャーナルになっていないものが多いので、その補完を行ってほしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

あらゆる雑誌にオンラインアクセスできるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

あらゆる論文のPDF版を収録したデータベースがあると良い。また、大学からはそれを格安で利用できるようにしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

ありそうな(比較的メジャーな)雑誌が、電子ジャーナルになく、図書館までコピーに行くことや、複写依頼することがあり、それが解消されたら嬉しいです。そのような雑誌は学会誌に多く、学会員の特典が失われるかもしれないけれども、学会員以外にも閲覧できるようになってほしい。(それは、各学会の方針によるものかもしれないけれど)【大学院生, 生物学, 国立大学】



ある研究分野の学術論文がオンラインジャーナルになっておらず、その分野全体の情報を手に入れにくい状況となっており、分野によってオンライン化の流れに差が出ていることが困っている。【教員, 化学, PULC】

ある大学の年報などの情報をよりスムーズに入手でき、また、他大学からその複写依頼を一層簡単にできるようにしてほしい。手間賃, 時間が少しかかりすぎる気がする。【教員, 人文学, 国立大学】

ある特定の年代しか参照できない場合がある。【大学院生, 化学, PULC】

オンラインジャーナルとして利用できるタイトルが少なく利用できない場合が多いので、特にヨーロッパ系（アメリカ以外の国）の雑誌のオンラインジャーナルを充実させて欲しい。著作権上問題なければ、学内のみのアクセス制限を行って、紙媒体の論文を電子媒体で利用できるようにしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

オンラインジャーナルをもっと拡張してほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

オンラインジャーナルを学外からのアクセスを可能にしてほしい。もう少し古い論文までダウンロードできるようになると有り難い。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

オンラインで利用できるジャーナルを増やしてほしい。複写依頼で取り寄せる場合に電子ファイルでも取り寄せたい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

オンライン検索で大量の論文を効率よく検索できることは、非常に評価しています。残念ながら、私の利用している雑誌は90年代以前の電子化は進んでいません。注意していることは、オンライン上にない論文は図書館に行くなどして、フォローしています。初めからオンライン検索環境がある学生の中には、オンライン検索をすることが論文調査と考えていることが問題と考えています。【教員, 工学, 国立大学】

かなり古い論文もオンラインで引用できるとありがたい。【大学院生, 農学, 国立大学】

ここで希望することではないが、古い論文の電子化も早く進めて欲しい。予算との兼ね合いでe-bookの一部しか利用できないのが残念。【教員, 生物学, 国立大学】

スピードと情報量の豊富さが必須と思います。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

すべての雑誌が利用できるようになると良い。自宅からも使えるようになると良い。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

すべての論文がネットから利用できると便利であるし、紙資源の節約になる。【教員, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

すべての論文を電子化してもらいたい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

すべての論文を電子化して掲載して欲しい【大学院生, 社会科学, PULC】

すべて電子化してほしい。また, 利用できない雑誌がもっと少なくなってほしい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

ぜひとも自宅からも使えるようにしてほしい! 古い文献も全文ダウンロードできるようにしてほしい。【教員, 工学, 国立大学】

ダウンロードができない古い論文を, もっとアップしてほしい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

たまに見られないジャーナルがあるので, 利用できるジャーナルの数を増やしていただきたいです。また, Science は 10 年以上前のものは本文が見られないので, 利用できるようにしていただきたいです。【大学院生, 生物学, 国立大学】

できるだけ多くの journal に安く access できるといいです。【教員, 総合領域, PULC】

とても便利なので, より多くの雑誌を見れるような環境を整えてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

なるべく多くの雑誌がみれる様にしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

なるべく多くの文献 (古い文献も含めて) を電子化して, インターネットを通じてどこからでもアクセスできれば, 大変便利だと思います。海外に比べて, 日本国内の文献の電子化が遅れている印象があるので更に充実させられれば良いと思います。【教員, 総合領域, 国立大学】

なるべく多くの論文を PDF で読めるようになって欲しい。研究の調べ事を自宅ですることも多いので, 自宅からも使いたい。【大学院生, 工学, 国立大学】

ネットで学術論文の提供を行っている場合は, できる限りネットで提供して欲しい。【教員, 化学, 国立大学】

バックナンバーの PDF 化【教員, 工学, 国立大学】

ほしい論文雑誌が手に入らないことが少なくなるとうれしいです。【大学院生, 農学, 国立大学】

マイナーな雑誌に掲載されている論文が手に入らなくて困ることが多い。そのような雑誌の電子ジャーナル化を強く希望する。【教員, 生物学, 国立大学】

マイナーな雑誌も利用したい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

マイナー誌についても購読して欲しい。最近，私の大学は生化学を主とする学科が設立されたが，生物系の雑誌が購読されておらず，購読されていたとしても医学部や薬学部の図書館にしか雑誌がなかったりするので不便である。【大学院生，化学，国立大学】

まだまだ，化学系の雑誌が少ないので，増やしてほしい。【教員，生物学，国立大学】

もう少し過去の論文もオンラインで閲覧できるようにしてほしい。(1980年くらいまで)【大学院生，工学，国立大学】

もう少し豊富に雑誌をカバーしていただくと助かります。【教員，社会科学，国立大学】

もう少し利用できるタイトルを増やしてほしい【大学院生，化学，PULC】

もっとオンラインで雑誌が読めるよう契約する雑誌を増やしてほしい。Physical Review 以外でも，そこそこ有名な雑誌については契約期間を延ばして，古いものでもオンラインから読めるようにしてほしい。【大学院生，数物系科学，PULC】

もっとたくさんの雑誌が検索できるようになってほしい。どこからでもアクセスできるようにしてほしい。【大学院生，医歯薬学-医学，PULC】

もっとたくさんの電子ジャーナルを利用できるようにして欲しい。もちろん自宅などでも使えるようにして欲しい。【大学院生，医歯薬学-医学，PULC】

もっと購読を増やしてほしい。自宅からも使いたい。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

もっと雑誌数を増やしてほしい。【大学院生，総合領域，国立大学】

もっと多くの論文が検索できるようにデータベースを増やしてほしい。自宅からも使えるようにしてほしい。【教員，総合領域，国立大学】

もっと電子ジャーナルの種類を増やしてほしい【教員，工学，国立大学】

もっと利用できる雑誌の数を増やして欲しい【大学院生，医歯薬学-薬学，国立大学】

もっと利用できる論文を増やしてほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

ヨーロッパの出版社のものの場合，取れない雑誌が多いので困っています【大学院生，化学，国立大学】

よく利用する雑誌の中には価格が高すぎるものもあり、大学によっては予算削減のために購読を続けられないことがある。そういう場合は研究に支障をきたす。【教員，数物系科学，PULC】

より PDF などで見ることのできる雑誌を増やしてもらいたい【大学院生，社会科学，PULC】

より多くの種類の雑誌，より古い記事まで手に入れられるようにしてほしい【大学院生，医歯薬学薬学，国立大学】

より多く電子ジャーナルや会議論文を収録するのを望ましいです。自宅からも使いたいです。【大学院生，総合領域，国立大学】

リストは検索できますが，本文が掲載されていないのが多いように見られます。そのためタイトル，号，巻のみを調べて図書館で現物を入手しています。【大学院生，社会科学，国立大学】

リンク機能を充実させて，データを網羅してもらいたい。また，過去出版された論文集も可能な限り電子化して，図書館まで足を運ばなくとも自宅や研究室で簡単に論文が入手できるようにしてほしい。【教員，社会科学，PULC】

レアな雑誌は大学でライセンスを取っていないので，使いづらい【教員，工学，国立大学】

ローカルな雑誌，文献も検索できるようなデータベースの拡大や古い文献がもっと電子ジャーナルとしても閲覧ができるようになると思う。【大学院生，生物学，国立大学】

印刷版を残すかどうかは別にして，すべての論文が PDF ファイルとしてネット上にアップされれば非常に便利であると思う。【大学院生，人文学，国立大学】

閲覧できる年代を増やして欲しい。【大学院生，化学，国立大学】

閲覧頻度の高いものは全て電子ジャーナルで見れるようにして欲しい。(1990 年頃の Nature, Chem. Eur J, Chirality や Enantiomer など) 学外からも使えるようにして欲しい。【大学院生，化学，国立大学】

応用物理学・物理工学が自分の主な守備範囲だが，電子ジャーナルに含まれていない雑誌がかなり多い。大学で紙媒体にアクセスできるけれども，電子ジャーナルで利用できればありがたい。【大学院生，工学】

欧米などの電子ジャーナルや，データベースだけではなく，アジア国のデータベースも完備されてほしい【大学院生，社会科学，国立大学】

化学系の大学院生です。もっと web で見ることのできる雑誌を増やしてほしい。また，最新の雑誌をすぐに閲覧できるようにしてほしい。出版されてから 2 週間ぐらい経ってから出しているように

思える。【大学院生，化学，PULC】

過去の文献で電子ジャーナルとして利用できないものを減らしてもらいたい。自宅，出張先からも利用できるようにしていただきたい。【教員，化学，国立大学】

過去の文献もさらに電子ジャーナル化してほしい。大学以外の場所からも ID とパスワードなどでアクセスできるようにしてほしい。【大学院生，農学，国立大学】

過去の論文のオンライン化を早急に進めていただきたい。全文検索を行うにあたって，個人利用の自由度をあげるために，テキストフォーマットを最初から準備しておいてほしい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

過去の論文は電子化されていないので，できれば少しずつ pdf 化してほしい【教員，工学，PULC】

過去の論文も閲覧，ダウンロードできるようにして欲しい。【大学院生，農学，国立大学】

海外の雑誌（特に欧州）の価格の高騰のため，最近，私が所属している大学が私の分野の学術誌（印刷体も電子ジャーナルも）急激に減らしているのので，困っています。印刷体でも電子ジャーナル体でもいいから，できるだけ多くの雑誌を利用できるようにしてほしいものです。【教員，人文学，国立大学】

学校だけではなく，家でも使いたいです。昔の論文に関して，電子化されていないものがまだたくさん残っていますので，それを検索できるようなシステムを作してほしいです。science の雑誌に投稿されている論文を自由に検索できるようにしてください。【大学院生，生物学，国立大学】

学術雑誌，予稿集，概要集などを網羅的に用意してほしい【教員，総合領域，国立大学】

学術雑誌によっては，古い年に出版された論文を，WEB（電子データ，PDF 等）で見ることができないので，見れるようにしてほしい。結局，新しい論文でも，時には古い年号の論文を参考しているときもあるから・・・【大学院生，工学，国立大学】

学術雑誌をインターネット上で全文閲覧できることは大変有用です。以前，アメリカに留学していたポストドクにインターネットから論文を落としてもらい電子メールで送ってもらっていました。日本の大学でも電子ジャーナルの充実を望みます。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

学術振興・文部科学省の科研の報告書はまだよいが，厚生労働科学研究費や私設財団等の研究助成の報告書の検索・入手が難しい。既に廃版になっている重要な研究成果の出版物について，古本市場ではプレミアがつきながら販売されているものを図書館に購入して欲しいと思うが，なかなか難しそうで，購入リクエストができない。【大学院生，医歯薬学-看護学，国立大学】

学術論文の利用に限らず，電子媒体の辞書なども，自宅からアクセスできるものを増やして欲しい。

大学にいるときは、電子、印刷体、ともに利用できる環境だが、自宅には大型の辞書などがない。そのため、調べ物をするには、大学図書館の電子媒体の辞書が必要である。(費用的にも、個人では買えない高額なものなので)【大学院生、人文学、PULC】

既存の紙媒体のものも電子化して、利用できるようにしてほしい。物理的な媒体に縛られたくない。【大学院生、社会科学、PULC】

規制があるのは仕方のないところですが、まだ閲覧できない雑誌がいくつかあり当科で使用頻度の高いものがふくまれているので随時、full textが閲覧できる状態が改善されていくことを望みます。【大学院生、医歯薬学-医学、国立大学】

古い論文、例えば95年以前の論文など、時々利用できない【大学院生、工学、国立大学】  
極端に古い論文、たとえば19世紀の論文なども電子ジャーナルで手軽に読みたい。【大学院生、工学、国立大学】

契約している年の号しか読めない。古い論文とかが困る。【教員、数物系科学、国立大学】

契約金額が高額なこと、並びに専門分野が他の教員と異なるため、利用者数のハンディの故に、所蔵文献全ての閲覧(特に会議録の閲覧)が出来るようにして貰えない。過去の文献も含めて図書館に所蔵の無い学術論文については、電子ジャーナルの利用以外に手立てがない。所蔵文献の一部のみの閲覧ではなく、全ての論文閲覧が行えるようにしてほしい。【教員、工学、PULC】

検索できる年度の幅を増やしてほしい。【大学院生、農学、国立大学】

研究室ですべての論文を入手したい。【教員、医歯薬学-医学、PULC】

見れない雑誌もあるので、種類をもっと増やしてほしい。【大学院生、総合領域、国立大学】

現在、日本の学術雑誌の大半は紙媒体ですが、徐々に電子版に移行してほしいです。また、著者が自分の論文を別の論文に引用している場合がありますが、時折公表していないなどの理由で確認できない場合があります。公表した論文の脚注に掲載している論文については、自由に見られるようにしてほしいです。【大学院生、人文学、PULC】

現在の環境では、必要な論文は電子ジャーナルでほぼ全て入手可能だが、比較的マイナーなものや年度の古いものは取れないこともある。今後も、古い年度のものやマイナーなものも含めより広く電子媒体化してほしい。(簡便に論文が参照できる点で電子ジャーナルは非常に有用なので)【教員、医歯薬学-医学、PULC】

現在の職場では利用可能な電子ジャーナルが豊富で、特に不満はない。【教員、医歯薬学-医学、国立大学】

現在はオンラインで見られない（デジタル化されていない）古い論文を、タイトルだけでも検索可能にしてほしい。論文の執筆などでは、デジタル化されたものを引用することがほとんどで、古い重要な論文を見落としてしまうことが心配。【教員，工学，国立大学】

現状でほぼ満足しているが、マイナーな雑誌も電子ジャーナルで閲覧できると有り難い。【教員，農学，国立大学】

個々の研究者にとって必要な論文誌を所属機関が契約していないことがある。研究部署が研究所の中で期待されている役割と研究部署の研究実態がかけ離れているときに、とりわけ著しい。【大学院生，総合領域，PULC】

古いジャーナルも電子ジャーナルに加えていただけると、書庫などで探す時間が省けて大変助かります。【大学院生，人文学，国立大学】

古いもの（1980年代など）がオンラインで見ることができない。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

古いものがなかったりする場合がありますので、そろえてほしい。自宅からも使えると便利。【教員，工学，国立大学】

古いものが出ないので、充実させてほしい。【大学院生，工学，国立大学】

古いものが電子ジャーナル化されていない雑誌がかなりありますが、これらのうちで、東大のどこかの図書館で保管しているものについては、図書館でPDF化をして、配布して欲しいと思います。大変だとは思いますが。【教員，農学，国立大学】

古いものでもpdf版として使いたい自宅からでも簡単に使いたい【教員，総合領域，国立大学】

古いものについても利用できるようにして欲しい。【大学院生，社会科学，PULC】

古いものに関しても順次見られるようにして欲しい【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

古いものはPDFになってもコピーのようで図が見えない（分からない）ことがある。【大学院生，工学，国立大学】

古い雑誌についても電子版を入手できると非常に良いと思います。一般的には電子情報がある論文については電子版として得られるが、電子化される以前のタイプライター時代の古い論文は基本的には紙媒体でしかない。しかし、例えばPhysical Review等は出版当初からの印刷体に関してはPDFスキャニングして電子化している。ぜひ、歴史あるほかの論文誌についても古いものも全て電子化してオンライン公開して欲しい。【教員，数物系科学，PULC】

古い雑誌を電子化してほしい。【教員，人文学，国立大学】

古い年代の情報も入手出来る様にしてほしい。【大学院生, 農学, 国立大学】

古い年代の論文も電子化されるとありがたい。ページをわかりやすく作って欲しい【大学院生, 複合新領域, 国立大学】

古い年代までカバーされていないものが多く, 年代を追っていくときに不自由を感じる時がある。また利用制限をかけている雑誌もまだ多く, 満足できる状況には至っていない。【教員, 化学, 国立大学】

古い文献が電子ジャーナルでは入手できないで不便を感じる時がある。電子ジャーナルを自宅でも使えるようになれば便利である。【教員, 工学, 国立大学】

古い文献でごくまれに電子ジャーナルが利用できない(お金がかかる)ことがあります。印刷雑誌で図書館においてあれば見れるのですが, 学術論文が利用できないと困るので, できれば古い文献もオンラインで見れるようにしてくれればと思います。【その他, 化学, 国立大学】

古い文献でも電子化して PDF で手軽にダウンロードできるとよい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

古い文献で電子化されていない物があると, 図書館まで行かなくてはならないので不便。また, 昔の印刷媒体だった物が pdf になると, 写真等が見づらくなっている。【教員, 化学, 国立大学】

古い文献についても電子化して提供して欲しい。【大学院生, 化学, 国立大学】

古い文献の電子化を進めて欲しい。特に国内にほとんど存在しない歴史的な文献については特に電子化を進めて欲しい。【大学院生, 工学, 国立大学】

古い文献は, ダウンロードできない場合が多い。自分の読みたい雑誌がオンラインサービスされていないことがある。東大のネット(研究室)でないと, オンラインサービスが使えないので, 自宅からもアクセスできるようにしてほしい。【大学院生, 農学, 国立大学】

古い文献も電子ジャーナルで使えるようにしてほしい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

古い文献も電子ジャーナルに載せてほしい【大学院生, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

古い文献も電子化されると思うが, 早く進められることを望んでいる。基本的に電子媒体で文献整理し, 活用したい。【教員, 農学, 国立大学】

古い有料の PDF も図書館から無料で利用できるようにしてほしい。【教員, 生物学, 国立大学】



古い論文(1980年代の論文等)もオンラインにのせてほしい【大学院生, 生物学, PULC】

古い論文が電子化されていつでも参照できる環境が整って欲しい【教員, 工学, 国立大学】

古い論文でもPDFになっているものとなないものがあるのは何故?【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

古い論文でも全文が見られたら便利。自宅でも利用したい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

古い論文などがPDF化されてonlineで閲覧またはdownloadして印刷した際、紙媒体の誌面と比較して画質が非常に悪く、特に図面などが読み取れないこともある。【教員, 数物系科学, 国立大学】

古い論文について、もう少し利用できるよくなれば良いと思う。【大学院生, 生物学, 国立大学】

古い論文については電子ジャーナルになっていないものが多い。これらを電子ジャーナルとして利用できれば助かる。【教員, 工学, 国立大学】

古い論文についても電子ジャーナルで使いたい【教員, 工学, 国立大学】

古い論文のPDF化に問題あり。高精度なOCR機能を持つスキャナーの活用を求む。【教員, 工学, 国立大学】

古い論文のオンラインでの入手が難しいこと。自宅から使えるというのは必須の条件だと思います。自分は現在アメリカの大学に在学していますが、自宅から利用する事ができます。研究の生産性に大きな影響を与える条件の一つだと思います【大学院生, 社会科学】

古い論文の電子ジャーナル化を希望します。【教員, 総合領域, 国立大学】

古い論文の電子書籍化【大学院生, 総合領域, 国立大学】

古い論文も、PDF版で入手できればかなり助かる。また、有名な出版社ではないが、国際的に権威ある学会が発行している論文集へのアクセスが容易になると助かる。【教員, 工学, 国立大学】

古い論文もPDFで見たい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

古い論文もPDFで見れるようにしてほしい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

古い論文もpdf化されていると助かります。pdfの方が記事内の検索ができて便利ですし、他の研究者との情報の共有が簡単で、場所もとらないので使いやすいです。【大学院生, 工学, 国立大学】

古い論文もWebで見られるようにしてほしい【大学院生, 化学, 国立大学】

古い論文もすべてみられればありがたい【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

古い論文もダウンロードできるようにしてほしい【大学院生, 農学, 国立大学】

古い論文も順次電子化してほしい日本語の論文集も電子化してほしい【教員, 工学, 国立大学】

古い論文も電子ジャーナル (PDF) でみれるようにしてほしい【その他, 工学】

古い論文やマイナーな論文の電子化が行われていない。絶版になった論文も電子化してほしい。【教員, 化学, 国立大学】

古い論文や文献が簡単に見ることができる体制が整えられることを希望します。【教員, 数物系科学, 国立大学】

古い論文をコンピュータ上でダウンロードできるところが最もよい利点と考えます。データベースの量は年々膨大になっていくと思いますが, その辺りの管理はこれからもしっかりお願いします。  
【教員, 生物学, 国立大学】

古い論文を電子ジャーナルとして利用したい【教員, 農学, 国立大学】

購読可能な年数を増やしてほしい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

購読雑誌数を増やしたい【教員, 数物系科学, 国立大学】

国内雑誌の電子化が遅れていること。むしろ国内雑誌の方が, 手に入れるのに時間がかかる。【教員, 社会科学, PULC】

今よりも多くの雑誌を図書館の電子ジャーナルの形で使いたい (時折, 見れないものがある)。また, 自宅からも使うことができれば便利である。【教員, 生物学, 国立大学】

最新の論文でも自由にダウンロードできるようになりたい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

最新の論文がすぐに利用できるようになってもらいたい。それがネットの最大の利点だと思われるため。【大学院生, 社会科学, PULC】

最新の論文であれば, 電子ジャーナルで入手可能であるが, 過去のものはたとえ電子ジャーナル化されていても, アクセス権が無い場合が多く残念である。むしろ数年前よりもアクセス権の制限が厳しくなって, 逆に電子ジャーナルが使いにくくなっているようにも感じる。なるべく過去の文献にもアクセスできるようにしてほしい。【教員, 化学, 国立大学】

在外研究から帰国したら, 文系の私の専門分野では日本では電子的に入手可能な論文がきわめて少

なく大変いらしている。それだけで日本の研究者は大きなハンデを背負っていると思う。原因は、利用できるデータベースが少なすぎることに（私の所属する大学はそれでも恵まれている方はずなのに）、データベースが使えても電子ジャーナルまでリンクしていないこと、それから邦語文献についてはそもそもほとんど全く電子データ化されていないこと。【教員，社会科学，国立大学】

雑誌によってバックナンバーの利用できる範囲が異なる。ある程度古いバックナンバーは電子化されていない。【教員，工学，国立大学】

雑誌によってはまだ利用できない雑誌があり，やはり不便。【大学院生，人文学，PULC】

雑誌数をもっと充実させて欲しいです。【大学院生，化学，国立大学】

参考文献のリファレンスを引く際に便利なので，電子データで図書の閲覧を可能にして欲しい【大学院生，工学，PULC】

紙媒体のジャーナルを図書館に探しに行くのは，手間と時間がかかるし，検索性も電子ジャーナルに比べると劣ってしまう。従って，電子ジャーナル化をもっと推進してほしい。あるいは電子化されているジャーナルとより多く契約し，利用できるジャーナルの数を増やしてほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

資料を入手するのに有料の場合が多すぎます。また，ダウンロードできる資料を広げてほしい。たとえば，サイトライセンスであるサービスでも，雑誌の年号が古いと利用できない場合があったりします。【大学院生，工学，国立大学】

自宅および出張先でもつかえるようにしたい。扱う雑誌の量を増やしてほしい。【大学院生，工学，国立大学】

自宅からアクセスしたい。電子ジャーナルをもっと増やしてほしい。【大学院生，化学，国立大学】

自宅からでも論文を入手したい。出版年度の古い論文の電子化。【大学院生，工学，国立大学】

自宅からでも使用したい。検索した論文のほぼ全部の full text を見たい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅からでも使用したい。全ての雑誌がオンラインで読むことが出来ると良い。【大学院生，農学，国立大学】

自宅からも使いたい，過去の論文の中では図書館に書籍として保管されていて，電子ジャーナルでは利用権利がない場合があるが，このような文献は PDF ファイルにして図書館の HP から検索，ダウンロードできるようにしてほしい【大学院生，工学，国立大学】

自宅からも使いたい、利用できる雑誌の種類を増やしてほしい【大学院生、医歯薬学-医学、国立大学】

自宅からも使いたい。古い論文を電子媒体の形でたくさん欲しい。(古い)論文の量を増やして欲しい。【大学院生、社会科学、国立大学】

自宅からも使いたい。読めない論文があると困る。マイナーな雑誌にも自分にとってが重要な論文がしばしば出ている。【教員、工学、国立大学】

自宅からも使いたい。IEEEに関して、ジャーナルだけでなく、コンファレンスも使えるようにしてほしい。【教員、工学、国立大学】

自宅からも使いたい。すべての論文が閲覧できるようにしたい。【教員、化学、PULC】

自宅からも使いたい。データベースから直接ダウンロードのリンクを増やしてほしい。【教員、工学、国立大学】

自宅からも使いたい。マイナーな論文を集めてほしい。【大学院生、社会科学、国立大学】

自宅からも使いたい。扱っている論文数を増やしてもらいたい。【教員、医歯薬学-歯学、国立大学】

自宅からも使いたい。過去の論文(古いものだとアクセスできない場合がある。出版社でも電子化されていないことがある)に関するも電子的にアクセスできるようにしてもらいたい。【教員、工学、国立大学】

自宅からも使いたい。古い文献についても電子ジャーナルとして利用したい。【教員、農学、国立大学】

自宅からも使いたい。古い論文もPDF化してダウンロードできるようにして欲しい。雑誌数を増やしてほしい。【大学院生、複合新領域、国立大学】

自宅からも使いたい。古い論文もネットからダウンロードできるようにして欲しい。他の機関は古い論文ももっと読めるのにこの大学ではできないのを改善して欲しい。ネットでダウンロードできる論文の種類を増やして欲しい(化学関係)。【教員、化学、国立大学】

自宅からも使いたい。新しい論文誌のなかで契約されていないものがある。【教員、化学、国立大学】

自宅からも使いたい。昔の文献も基本的にオンラインで入手できるようにしてほしい。【大学院生、医歯薬学-薬学、国立大学】

自宅からも使いたいもう少し古いものまで full text で読みたい【大学院生、医歯薬学-医学、国立大

学】

自宅からも使いたいより多くのものに対応して欲しい【大学院生, 化学, 国立大学】

自宅からも使いたい過去の古い論文も電子ジャーナルとして扱ってほしい (ダウンロード可能にしてほしい)【大学院生, 化学, 国立大学】

自宅からも使いたい過去の論文も検索全文ダウンロードできるようにしてほしい【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からも使いたい見れない論文をすぐに入手できるようにしたい【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅からも使いたい古い文献も Full Text で掲載してほしい。【教員, 数物系科学, PULC】

自宅からも使いたい全文をみれる雑誌を増やしてほしい紙の雑誌を購入保管する費用がかざりがあれば, 電子ジャーナルを増やしてほしい【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅からも使いたい電子化されていない論文についても電子化されると非常に便利になると思われる最近発表されたものは, 電子化されている可能性が高いが, 過去のものも電子化してほしい【大学院生, 社会科学, 国立大学】

自宅からも使えたらいい古い論文も使えたらいい【大学院生, 医歯薬学-看護学, 国立大学】

自宅からも使えるようになれば便利。学内についても, オンラインで閲覧できるジャーナルを増やして欲しい。【教員, 生物学, 国立大学】

自宅からも使えるようになれば便利。学内についても, オンラインで閲覧できるジャーナルを増やして欲しい。【教員, 生物学, 国立大学】

自宅からも使えれば便利ではあると思う。また, これは大学の契約次第だが, より過去の文献も見られればと思う。そのためにも, (非常に高価と聞いているので) 出版社は値下げしてもらいたい。【教員, 工学, 国立大学】

自宅からも使用したい。欲しい文献が abstract しか見れない時は困る。できるだけ, 科学雑誌は電子ジャーナルに置き換えて欲しい。【大学院生, 化学, PULC】

自宅からも電子ジャーナルを使用したい電子ジャーナルで利用可能な雑誌 (期間など) を増やしてほしい【大学院生, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

自宅から使いたい論文誌によっては見れないものもあるので見れるようにしてほしい。特に海外雑誌で日本で取りよせが難しいもの (国内大学図書館の何所にもおいてないもの) .【大学院生, 総合

領域, 国立大学】

自宅から使いたい。あらゆる学術論文をダウンロードできるようにしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅から使いたい。できるだけ過去の文献を網羅しておいてほしい。【教員, 化学, 国立大学】

自宅から使いたい。できる限り利用できる電子ジャーナルの数を増やしてほしい。【教員, 総合領域, 国立大学】

自宅から使いたい。古い論文の電子化。なんとか古い論文でも検索可能な pdf ファイルへ変えていく方向に全力を注いで欲しい。他の新たなサービスにではなく, そのお金と時間を全て注ぐべき。検索不可能であれば電子ファイルである意味はない, というぐらい検索機能は重要。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

自宅から使いたい。全ての雑誌の論文を掲載後すぐに読めるようになるとうれしい。東大からのリンクで掲載直後の論文を無料でダウンロードできる雑誌が増えるとありがたい。【大学院生, 複合新領域, 国立大学】

自宅から使いたい過去の論文もさかのぼり PDF にして提供してもらいたい【教員, 医歯薬学・薬学, 国立大学】

自宅から使いたい昔の年代の論文もデータの形で手にいれられるようにしてほしい【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅から使いたいです特に American Physical Society 関係を希望します【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅から使えると便利だと思う。古い文献を検索できるとよい。【教員, 総合領域, 国立大学】

自宅から使えると便利だと思う。機関によっては読むことのできないジャーナルがあるので, 利用できるジャーナルの種類を充実させて欲しい。【大学院生, 医歯薬学・医学, 国立大学】

自宅から使えるようにしてもらいたい。大学の予算の関係で e-ジャーナルで引くことができない雑誌があるのでこの問題を解消してもらいたい。同じく予算の関係で, 掲載年号が制限されている雑誌があり解消してもらいたい。【教員, 化学】

自宅から使えれば非常に便利です。また, 雑誌数をもっと増える事を望みます。【教員, 化学, 国立大学】

自宅でも使いたい。冊子はいらないので, 全ての論文が電子ジャーナルとして使えるようにしてほ

しい。大学で契約しておらず有料の場合、論文一報につきの値段が高額のため、購入する気がなくなる。もっと安価にしてほしい。大学で契約していても、目的のジャーナルに多数の人がアクセスするとつながらなくなるようで、不便を感じる時がある。【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅でも使いたい電子ジャーナルで読める雑誌を増やしてほしい【大学院生, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

自宅でも利用できるようにしてほしい。また、かなり古い文献が見たいときもあるが、古い文献はオンラインでも印刷体でも入手困難なことがある。少なくともどちらかの形で参照できるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅で使えるに越したことはないが、印刷も出来るし、一定程度の利用者の限定という観点からも今のままで良いように思う。日本語の雑誌に関しては今のところほとんど E-Journal で入手できないので、多少不便を感じる。研究分野によっては特に必要ないのかもしれないが、邦文の雑誌が重要な分野も多いと思う。英文に関しては、近年のもの以外は電子的にはなかなか入手出来ないことが多いので、そちらも充実させてもらえるとありがたい。【大学院生, 農学, 国立大学】

自宅に必要なときに学術論文をいつでもみられるようにしたい。geniiなどの検索サイトは自宅からでも無料で検索できるので便利だが、有名な雑誌や著書以外のあまり知られていない雑誌なども網羅してもらえれば、もっと利用価値が高くなると思う。【大学院生, 人文学, PULC】

自宅や外出先、出向先の職場でも使いたい。また、ひとつでも多くの full paper の PDF が閲覧できるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅や勤務先などの空き時間に検索、取り寄せが出来る仕組みが充実してくると良い古い文献や全ての雑誌について網羅されると良い【大学院生, 社会科学, PULC】

自宅や出張先（特に海外）から使えるようになると、利便性ははるかに向上する。古い論文についても早めにカバーしてほしい。古いものにはファイルサイズが大きいものがあり、ダウンロードに手間取ることがある。【教員, 生物学, 国立大学】

自宅や出張先から使いたい。重要な文献は出版年度が古いものが多い（例えば1970年代）が、ジャーナルによっては、電子版では過去10年ほどのものしか閲覧できないものがある。この点を改善してほしい。【大学院生, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

自宅や出張先から利用したい。現在電子購読が出来ない雑誌について、電子購読希望のアンケートを実施し、それに基づいて電子購読可能な雑誌の追加を行ってほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

自宅を含めどこからでも利用したい。入手困難な雑誌をなくしてほしい。【教員, 生物学, PULC】

自分の研究に必要なジャーナルが大学の購読電子ジャーナルにない場合、いくつかのジャーナルを

学生個人で使えるようにしてほしい。【大学院生，農学，国立大学】

主要な学術誌の電子ジャーナルにアクセスできる環境を実現することが重要である。現時点では、アクセスできない学術誌が未だ存在する。【大学院生，工学】

従来の雑誌等の媒体だと，取り寄せの請求を行ってから手元に届くまで非常にタイムロスがあり，さらに輸送費もかかるので必要最低限のものしか利用できないという問題点があることと，電子媒体で公開されている資料も非常に分野が限られていることが多いので，今後は多方面の分野での充実を強く望む。【大学院生，人文学，国立大学】

出版社側への要望になると思いますが，古い論文（せめて1970年代）も対象にして欲しい【教員，生物学，国立大学】

出来るだけ古くまで，電子ジャーナルで読めるとありがたい。【教員，工学，国立大学】

出来る限り古い論文も電子ジャーナルで入手できるようになると助かります。【大学院生，工学，国立大学】

少しマイナーな雑誌で，古い論文はネットで読めない。以前は図書館に本で論文が置いてあったのに，このごろ雑誌購読をやめてしまったものが多く，そういうものが手に入りにくくなった。また，PDFより，雑誌をコピーした方が，図などがきれいに印刷できる。ゼミの資料などに使う場合，それをもう一度コピーするため，なるべく雑誌からコピーできたほうがよいと思う。【大学院生，生物学，国立大学】

図書館に印刷体を所蔵していない古い論文（30年以上前とか）こそ電子ジャーナルが重要な入手手段になるのに，予算の都合上，入手できる電子ジャーナルが最近の論文（10年以内とか）に限定されているのを何とかしてほしい。【教員，化学，国立大学】

図書館蔵書図書についても，学内から電子ブックとして閲覧できるようにしてほしい。【教員，歯歯薬学-看護学，PULC】

昔（十年以上前くらい）の論文でも，データ化してオンラインで手に入るようになってほしい。【大学院生，農学，国立大学】

昔の論文も契約範囲に入れてもらいたい。【大学院生，工学，国立大学】

昔の論文も取れるようにしてほしい。【教員，数物系科学，PULC】

戦前の雑誌に関してもオンラインの雑誌記事検索をつくってほしい(GeNii が戦前もカバーしてほしい)【大学院生，社会科学，国立大学】



全文が読める雑誌の数または種類を増やしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

多くの電子ジャーナルでは, 2, 30 年前くらいまでの論文しか電子化されていない気がする。もっと昔の論文も電子化して欲しい。【教員, 社会科学, 国立大学】

大学(図書館)で契約・購入していない雑誌・書籍を, 学外複写依頼する場合, コピー代にお金(予算)をかけるくらいなら, pdf 版の入手・購入などに, (図書館サービスとして) 尽力(予算を掛けて)もらいたい。【教員, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

大学が購入していないため, 欲しい雑誌がすぐに手に入らないことがある。我が儘であることは分かっているが, 出来る限り様々な論文が手に入るようになってくれることがのぞましい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

大学で入手できる論文が限られているため, 自分の研究に必要な論文を入手できない。そのため, 他大学の人に入手してもらおう。過去の論文を取得できない【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

大学におけるライセンスの制限があるため, 専門的な分野 (IEEE など)の閲覧ができない。要望として, 1. 閲覧可能なジャーナル数の増加, 2. 自宅における検索およびダウンロードの実現がある。【大学院生, 工学, 国立大学】

大学における電子ジャーナルでのフルテキストの閲覧が不可能な雑誌が未だ多数あるので, さらに閲覧可能なタイトル数を増やしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

大学によっては契約している雑誌社が異なりますが, たくさん契約して欲しい。【大学院生, 生物学, PULC】

大学予算の制限のために電子ジャーナルで閲覧できる雑誌が限られている点が問題【教員, 工学, PULC】

第一に, 英語圏やドイツ語圏の論文などがもっと入手しやすくなることを切に願う。その際あまりお金がかからなければなお良い。第二に, 他大学にある論文を今よりも自由に手にできる環境を作ってほしい。現在ほとんどの制約が多すぎる。最後に, 自宅からの利用もさらに容易になるようであればありがたい。【大学院生, 人文学, PULC】

値段の高騰により購入できない雑誌が増えている。手間がかかるので取り寄せるのが面倒で, 重要な論文を見落としている可能性を否定できない。少しでも見ることができると判断しやすいのだが。【教員, 化学, PULC】

電子 journal の閲覧可能期間が過去 10 年などに限定されている場合は不便。万が一, 今後, 印刷体が購入されなくなった場合には将来的には, 10 年前以前の古い文献を調査できなくなってしまう。【教員, 化学, 国立大学】

電子ジャーナルがカバーする過去の論文の数を増やして欲しい。個人的な意見として、学術論文はなるべく pdf ファイルで所持したいので。【大学院生, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルからダウンロードできる論文数が増えてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルから閲覧及びダウンロードできる雑誌数を増やして欲しい。【大学院生, 化学, 国立大学】

電子ジャーナルが利用できる雑誌とできない雑誌があるのが煩わしい。【教員, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルサービスの拡充を望みます。【大学院生, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルでいいので読める雑誌の種類を増やして欲しい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

電子ジャーナルでは昔の論文がない。【教員, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルで閲覧できる雑誌数を増やしてほしい【その他, 複合新領域】

電子ジャーナルで公開されている巻号が最近のものに制限されていたり、入手に関する様々な制約がかかっていることが多く不便である。同じジャーナルでも電子ジャーナルで検索すべきなのか、紙媒体で検索すべきなのか迷うこともある。また、電子ジャーナルの利用料金が個人で契約すると高額になる場合も多く、これも問題である。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

電子ジャーナルで講読可能なジャーナル数をさらに増加させてほしい。具体的には、インパクトファクターの高い論文（私達の分野では1以上）は必ず講読ができるようにしてほしい。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

電子ジャーナルで利用できるジャーナルを増やして欲しい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

電子ジャーナルで利用できる学術論文をより一層増やしていただけると、論文の執筆などに非常に役に立つので希望しております。また、電子ジャーナルを自宅からも利用できるとより使い勝手が良くなるので、そのようにしていただけるとありがたいです。【大学院生, 化学, 国立大学】

電子ジャーナルで利用できる雑誌の種類をさらに増やしてほしい。【教員, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

電子ジャーナルにおいて古い論文は多く引用されているものであっても abstract ぐらいまでしか入手できない。【大学院生, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルについて、移動中や自宅からも使用したい。また、古い文献も電子化してほしい。

【教員, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルに関しては古い論文の図表が見づらい, あるいは入手することができない。【大学院生, 農学, 国立大学】

電子ジャーナルに掲載されていない過去の論文も pdf 等でみれるようにしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルに関して, 大学によってダウンロードできる雑誌の種類, 年に限りがある。できるだけ多くの論文を電子ジャーナルを通して入手したい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

電子ジャーナルに最新のものまで収録して欲しい。収録年を最近のものだけでなく古いものまでそろえて欲しい。タイトル数を充実させて欲しい。【大学院生, 社会科学, PULC】

電子ジャーナルのほとんどは大学でしか閲覧できないので, 外からも読めるようになると便利である。日本国内の社会科学系の雑誌は, まだ電子ジャーナルかが進んでいないので, さらに進むと便利である。【教員, 社会科学, 国立大学】

電子ジャーナルの過去分の利用可能範囲を広げてほしい【教員, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルの契約数を増やしてほしい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

電子ジャーナルの種類を増やしてほしい。【教員, 化学, 国立大学】

電子ジャーナルの場合, ネット環境がある場所であれば, どこからでもアクセスできるのがいい。また, 最新の論文が充実していることも確かに大切であるが, 過去の古い論文こそ, 電子媒体で提供してほしい。古いものは汚損していたり, 紛失していることがありうるからである。【教員, 社会科学, PULC】

電子ジャーナルの利用可能な年代を拡張して, 出版社が提供する全ての年代のPDFファイルがダウンロードできると便利【教員, 化学, 国立大学】

電子ジャーナルの利用年を増やしてほしい。(1990年からなど)【大学院生, 化学, 国立大学】

電子ジャーナルは契約上1995年以降のものしか利用できない場合が多く, 結局他の図書館に複写依頼することが多い。1970年代くらいから読めるようにしてほしい。【教員, 工学, 国立大学】

電子ジャーナルは検索など便利だが, 所属機関の契約に依存するのが, 使いづらい。また, すべてがネットに依存すると, もしネットやPCのトラブルや, サーバや出版社側の都合で, みれなくなるなどの欠点があり, やはり印刷雑誌を図書館が保持することは, それなりの意味もあるような気がする。【教員, 数物系科学, 国立大学】

電子ジャーナルやeBookを自宅からも利用したい。過去の印刷媒体しかない論文もスキャナーで取り込んだものでもよいから電子媒体で手に入ると便利でよい。論文を図書館を通して取り寄せてもらう場合にもコピーではなく電子媒体のほうがよい。【教員, 総合領域, 国立大学】

電子ジャーナルをもっと充実させてほしい【大学院生, 生物学, 国立大学】

電子ジャーナルを利用できる雑誌を増やして欲しい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

電子ジャーナル化の進展を望みます。特にフランス語圏のもの。【大学院生, 人文学, 国立大学】

電子版をまだ公開していない雑誌が多々あること。日本語雑誌は特に遅い。【教員, 工学, 国立大学】

投稿された論文はなるべく無料で読みたい。成書や総説集であればそれなりの費用を払ってもいいと思うのでオンラインでの販売をして欲しい。【大学院生, 農学, 国立大学】

特に欧州（フランス）の学術論文を即座に入手できるようになると良いと思います。【教員, 社会科学, 国立大学】

特に電子ジャーナルでは特定の時期以外のものの入手が困難で困る場合がある。【大学院生, 複合新領域, 国立大学】

日本のジャーナルなどもPDFなどで読みたい。【大学院生, 社会科学, PULC】

日本の学術雑誌をもっと電子ジャーナル化してほしい【大学院生, 社会科学, 国立大学】

日本語のものも取り入れてほしい。【教員, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

日本語の前文検索ができるデータベースをもう少し増やして欲しい。【教員, 社会科学】

日本語の電子ジャーナルの充実【大学院生, 農学, 国立大学】

日本語の論文はかなり紙媒体でしか入手しにくく、PDFで入手できても画像として認識されている場合があるなど、PDFとしての質が低い、これだけたくさんの大学や図書館があるので、分担して適切なPDFとしての質での提供をするシステムを安価に作ってもらえればありがたい。欧文については、やはりシステムの得にくいところもある。この点は日本の代理店のようなシステムがあるとありがたい。どうも英語でオンラインで契約を取り交わすのには若干、苦手意識がある。【大学院生, 社会科学, PULC】

日本語論文の電子サービスが充実するとよい。【教員, 工学, PULC】

日本国内における学術雑誌の登録・利用の拡充を切望（特に電子ジャーナル）。国内・海外で分別するのではなく、専門分野に基づいてソートできると便利。携帯電話から検索できたり、検索結果をPC上まとめるデータベースアプリケーションとの連携ができるとより便利。認知度の高い雑誌の電子化も大事だが、専門性が高く発行部数の少ない雑誌（地域研究、郷土研究など）の電子化を切望。【教員、人文学、PULC】

年代の古い論文もPDFで入手できるようにしてほしい。中国語の雑誌は、ネット上から入手できることが少ないので不便を感じることもある。【教員、数物系科学、国立大学】

発行年度が古い論文でダウンロードできない論文があるので、古い論文でもダウンロードできるようにしてほしい。【教員、工学、国立大学】

比較的古いものも電子化してほしいと思う。日本語の論文も電子化が進み、入手しやすくなると思う。【大学院生、医歯薬学-医学、PULC】

必要な電子ジャーナルを発見しととしても、有料のためにアブストラクトしか見れない雑誌があまりに多い。もっと無料で全文を閲覧できるようにしてほしい。【教員、生物学、国立大学】

分野の拡充【教員、社会科学、PULC】

文系の海外学術文献のデータベース（書誌情報のみで可）が少ない。高額のものは複数大学・機関等で分担する形ででも、利用可能な状態にすることが望ましい。【教員、社会科学、国立大学】

文系の学問は相当古い論文を利用することがあります。現在の多くの論文検索機能を備えたウェブサイトがあると思います。しかし、これらのウェブサイトはここ2、30年間の論文については情報が充実していると思いますが、それ以前になると弱くなっていると思います。また、ここ2、30年に発表された論文は多くが雑誌などが残っており、容易に見ることができます。ところが、古い論文は古くなればなるほど、雑誌や論集が簡単に見つからない場合も多くなります。全部は難しいでしょうが、権威のある古い論文をwebで公開していただければ、便利だと思います。【大学院生、人文学、PULC】

法律・法学分野では、主にアメリカ系（アメリカの出版社経由）の論文雑誌が「電子ジャーナル」として学内利用可能になっていると思われるが、それに対して、多くの優れた欧州系（欧州の出版社経由）の論文雑誌（例えばOXFORD JOURNAL系のものや、Brill系のものなど）は、それほど利用可能にはなっていない気がする。今後電子ジャーナルの利用可能範囲を広げていただければ、研究上非常にプラスになる。また、学内利用可能化の要望・実現の手続について、そのハードルを下げるとともに、それをより明確化し、周知して欲しい。【教員、社会科学、国立大学】

名古屋大学の電子ジャーナルは、大変充実した内容だとは思いますが、できれば古い論文（70年代以前など）も電子ファイルとしてウェブで入手できればいいと思う。【大学院生、生物学、国立大学】

問題点・自宅からアクセスできない・古い論文はPDF化されておらずオンラインからでは入手できない【大学院生, 生物学, 国立大学】

有名な論文集なのに無いのが無念である。例えば, AIAA Journal など。【大学院生, 工学, 国立大学】

予稿集を電子ジャーナルとして見えるようにしていただきたい。【大学院生, 工学, 国立大学】

利用できるデータ(雑誌, 年度)を増やして充実させてほしい。【教員, 総合領域, 国立大学】

利用できる雑誌の種類を増やして頂きたいです。【大学院生, 工学, 国立大学】

利用できる雑誌の数を出来る限り増やして欲しい。【教員, 数物系科学, 国立大学】

利用できる雑誌の数を増やして欲しい【大学院生, 生物学, 国立大学】

利用に有料登録が必要な雑誌があるので, 無料で利用できるようにして欲しい【教員, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

歴史学系の雑誌のオンライン版の充実【大学院生, 人文学, PULC】

歴史系の雑誌は電子化されていないものが多いので, もっと充実させてほしい。【大学院生, 人文学, 国立大学】

論文が包括的に入手できず, 困ることが多い。同じインターフェースでとれるようにして欲しい。昔の論文も拡充されつつあるが, もっとそれが進んで欲しい。【教員, 社会科学, PULC】

論文にはなっていない国際会議のプロシーディングの, 特に古い文献は探し難い。印刷耐でも見つければ良いが, 最悪見つからないことがある。【大学院生, 工学, 国立大学】

論文の症録のみ閲覧できて全文が読めない雑誌があり, さらに近くの図書館にも蔵書していない場合がある。【教員, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

論文の全文をPDFで閲覧出来る雑誌数の拡充をお願いします。(会員でないなどの利用で全文を見れない場合があるので)【教員, 工学, 国立大学】

論文は研究に欠かせないものなので, 大学はなるべく多くの予算を回して, 十分な情報源を確保して欲しい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

論文へのリンクが貼られていないマイナーな雑誌についても無料で利用できる様になると良いと思う。【大学院生, 農学, 国立大学】

論文検索や閲覧を出張先からもできるようにしてほしい。論文のPDF化をできるだけ多くの雑誌で行っていただき、過去に出版した論文もすべて検索し、閲覧できるようにしてほしい。【教員, 化学, 国立大学】

論文誌のリクエスト行ってほしい【大学院生, 総合領域, 国立大学】

論文集に収録された論文・報告記事, また官報類に掲載された学術的な記事も検索できるとよい。  
【教員, 人文学, 国立大学】

論文本文をPDFでダウンロードできるものが少ないので, ダウンロードして閲覧できれば便利になるといいます。E-bookは知らなかったのもっと情報を入手しやすくして欲しかった。【大学院生, 社会科学, PULC】

和文雑誌論文の電子化・オンライン化をより積極的に推進することが望ましく思われる。Cinii等の雑誌検索システムは, まだ収録数や汎用性に不自由なと思う場合がある。特に, 上記の問題と合わせ, 邦語論文のオンライン上の本文リンクなどがより自由に行える状況が待たれる。著作権等の問題があることは理解できるが, 出張中などに, 急遽論文が必要となるような場面も想定されるため, 大学外での使用も行えることが望ましい。パスワードなどの設定によって解決できないだろうか? また, 図書館相互利用に関して, 現物複写のみならず, Eメールの活用による電子ファイルでの資料提供はできないだろうか。その方が大幅にコストも削減され, 資料受領期間も短縮されるために, 利用者として大いに望ましい。【大学院生, 人文学, 国立大学】

### 3. システム機能の改善に関する意見

論文検索をかける際に, キーワードとは別に, 章の題名も検索でわかるであってほしい。キーワードにのってないにもかかわらず, ある章に記載されている情報が有用な場合もある。それから, ある論文が引用されている論文という, 検索ができれば, ある論考がどのように用いられているかを調べるのに便利だと思う。【大学院生, 人文学, 国立大学】

(1) 論文のキーワードはそれぞれの著者がつけているため, 同じ意味の言葉でも何通りも表現方法があり, 検索キーワードでは捕まえられないことが多い。対象となる分野がよく知っているものなら問題ないが, 特にその分野について詳しくないときは検索が大変になる。(2) 検索サイトの情報の更新が遅いと, 重要な成果を見逃す可能性がある(3) 古い論文が電子化されていない【大学院生, 工学, PULC】

(以前(昨年より前)利用したときで, 現在変わったのかもしれないが)他機関の文献印刷の方法がやや煩雑, よくわからない。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

(大学からのアクセスですが) 個人としてダウンロードできない論文(雑誌)について, 入手する方法等の指南がリンクされていると大変助かります。(どの雑誌の論文がダウンロードできるのか,

等、よくわからないものが多いので。)【大学院生, 工学, 国立大学】

「よく使うジャーナル」のリスト (履歴機能)【教員, 化学, 国立大学】

各電子ジャーナルへのアクセス権を持っている企業や大学, 研究機関に従事している人なら自宅からでもアクセスできるようにしてほしい。・例えば, 自分が登録したキーワードにヒットする論文が掲載されたら, 知らせるような機能があるとありがたい。(既にあるかどうかわかりませんが。)【大学院生, 工学, 国立大学】

参照文献に取得不可能なものが掲載されている場合があり, 事実上参照文献にならない。特に現状で不便はないが, 一か所ですべての雑誌に検索をかけることができれば, より便利である。【教員, 数物系科学, 国立大学】

自宅からも使用したいです。keio.net である程度カバーはできますが...・医中誌検索ですと, ほんの10年ほど前の文献でメジャーな雑誌に掲載されているのに検索からもれることがあります。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅からも是非使いたい。・リポジトリに登録されている論文を横断的に検索できるようにしてほしい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

出張先からも, 大学のアカウントで pdf をダウンロードしたい。・論文を検索する際, 化学式等の表示の違いや, 物質を通称で表示しているため, 検索にかかり難い論文がある。これらのような論文も, まとめて検索できるシステムがほしい。・検索の際に, 「A という word を含むが, B という word を含まない論文」を検索する方法が欲しい。【大学院生, 工学, 国立大学】

特に一般文献について, 目次と索引の頁のみでも簡単に入手できる仕組みがほしい。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

日本語や他の言語の論文検索の方法がわからない。・自宅からも使いたい。【大学院生, 農学, 国立大学】

1年経過した後やお金を払わないと論文が落とせないというのをやめて, 常にどの論文も研究室から落とせるようにしてほしい。また, 昔の時代の論文もどんどん電子化してほしい。さらに web 上の自分専用のページに論文リストをためておく際, パスワードの入力やデータ取り込みが大変なので, 何とかならないか?特にデータ取り込みに関しては, マウスの右クリックで取り込めるようにしてほしい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

abstract だけでも, PDF などを介さずに簡単に読めると, 必要な論文の検索時に非常に助かります。【大学院生, 工学, 国立大学】

Cinii ですべての雑誌論文をダウンロード可能にしてほしい。【大学院生, 社会科学, PULC】



CiNii では PDF をダウンロードできる論文集とできない論文集がある。出来ればよく利用される論文集などはダウンロードできるようにしていただきたい。PDF のダウンロードは大学の文献室などが閉まっているときには非常に便利であり、これからももっと充実させていってほしいと思っています。【大学院生, 工学, PULC】

Endnote のような論文情報蓄積を、論文にアクセスする事で蓄積・分類されるようなサイト（様々な論文掲載サイトを総合したもの）があれば面白い【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

Graphical Abstract をネット上で一覧できるようにしてほしい。【教員, 化学, 国立大学】

IEEE 関連の国際会議論文やワークショップの論文を online で閲覧できるようにしてほしい。NII 論文情報ナビゲーターで検索される論文の pdf をアブストラクトだけでなく、閲覧できるようにしてほしい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

ISI Web of Science 等の検索サイトや, Physical Review と言った主要論文のサイトを学外からも使えるようにしてほしいです。出張先で文献が手に入らず研究が遅れてしてしまうことがあります。また敢えて言うならば, 図書館の論文のオンライン目録はやや使いにくいように感じます。(実際は Web of Science が使えるのでそれほど不自由はないのですが…)例えば「Solid state communications」は [http://www.library.tohoku.ac.jp/opac/serial-query?mode=3 & zcode=30010649 & key=B119398942821605](http://www.library.tohoku.ac.jp/opac/serial-query?mode=3&zcode=30010649&key=B119398942821605) とありますが, そこから「電子ジャーナル情報 [学内限定]」のリンクをたどってオンラインで Full Text を入手しようとする, 一度検索をしてそこでもう一度リンクをたどることになりちょっと煩雑に感じます。また, 契約情報では有効期限が「2005/03/31」となっており一見使えないように見えるものの実際には Full Text にアクセス出来る等情報のちぐはぐさも感じます。【教員, 数物系科学, 国立大学】

OPAC での検索時に(雑誌の)どの巻があるのか正確にわからないときがある。製本前の雑誌の貸し出しができないこと。【大学院生, 農学, 国立大学】

OS やブラウザによって変な動きをすることがあるので, 使用者の多い OS やブラウザ上では問題なく動くようにしてほしい。【教員, 総合領域, PULC】

PC によっては PDF ファイルを開く際にエラーが出ることがあり, トラブル対策の FAQ を作成してほしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

PDF のファイル名のフォーマットに関する指針が欲しい。【大学院生, 工学, PULC】

PDF ファイルの名前を会社間で統一してほしい【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

PDF ファイル等のファイル名の規格化, 共通化, 個人向けの安価なデータベースソフトの提供 (EndNote は高い) 図書館を通した, 未契約雑誌の pdf ファイルの購入 (コピーではなく, 短時間

での pdf ファイルの入手)【教員, 化学, 国立大学】

PDF 上で本文テキストコピー禁止の設定を行っている媒体がいくつか見られるが, コンピュータ上でコピー機能を使って辞書を引いたりするのでやめてほしい。【教員, 工学, 国立大学】

PDF 等に変換されている昔の論文も, オンライン上で OCR 検索できるようになっていると便利(自ら変換することも可能ですが)。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

Pubmed でよく検索をするが, 発行論文の母国言語のみしかない, という表記のものがひっかかることがある。これらの論文により必要な論文が隠れてしまい, 検索に時間がかかってしまうことがある。【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

pubmed で文献を検索してリンクから雑誌のウェブページにアクセスした際, すぐに文献の本文を読みたいのにも関わらず, 学内からアクセスしていても大学の e-journal 検索ページへ戻り再度雑誌のウェブページへアクセスしなければならないことに使いづらさを感じる。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

PubMed などで検索した時点で, その環境で全文が読める論文と別途お金が必要な論文が区別できたらいいと思います。時間かけてリンクを追って行って, お金振り込めって書かれてるとガッカリするので,, ,【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

Supporting Information(実験行程や化合物の同定, 補足説明など)を充実してほしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

webcat を利用して, 文献の在りかを特定しましたが, 古い文献だったために処分されていたり, 図書館の書庫に移動していることがありました。できるだけ webcat の登録情報をこまめに更新してほしいと感じました。文献を探す際, 図書館 HP で webcat や CiNii, J-stage で調べたりしますが, 何度も検索しなくても良いように, すべてのデータベースを統合してもらえると良いと思います。文献を探すだけでかなりの時間を要するので, できれば時間を短縮したいです。【大学院生, 生物学, 国立大学】

インターネットジャーナルが雑誌によっては, 過去分を直接ダウンロードできない。【大学院生, 複合新領域, 国立大学】

オンラインでの文献複写依頼があると便利【教員, 工学, 国立大学】

お門違いかも知れませんが, ダウンロードした文献の管理が大きな負担です。PDF にもメタデータを含むことが可能なので, citation を BibTeX ファイルなどで別個にダウンロードしてユーザーが管理しなくても済むようになって欲しいと思います。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

キーワードに関して, その論文が年度ごとに何本でているか, またその頻度にインパクトファクタ

一を掛け合わせた時系列推移のグラフができるようになると研究分野の動向を調べる際に非常に便利です。【大学院生, 化学, 国立大学】

キーワード検索において、特徴的な文章入力での検索も充実していただきたい。【教員, 工学, 国立大学】

クレジットカードでの決済では校費での精算が面倒なので、組織での利用を前提として欲しい。利用者からすると多くのデータベースが乱立することは好ましくなく、各 DB (サイト) に対して横断的な検索ができるような API を用意するか、統合して欲しい。【大学院生, 数物系科学, PULC】

クレジットカード決済以外の手軽な課金制度【教員, 総合領域, 国立大学】

じっくり読み込みたい論文やレビューは、高い品質のカラー両面印刷を行って印刷体 (別刷り) としたい。そのための、プリンタ・製本機などの工夫が欲しい所である。【教員, 生物学, PULC】

すべての雑誌をオンラインで読めないのは予算の都合上、ある程度仕方がないと思うが、図書館の文献複写の手続きが現在のところ手間がかかる。書類に記載して、図書館に提出するのはかなり面倒である。このような文献複写の依頼もオンラインでできればと思うことがある。【教員, 化学, 国立大学】

タイトルにキーワードがない場合には、内容が合致していてもヒットしない。【大学院生, 人文学, PULC】

ダウンロードした pdf の管理も大変なので、WEB 上に、My 書棚 のようなサービスがあってもいいと思う。つまり、そこに自分の読んだ論文などを整理しておき、いつでも再ダウンロードできるようにする。【教員, 総合領域, 国立大学】

ダウンロードしても印刷がうまくいかないことがあるので、その点を改善してほしい。【教員, 農学, 国立大学】

ダウンロードの際に、プリペイド・カード方式での料金支払いが割安であるが、公費支出が難しい。「年会費」的な扱いができないだろうか。(これは研究機関内の問題かもしれませんが)【教員, 人文学, PULC】

ネット上で使える学術 DB の検索機能をレキシスのように、複雑な検索条件をつけられるようにしてほしい。【教員, 社会科学, PULC】

パソコンの画面では読みにくい論文がある (説明と図が離れたページにあると顕著)【大学院生, 化学, 国立大学】

一部雑誌において古い論文しかダウンロードできず不便である(J Am Soc Nephrol など)【大学院生,

医歯薬学-医学, PULC】

英語論文と比較して日本語文献（特に医学系）の電子化が遅れているので推進してほしい。さまざまなサイトで検索してマークしたPDF ファイルを一括で管理して、いつでも読めるサービスがほしい。【大学院生, 総合領域, PULC】

外国語の論文の場合アブストラクトがさっと的確に翻訳され、自分のほしい情報がこんなものであるといったものを返すとそれがその文献の何ページあたりにあるかないかが解るシステムがあったらいいと思う。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

外国論文の検索は相対的に不便で、検索に時間がかかります。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

携帯で検索できるようになるとよい。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

欠けている論文などの電子ジャーナルへの追加を簡単にメール等で要望できる仕組み【大学院生, 工学, 国立大学】

検索が難しい。論文の内容に関する評価やコメントなどがあると便利。有料の資料は利用しづらいので無料のものを拡充してほしい。【大学院生, 総合領域, 国立大学】

検索の用語の設定。COX2 と COX-2 の違いなど、検索で振り分けられていることが良くあるので、両方で両方の情報が出たらさらにつかやすいと考えられる。【大学院生, 農学, 国立大学】

検索の迅速化【教員, 化学, 国立大学】

検索までの時間がかかる【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

検索ワードに対して、自分が使用可能な全ての検索システムの結果を一覧表示できるような機能があると非常に助かる。【大学院生, 工学, 国立大学】

検索機能の完備とデータ量の豊富とデータが出る早さを期待しています【大学院生, 農学, 国立大学】

検索機能の充実【大学院生, 社会科学, 国立大学】

検索機能の充実。グラフィカルアブストラクトの充実。【大学院生, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

検索機能をさらに高度にし、より目的の文献を早く探し出すことができるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

研究室内のコンピュータを用い、pubmed で文献検索し、その結果 Science (その他のジャーナルでもあったはずであるが思い出せない) の論文がヒットした場合、pubmed の検索結果に示されている science へのリンクを用いてアクセスしても、subscribe している読者とは扱われず、わざわざ東大図書館のサイト経由で論文をダウンロードしないといけないのが非常に煩わしいです。【教員、医歯薬学-薬学、国立大学】

現状、大学のサーバー経由でしかアクセスできないのが不便で、別の場所からも ID、パスワードで利用できるのが望ましい(一部、そうできるデータベースもすでにあることはありますが)。また、電子媒体による論文を相当量ダウンロードし、自分で管理しているが、ダウンロードした論文を簡単に管理できるウェブ上のアプリケーションがあれば、ぜひ使ってみたい。【教員、人文学、PULC】

現状自宅からオンラインジャーナルやデータベースを利用するには、SSH サーバを経由して大学内にアクセスし、さらに大学内に立てたプロキシサーバを経由しないと利用できない。自宅からも利用したいので、PC の MAC アドレスなどで許可するようにしてほしい。【教員、工学、国立大学】

個人のデータベース化(調べた論文の)も含めたネット上のサービスがあると有用。【教員、生物学、国立大学】

冊子と同様にざっとみるサーベイ機能を高めてほしい【教員、医歯薬学-薬学、国立大学】

雑誌によって、号とページの入力により一発で検索できるものと、アーカイブから探すものがあるが、前者の方が簡便でよいと思う。前者のような検索方法で、すべてのジャーナルを一括検索できたらよいなという希望はあります。【大学院生、生物学、国立大学】

使い方をもっとわかりやすくしてほしい【教員、医歯薬学-歯学、国立大学】

時々解像度の低い PDF でアップロードされている電子ジャーナルがある(特に古い和文誌)【教員、農学、国立大学】

時々使えないことがあるのでイライラする(勝手にアクセスに失敗しました、など)。【教員、医歯薬学-医学、国立大学】

自宅からでもアクセスできる方法を作してほしい。雑誌によっては Up date されてから、一ヶ月しないと全文が読めないものもあり、すぐに読める体制にしてほしい。【大学院生、医歯薬学-医学、国立大学】

自宅からのアクセスがもっと便利になってほしい。携帯アクセスができればもっとよい【大学院生、化学、PULC】

自宅からのアクセス中に途切れてやり直すことが多いので、接続時間を長く設定して欲しい。【教員、化学、国立大学】

自宅からポートフォワードによって使っていることが多いが、今後は携帯端末からの使用なども可能にしてほしい。また学科のサーバーが停止している場合があるため、できれば図書館でアカウントが発行されるとよいと思う。【教員，数物系科学，国立大学】

自宅からも、出先でも使えるようにしていただければ幸いです。また、特定の研究分野に関して新たな論文が出ると電子メール等で知らせるサービスなどがあれば、利用する方は多いのではないかと思います。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からもぜひ使いたい。PDF 上から引用論文へジャンプできるようにしてほしい。古い論文もPDF にしてほしい。【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも使いたい，論文同士の関連性検索機能の充実。【大学院生，数物系科学，国立大学】

自宅からも使いたい。イメージPDF のクオリティ向上。【教員，工学，国立大学】

自宅からも使いたい。文献を豊富にしてほしい。検索を容易にしてほしい。文献本文をダウンロードできるもののみの検索がしたい（見れないものはどうにもならない）。かごがほしい（時間節約のため，後でまとめてダウンロードあるいは印刷したい）。【教員，工学，国立大学】

自宅からも使いたい。PDF に埋め込まれたベクトルデータを SVG で出力したい。古い論文誌もビットマップスキャンデータだけではなくて，検索ができるテキストを打ち直して入力して再度PDF 化して作成してほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

自宅からも使いたい。PubMed 経由で直接手に入れられる雑誌については、「東京大学で利用できる電子ジャーナル検索」で検索後に出てくる結果の表に，何かしらの印をつけて欲しい。【大学院生，生物学，国立大学】

自宅からも使いたい。それぞれの雑誌の検索機能を充実させてほしい。【教員，化学，国立大学】

自宅からも使いたい。ダウンロードした論文を整理して管理できる良いツールがあればよい（たまに重複してダウンロードしてしまうので）【大学院生，社会科学，国立大学】

自宅からも使いたい。ダウンロードの履歴が残れば好ましい。【教員，化学，国立大学】

自宅からも使いたい。なるべく多くの雑誌と契約して欲しい。【教員，農学，国立大学】

自宅からも使いたい。また，現在のファイルのタイトル形式は個々に異なるため，保存の際手間を要する。統一したタイトル形式を作してほしい。【大学院生，化学，PULC】

自宅からも使いたい。検索を一層便利にしてほしい。機関でテキストのオンライン購読が可能な雑

誌なのになかなかアブストラクトからテキストたどり着かないことが多い。【教員，数物系科学，国立大学】

自宅からも使いたい。検索方法の統一。【教員，生物学，国立大学】

自宅からも使いたい。図書館などで検索すると，パソコンの性能なのか表示が遅すぎる。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

自宅からも使いたい。大学からのアクセスでも Proxy 経由になっていて，一部のソフトが対応できていないので，使いにくい。PDF がやたら重いのと軽くて使いよいのがある。【その他，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも使いたい。大学外からも自由に使いたい。大学で契約外のもの（契約外の年度，契約外の雑誌など）も読めるようにしてほしい。最新のものが OnLine で読めないことが多いので読めるようにしてほしい。iHOP のように特定のキーワードで抜き出し羅列してくれるような機能があると便利。【大学院生，生物学，国立大学】

自宅からも使いたい。電子ジャーナル等のサイトは多くの場合非常に重く，利用しづらい。サーバー増強等の措置を取る必要があろう。【教員，農学，国立大学】

自宅からも使いたい。被引用率や impact factor の計算が簡便にできるとよい【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも使いたい。利用できない雑誌をリクエストするシステムを作ってほしい。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

自宅からも使いたい。論文を PDF としてダウンロードする際に，ファイル名に規格があると便利だと思う。古い学術論文も，電子媒体で手に入れることができればよい。【大学院生，工学，国立大学】

自宅からも使いたいメタデータを統一して，オンラインで各種システムと連携したい。【教員，総合領域，国立大学】

自宅からも使いたい印刷時の品質を高めてほしい【教員，工学，国立大学】

自宅からも使用したい検索結果からだけで，ダウンロードが可能かどうかを知りたい【大学院生，農学，国立大学】

自宅からも電子ジャーナルを使いたい。PDF の文書は画面上で，特にスクロール時等レスポンスが悪く動かし辛く，図の参照もし難く，フォントも読み難いのもっと PDF を読みやすく扱いやすいようにしてほしい。【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも利用したい。EndNote 以外の文献管理ソフトにも対応してほしい。(文献管理ソフトが EndNote 寡占である状況は極めて良くない。つまるところ、EndNote は高価すぎて学生は手が出せない。)電子ジャーナルの価格を下げてほしい。地方大学では電子ジャーナルすら利用できない。

【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅から学内図書館のマイアカウントにログインしたら電子ジャーナルをみれるようにすることは必須である。【教員, 工学, 国立大学】

自宅から使いたい, 画像が不十分なことがある【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

自宅から使いたい。利用可能な電子ジャーナル検索などで検索した際, 特定のジャーナルにアクセスするために ID の入力が必要になるが, ID&PASS を表示する INFO リンクは別ウインドウでひらいてもらいたい。【大学院生, 農学, 国立大学】

自宅から使えると便利だとは思う。また古いジャーナルが PDF ファイルが壊れていて見れないときがよくある。古い論文こそ手法などが参考になるものも多いのでそういう問題は解決してほしい。

【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅の PC からでもアクセス権限があればうれしい。web 上に自身がダウンロードした論文をとりまとめられる, endnote のようなものがあると, 学外からでも確認ができるのでありがたい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

自分が通う大学に自身の研究分野に関係する論文が少ないので, 毎回複写依頼をする。他大学所蔵の文献を複写する場合, WEB を使って申し込みができるが, 自分の大学の別キャンパスにある論文を複写する場合は WEB 上の申し込みはできず, 図書館の窓口で手続きを行わなければいけない。これが非常に面倒である。また別キャンパスでは特定の電子ジャーナルの閲覧ができるが, 自分が通っているキャンパスでは閲覧できない。そこは何とかしてほしい。【大学院生, 社会科学, PULC】

自分の大学では研究に必要な論文(特に PDF) がほとんど入手できず, 他大学・他研究施設等を通じての入手となるため, 入手できるまでに時間がかかる。また, 図書館を通じての入手でも印刷体のコピーだけでなく, PDF でも入手が可能なシステムはできないのでしょうか。【大学院生, 生物学, PULC】

出張中(自宅)において検索や PDF ファイルのダウンロードができると助かります。Web of Science などの検索ツールにおいて, 検索にヒットした論文すべてに直リンクしていただくと助かります。

【教員, 化学, 国立大学】

書誌情報の検索から本文(PDF)へのリンクを充実してほしい。具体的には, Web of Science の検索結果から大学で利用できる電子ジャーナルの本文へ直接リンクがあるととても便利。【大学院生, 農学, 国立大学】



図書館間文献複写サービスも電子化してほしい。例えば、申し込むときに、メールアドレスを教えてください、後で文献直接にメールアドレスにとどく。【大学院生、生物学、PULC】

図書館間を通じて論文を入手する際、PDF版がある場合はPDF版も入手したい。古い論文もPDF版で入手したい。【大学院生、化学、国立大学】

多くの関連雑誌の目次を短時間でブラウズするための方法があると情報収集の時間が省ける。検索は、目的とする情報がある程度明確でないと使えないので、世の中の動向を一般的に調べる場合は、ブラウジングが便利である。【教員、総合領域、PULC】

多数の文献をまとめるときに、各論文をその分野の研究全体の中で位置づけて考えることが重要になってくるが、その際に論文同士の引用関係が分かりやすくなるツールがあると便利である。HighWire Press の citation map のようなツールの発達を期待している。【大学院生、総合領域、PULC】

大学で契約していないオンラインについては、簡便に校費決裁で購入できるようなシステムが欲しい【教員、生物学、国立大学】

大学の図書館の電子ジャーナル検索サイト「XX 大学で利用できる電子ジャーナル検索」からリンクされている雑誌なのにたまに利用できないことがある。それはよいとして、電子ジャーナルのダウンロードサイトはどれもたいてい重い。どうにかならないのか。まあ図書館の責任ではないから文句を言っても始まらないのだが。【大学院生、農学、国立大学】

中間の会社（例えばOvid）を通じてアクセスしているうちに、目的の journal にたどりつけないことがある。Direct に到達できるようにできないか。【教員、医歯薬学医学、国立大学】

中国(Zhao など) や韓国 (Lee など)、日本 (Sato など) の研究者で著者の特定が困難な場合が多く、first name を略さない Medline などの文献検索システムの整備が必要である。【教員、医歯薬学医学、PULC】

電子ジャーナルで不具合が生じている。(Mac OS10.3 で使用すると何度もパスワードの入力を要求されてダウンロードできない場合がある) 自宅でも電子ジャーナルをダウンロードしたい。【教員、生物学、国立大学】

電子ジャーナルの F i g u r e の q u a l i t y を向上してほしい【大学院生、工学、国立大学】

電子ジャーナルの索引をもう少し解りやすくしてほしい。(頭文字3文字のみでは数ページに渡って同じ項目が続くことがある:Ame など) 利用頻度の少ないジャーナルを整理して利用者が多そうな他のジャーナルを入れて欲しい。【大学院生、医歯薬学歯学、国立大学】

電子ジャーナルは印刷版に比べて画像の解像度が粗いことが多いので、改善してほしい。【教員、数物系科学、国立大学】

電子ジャーナルは年代の古い参考文献が利用できない。【教員, 医歯薬学-歯学, 国立大学】

電子ジャーナルは利用したことがないのでわかりませんが, 学術論文の所在が, かなり前の論文でもキーワードでネット上から検索できるなら便利だとは思う。それが研究室以外からも利用できるならいいことはない。【教員, 人文学, 国立大学】

電子ジャーナルを自宅で利用したい利用できる電子ジャーナルの種類を増やしてほしい【教員, 化学, 国立大学】

電子購読していても Supplemental Figure がとれずに困ることがある。【大学院生, 生物学, PULC】

特に問題はないが, ひとつ挙げるとすれば, 図書館の電子ジャーナル検索のページの表示が重いので, もう少し軽快にページ移動できるように改善してほしい【教員, 工学, 国立大学】

特に論文作製時などリンクしていない雑誌があると腹が立つ。Nature 誌もしくは関連誌をよく利用するが, 頻繁にパスワードが変わるので非常に使いにくい。登録していない雑誌に関しては図書室で諸手続きをしなければならない上, 届くのも遅延する。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

文献複写の手続きが面倒であるので電子化してほしい。【教員, 生物学, PULC】

本学で利用可能な電子ジャーナルの検索画面が A-Z で並んでるのは, ちょっと使いにくいです。単語を入力するとそれに関連する雑誌が検索されていたり (title 検索だけでなく), ある程度分野分けしてあったりするといいです。【大学院生, 工学, 国立大学】

余白を少なくして文字を大きくして読みたい。【大学院生, 化学, 国立大学】

要望: オンライン検索機能の充実(特に検索に対する回答の高速化)【教員, 工学, 国立大学】

利用できるものと利用できないものが混在しており, 区別する必要性が生じる。【教員, 工学, 国立大学】

量が膨大になりすぎており, 単なるキーワードによる検索では限界。インテリジェントな検索エンジン, 特に個人の傾向を反映できるような検索エンジンの搭載を望む。【教員, 工学, PULC】

論文サイズをできるだけ小さくし, 読み込みや印刷をスムーズに行いたい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

論文検索の際に, もっと詳しく条件の設定がしたい。【大学院生, 農学, PULC】

論文検索をもっとやりやすくしてほしい。ジャンルとか。【大学院生, 工学, 国立大学】

論文雑誌のサイズを世界的に統一し、コピーを撮る時に拡大や縮小で悩まなくてもいいようになればありがたい。また雑誌論文のすべてのページの欄外には、その雑誌名や巻・号・出版社などを入れるようにすれば（すでに入っているものも多いが）コピーを撮った後でいちいち書き込まなくても便利だと思う。【大学院生，社会科学，国立大学】

和文検索が充実できると良い【大学院生，医歯薬学-医学，国立大学】

和文雑誌などで最新号の規制を掛けているものは、出来れば多くの英文雑誌のように最新号の記事にアクセスできるようにしてほしい。自宅からの利用は、現在の試行版プロキシサーバである程度満足している。【大学院生，工学，国立大学】

#### 4. 各大学の事情に起因する意見

自宅からの使用ができない。・専門分野で有名な雑誌のうち、XX 大学で電子ジャーナルとして利用できないものがある (Synthesis, Synlett, Synfact)。・すべての年代の文献を電子ジャーナルで閲覧できないことがある (特にイギリス化学会関係)。【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも使いたい。・Jounal of Geophysical Reserch も入れて欲しい【大学院生，工学，国立大学】

自宅や外出先からも検索したい。査読などの関係で最近頻度がました。・XX 大学は契約している電子媒体の数がすくないので増やして欲しい。XX 大学は豊富だった。【教員，総合領域，国立大学】

大学の ID とパスワードで、すべての電子ジャーナルに学外からもアクセスできるシステムがあれば便利だと思います。・各階 (または2階ごと) にコピー機があると、雑誌を持ってエレベーターで2往復する手間と時間が省けて便利だと思います。【大学院生，社会科学，国立大学】

CNK I を正式に入れてほしい。以前トライアルで使ってみたが、充分利用できないうちに終了してしまった。【教員，人文学，国立大学】

IEEE の Xplore を良く利用するが、現在雑誌論文は大学のアカウントで取得可能であるが、国際会議アブストラクトの取得はできない。ぜひ国際会議アブストラクトも取得できる契約にしてほしい。【教員，工学，国立大学】

IEEE のジャーナルなど読みたいジャーナルを読めないことが多いので、もう少し読めるジャーナル数を増やせるとありがたい。また、少し古くなると読めなくなるので、欲を言えば1980年代以降のジャーナルが読めるような状態だとありがたい。ジャーナルを読まなければ研究は出来ないのでは、なるべく多くの論文に目を通せるような状態を確保してほしい。学術論文は大学で読むことが多いので、自宅から使うなどの拡張を行うよりは上記の問題を改善してほしい。【大学院生，工学，国立大学】

impact factor の高く、有名な journal であるにもかかわらず、大学で登録されている journal に入っていないため、毎回複写を図書館を通じて他大学にお願いしている。読みたいときに読めるようにしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

J. Phys. D のような、自分の専門分野の研究が良く出版される雑誌がないので不便である。おそらく、他の研究室もこの雑誌を必要としているとおもわれるので、費用を折半するなど、各研究室の負担を低くして、より多くの電子出版を購読できるようにしてほしい。【教員, 工学, 国立大学】

Nature Publishing Group, ACS, RSC の電子ジャーナルは、できればすべて利用したい。(Nature Methods, Nature Nanotechnology, Lab-on-a-chip などが利用できなくて、困っています。)【大学院生, 化学, 国立大学】

Proceedings SPIE が現在の図書館のオンライン電子ジャーナルから取れないので、取れる様にして頂きたい。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

Schifinder の同時にアクセスできる数が少なすぎる(よく使えないときがある)【大学院生, 工学, 国立大学】

Science classic を使えるようにしてほしい。自宅でも pdf をダウンロードできるようにしてほしい。【大学院生, 生物学, 国立大学】

Science direct のような大手以外の電子ジャーナルも自由に利用できれば…とは思う。【教員, 工学, 国立大学】

SciFinder が全然接続できず、不便に思うときが非常に多い自宅からも使いたい【大学院生, 化学, 国立大学】

Scifinder をよく利用しますが、学内でのアクセス数が限られているために、昼間はほとんど接続できない。C A S は利用料金を下げて、広く利用できるようにしてほしい。【教員, 医歯薬学薬学, 国立大学】

TESOL Quarterly を入れて欲しい【大学院生, 人文学, PULC】

westlaw ga hosii desu. 【教員, 社会科学, 国立大学】

いまは自宅からアクセスできないので、自宅で参考文献を読みたいとき、忘れないようにメモをしている。自宅から ScienceDirect や scitation にアクセスできれば便利である。XX 大学の場合, J. Chem. Phys. など有名雑誌でも 90 年代中期以前のもものが全く購読できず、毎回有料で取り寄せなければならないのが不便である。XX 大学の購読雑誌は偏った傾向にあると思う。【大学院生, 工学, 国立大学】

トライアルが終了してしまったScopusが利用出来るようになると非常に有難いです。【教員, 工学, 国立大学】

研究室に対する予算削減により購読を止めてしまう雑誌が増加している。そのため、電子ジャーナルも使えなくなり不便を感じる。【大学院生, 生物学, PULC】

よく行く図書館で文献がすぐ入手できるとは限らない【大学院生, 社会科学, 国立大学】

化学系雑誌の電子版の充実を希望します。現状では1995年以前のは電子版では入手できないないため、他大学と比較して不便であると感じます。【教員, 化学, 国立大学】

各大学図書館の問題だと思いますが、電子ジャーナルでも構わないので購読雑誌の種類がより増えることが望ましいです。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学術論文の検索ではISI Web of knowledgeの利用は必須のものと思います。XX大でも導入を検討すべきです。【大学院生, 農学, 国立大学】

XX大学医学部附属図書館で手続きして、出張先や自宅からアクセスできる(論文をPDFでダウンロードできる)サービスをすでに利用している。利用できる雑誌の数が限られているので、これを増やしてほしい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

契約ジャーナルを増やしてほしい【教員, 工学, 国立大学】

現所属(大学)でOptics関連の電子ジャーナルへのアクセスが制限されていて必要な論文の入手に手間が掛かる【教員, 工学, 国立大学】

行動分析関係の雑誌論文をもっと充実させてほしい。【大学院生, 社会科学, PULC】

今、医学系の文献サービス(MEDLINE, 医中誌Web)が私の所属する教育学部では使用不可です。臨床心理分野では医学系の論文も必要となってくるので、学部ごとに異なる利用可能な文献サービスを変えてほしい。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

最近の論文のみ電子ジャーナルに掲載されている場合の、全論文の掲載。電子ジャーナル自体は存在するものの、金額面で大学の図書館にない。【大学院生, 農学, 国立大学】

私がよく使うのはIEEEの論文ですが、最新の2年以内の論文しかアクセスできないため、とても不便です。また、Transactionしかアクセスできないし、IEEEの学会の論文集もアクセスできません。そのとき、国の友達によく頼んで、国の大学のアクセスでDownloadしてもらいました。名古屋大学は世界のレベルの大学なのに、IEEEの論文を少ししかアクセスできないことを始めて分かったとき、本当にびっくりしました。【大学院生, 工学, 国立大学】

私の所属では、図書館に雑誌が備えられている場合、利用者が支払うのはコピー代のみであるが、電子ジャーナルの場合はアクセスしてダウンロードした者だけが、購読費も含めて利用量に応じた費用を年度末に負担するシステムになっている。したがって、負担料金の予測がつかず使用しがたい。この制度を改善し、電子ジャーナルの利用を進めてもらいたい。【教員, 農学, PULC】

自宅からも使いたいNature 姉妹誌やEMBOを購読してほしい【大学院生, 生物学, 国立大学】

自宅からも使いたいアクセスできる雑誌の種類を増やしてほしい。Science の古い論文等。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

自宅からも使いたいです。Web of Science について論文全体の pdf ファイルにリンクが張られていない雑誌があります。(例えば, Japanese Journal of Applied Physics, Journal of Vacuum Science and Technology など) それらのリンクがあれば便利だと思います。閲覧可能な電子ジャーナルをさらに増やして欲しいです。【大学院生, 工学, 国立大学】

所属大学が機関として CiNii を使用できるようになれば研究に役立つと思う。【教員, 人文学, 国立大学】

図書館に本館・分館・書庫など複数の施設がある場合、所蔵雑誌の保管状況が雑誌種別によるものか年代別によるのか一貫しておらずわかりにくい。(例:A雑誌の1980年代発行分&最新号は本館, 1990年代分と1980より古いものが分館。B雑誌は最新号のみ本館, 最近5年分以外は分館。…といった所蔵の仕方。)【大学院生, 人文学, 国立大学】

図書館の雑誌を、学部の院生コピーカードでコピーしたい。文学部図書館では、そのために一時貸出ができたので、本館でもそのようなサービスがほしい。【大学院生, 人文学, 国立大学】

製本作業を早急に行ってほしい。電子版と印刷版でページが異なることがあり、結局印刷版を取り寄せないといけなくなるということがあり、論文で引用するときこまったことがある(ページ数の統一)。  
【その他, 社会科学, PULC】

大学図書館で購読していない雑誌「Lab on a Chip」や「Tissue Engineering」など、有名な雑誌を購読できるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

大学図書館等で所蔵図書・雑誌が未登録のことが多い。とりわけ大学付属の博物館の蔵書はとくに。  
【大学院生, 人文学, PULC】

大学単位での1回の出力本数が異常に少ないので、実際のサーベイ時には苦勞する。【教員, 総合領域, 国立大学】

特定のキャンパス限定のオンラインジャーナルを他キャンパスでも利用できるようにしてほしい。  
XX キャンパス所属だが研究テーマは基礎医学系であるため XX 限定のオンラインジャーナルが手

に入らない。複写依頼をすると時間と手数料がかかる。図書館にとっても複写や清算業務の簡素化などにつながるはず。時間を短縮する目的でXXでPDFで手に入るものはPDFで提供してほしい。PDF提供の場合、論文作成において検索や入力の作業が楽になる。【大学院生，医歯薬学医学，国立大学】

日本の電子ジャーナルの拡充が必要。XX大学図書館のシステムは非常に使いづらく，学内限定なのが難。【教員，社会科学，国立大学】

文献複写の手続きが面倒であるので電子化して欲しい。【教員，生物学，PULC】

辺境の附属施設に所属しており，文献を発注するのが大変なので，e-journal検索エンジンからリンクしてない雑誌の論文は本学にいる学生さんに頼んでコピーしてもらっています。Webから自分で発注できたらいいのですが，たとえばe-journal検索画面から所在部局や他機関にweb発注できるリンクがついていたら便利だろうと思います。あと，農学部図書館が工事中で，たまに本学へ出張したときの空き時間に紙媒体の新刊を閲覧できないのは辛いです。一時的なことでしょうが。【教員，生物学，国立大学】

XX大学図書館は，学内でのみ利用できる環境ですが，自宅でも使えるようになると便利だと思います。ただし，自宅や学外で利用したいと思う時は，主にひとつか二つの論文を即座に調べたい，と思うときなので，利用制限（時間やダウンロードできる論文数）や安価な利用費というコストがあっても利用する人は多いと思います。【大学院生，社会科学，国立大学】

予算の関係上かもしれませんが，もう少しweb上で見られる論文数を増やして欲しい。例えば，Nature関連の論文でNature nanotechnologyやNature Materialで読みたい論文があっても大学での契約が無いためか取り寄せないと見ることが出来ない。研究は日々進歩し次々と新しい報告がなされている中，それらを閲覧できないのは研究する上で非常に支障をきたします。また，過去の論文もこれまでの多くの研究の根底となる報告がなされているので，web上での閲覧数を増やして頂きたい。【大学院生，化学，国立大学】

欲しい論文が電子ジャーナルで発行されているが，大学が契約をしていないので入手できないことが良くある。もっと多くの電子ジャーナルを利用できるような環境が望ましい。大学外からでもネットワーク認証などによって，大学内と同等の電子情報を利用したい。自宅やフィールドでも利用したい。【大学院生，生物学，国立大学】

利用したい雑誌が大学内で手に入らないことが多く，取り寄せることが多い。そのため手間と時間がかかっている。【大学院生，農学，国立大学】

利用する雑誌を忠実に選んで欲しい。大学全体で数人しか利用しないような雑誌はまだ購入し，みんながよみつづきたい雑誌が契約解除されることも多々ある。予算の都合できめず，学生や先生方の意見を十分聞いて上で判断してほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

留学先から XX 大学ポータル電子ジャーナルを使って論文を購読しています。留学先でも多くの論文を購読できるため、大変助かっています。しかし、Wiley InterScience を経由した論文について、長い間本文を参照できない状態が続いています。なるべく早く解決して頂けると助かります。【大学院生，工学，国立大学】

## 5. その他・総合的意見

① 雑誌記事や書籍の検索の際に、同内容の記事や書籍が「別の」ものとしてカウントされることが多いです。このような重複が研究活動をする上で手間取ることがあります。できればこのような重複を避けることはできないのでしょうか。② キーワード検索で膨大な数になって一度に表示できないことがよくありますが、それを年代ごとに区切って検索し直したときの結果と食い違うことがあります。この食い違いには、①の問題も含まれていると思われます。③ 設問にもあるように、論文の利用を自宅からも使えるとよいと思います。【大学院生，社会科学，PULC】

ScifinderSchlar の回線がふさがっていることが多々ある。回線を増やすか、利用者がつなぎっぱなしにしないための方策が必要である。電子ジャーナルに収録された古い文献で、スキャンが悪く図面が読み取れないものが少なからずある。スキャンが不良なものは順次改訂すべきである。【教員，化学，国立大学】

図書館間での文献取り寄せでは決算の都合で取扱件数に制約がある場合があると聞く。数多ある私学などとの調整などが必要だろうが、思わぬ不便を被ることがあるので改善を望みたい。とりわけ、学術論文の入手は対象が広範となることに加えて、作業への進捗を妨げないように至急入手したい場合が多いので図書館間の連携が円滑であることが望まれる。【大学院生，社会科学，国立大学】

二点要望があります。一点目は例にもあるように学外でもインターネットを用いて論文の検索、閲覧、取得が可能になればいいと感じます。理由としては自宅で論文を見たい場合や、学会などに参加した際にその場で気になる発表者の他の論文を取得したり、発表に必要な参考になる論文を取得できたらもっと便利だと感じるからです。二点目は極力古い論文もすべて電子化してほしいと思います。電子化されていない論文を図書館でコピーした場合、雑誌によって本の大きさが違っていたり、論文の余白の取り方が違い、うまくコピーできない場合が多いです。すべて電子化して頂けると、昔の論文に関しても取得にかかる時間が短くなり利用しやすいです。【大学院生，複合新領域，国立大学】

「Abstract だけのものを全文見れるようにしてほしい」「自宅からも使いたい」「参照回数の多いもので古いものは画像データではなくて、文字データとして欲しい。データが重くて大変」【大学院生，工学，国立大学】

【著作権の問題について】販売中の媒体に掲載されている論文が全てコピーできないのはわかるが、絶版のものを全てコピーできないのは困る。【大学院生，工学，国立大学】

大学構内に使用が限られないことが望ましい。・オンラインジャーナルの大学機関による購入を行



う際、出版元から巨額の費用が必要となることは改善が望まれる。【教員、工学、PULC】

●研究者の流動性が高まり書籍や論文など引越しの際のコストが莫大になっている。和書の書籍についても積極的な電子化をし書籍をすでに持っている人は安価に使えるようにしてほしい、google books のようなものが必要な箇所だけ検索できて便利である。●携帯電話で目次がチェックできるようなサイトがあると便利だと思う。●自宅からも使いたい、そのために契約が高額になるようであればむしろ雑誌数の充実をお願いしたい。●web の検索などでは引用文献の管理などいちいちダウンロードせずとも容易にできるようにしてほしい。●普段あまり使わない雑誌で1本だけ論文を取りたいとき（当然日本の図書館で蔵書がないか、あっても研究室単位の場合）などに対応したサービスを安価に運用してほしい。●代理店を経由して国外誌が余計に高額になっている場合があると聞か、そのような点を改善し、とにかく雑誌数を増やしてほしい●加入していないサイトで1本の論文だけを見るための費用などを、図書館で容易に支払えるシステムをつくってほしい。【大学院生、生物学、国立大学】

「大学が電子ジャーナルの購読をやめた場合、そのジャーナルの以前の掲載内容もすべて見られなくなる」と聞きました。もしこれが本当なら大変困ったことなので、そうはならないように出版社との交渉などをお願いします。・全国のいくつかの大学では「印刷された形」の雑誌などが保存されるように、ご配慮をお願いしたい。（これは上に述べた「電子ジャーナルの契約を切った場合」の保険にもなります。）・自宅からも使いたい。重要なアイデアがわいた時などにすぐに調べられることは研究の進展に必須です。著作権の問題でアクセス制限はや無を得ない部分はありますが、各大学でVPN接続などを通してでもできるようになれば良いと思います。（私の所属する大学では可能です。）・私は日本国内の「基幹」大学に所属していますが、小さな大学の研究者もできるだけ不利にならないような制度を是非、維持して頂ければと思います。【教員、数物系科学、国立大学】

wikiのようにインタラクティブにユーザが記述できるような媒体に変更してほしい。pdf中の参考文献へのリンクや、図表、数式へのリンクなど、執筆者の努力だけに依存しないものや、専門用語へのリンクなど。筆者だけの努力では、カバーしきれない細かな作業や第3者からの情報への追記が出来るメディアを希望する。・紙で購入したものは電子ファイルでも入手可能なようにしてほしい。メモするためには、結局紙媒体もコピーをとるため、きれいに印刷するための電子ファイルがほしい。また、コピー&ペーストなどの編集可能な点や、英単語の検索しやすさなど、電子ファイルゆえのメリットもあるため。【大学院生、工学、国立大学】

自分の専攻する分野（心理学）で非常に重要な雑誌（APAが発行しているもの）が利用できないのでしばしば困ります。・自宅やホテルなど（学会中など）から使えるととても便利です。・電子ジャーナルはとても便利ですが、もし大学で購入をやめてしまった場合に、紙媒体がまったくないとほとんど論文を読むことができなくなるのではないかと思います、少し不安です。【教員、社会科学、国立大学】

電子ジャーナルは、各大学で個別に契約するのではなく、日本全国どここの大学でも一律に、学術誌関連のすべての電子ジャーナルを閲覧できるように、国家規模で共通予算を組んでほしい。COEなどの巨額予算が毎年配分される特定旧帝大のみの特権ではなく、知的財産の閲覧は、日本のいか

なる学術機関に所属していようと、平等にすべての学術雑誌電子ジャーナルにアクセスできるようにしてほしい。たとえば、ケンブリッジ大学で実施している電子ジャーナル閲覧形態を、日本にも導入できればよいと思う。但し、日本の特定大学ではなく、大学間共通のシステムとして導入してほしい。【教員、人文学、国立大学】

1. 大規模かつ伝統ある国立大学法人ほど文献複写や貸借に理解がない。個人で使える研究費が潤沢にある研究者は附属図書館に登録済みの論文誌であっても自身の研究室で占有したがる傾向にあり、また大学の共有財産であるという意識が薄い。その結果、文献複写依頼は系統的なコレクションを形成し文献情報共有に理解のある一部の私立大学や先進的な大学院大学に集中する傾向が強い。より深刻な問題として同じ機関に所属する研究者であっても専門分野や研究室が異なると文献を見せたがらない、あるいは貸与期間を極端に限定するケースも見られる。(当然、教員が研究室にいない時間帯は文献貸借の依頼さえできない) 2. (PDF化が進んでいないほどの) 古い文献(論文誌)に関して、年度ごとの冊子形態であるとコピーが非常にとりにくい。(冊子中央の綴りに近い部分がコピーしづらい) 上述の1, 2によって、より豊富に電子ジャーナルが使用できることを歓迎し、また要望する。また、電子ジャーナル化された研究情報やそのあり方をどのように捉えるか研究者ごとに意識がまるで異なる。(実際には共通認識を持つために割ける研究者の労働時間にも限界がある) 【教員、工学、国立大学】

abstract 日本語版の Pub-Med があるとうれしいのですが。私の科のようなマイナー科では無理かな。  
【その他、医歯薬学-医学, PULC】

e-journal の契約形態に応じて、どこまでダウンロードできるかわからないことが不便である。【教員、工学、国立大学】

Elsevier に関しては、図書館で機関契約をしていて過去の雑誌の購読履歴があっても、現在から遡ること10年分しかオンラインで閲覧できないのは、大変不便である。何よりも、雑誌等の購読料が(他の出版社に比較して)べらぼうに高い。【教員、数物系科学, PULC】

Elsevier の ScienceDirect を経由して学術論文を自宅から(大学をとおして)も読めますのでとても役に立っています。【教員、化学, PULC】

Med.Phys.が突然 on-line で全文が読めなくなり、(abst.だけは読めた)しばらく論文の入手ができなくなったことがあった。すぐに図書館に問い合わせたが原因不明とのことで、どうしても読みたい場合は紙媒体で購入している部局に行くしかないとのことであったが、特定の部に置かれていて、利用するのは難しかった。研究に支障をきたす恐れがあり、安定した使用が可能であるように取りはからっていただけるようお願いします。【教員、工学、国立大学】

PubMed の化学版みたいなものはないのでしょうか。【教員、医歯薬学-薬学, 国立大学】

あまり存在を知らされておらず、先輩や先生方から口頭で伝えられることが多い。そのため、その利用にムラがある気がする。できれば、大学院に入学した時点で、ペーパーでその一覧表を配るか、

サイトへの案内をしてもらえれば、利用しやすいと思う。【大学院生, 人文学, PULC】

これからどんどん電子化が進んでいくのだと思います。電子化されていると、いちいち書庫に足を運ばなくても利用できるという点で便利ですが、雑誌も同時に必要だと思います。一見関係のないような内容に実は大きなヒントが隠れていたり、タイトルを見ると面白くなさそうだけど読んでみると面白い論文があり、そういう論文との出会いは雑誌ならではのと思うからです。【大学院生, 人文学, 国立大学】

これまでの利用権限を維持して欲しい。【大学院生, 工学, 国立大学】

その研究テーマに関連してどのような論文があるのかを広く知りたい。【教員, 社会科学, PULC】

そもそも電子化があまり進んでいないので便利かどうか判断つかない。ただ、現在の紙媒体が持っている便利さを犠牲にしない限り、電子化を推し進めていくことは知識の共有や利便において大いに価値があるだろう。【大学院生, 社会科学, PULC】

データを切り貼りして送るという行為を行うことは許されるのでしょうか？【大学院生, 人文学, PULC】

データベースを自宅からも使えるようにしてほしい。各分野でメジャーな雑誌（個人的には医学や看護学など医療系）に関して、印刷物の購読を廃止しないでほしい。【大学院生, 医歯薬学-看護学, 国立大学】

できるだけ網羅的な（分野縦断的な）検索データベースがほしい。【教員, 人文学, PULC】

できれば、各出版社を統括する検索データベースがあると助かります。【教員, 工学, 国立大学】

デジタル文書なので、フォントの文字化けや誤植がないかが気になる。【大学院生, 人文学, PULC】

どのようなデータベースがあり、各々の特徴はどのようなものか、どのような点で使いやすいのか、どのような点はまだ使いにくいのか、といった情報がほとんど手に入らない。【教員, 総合領域, 国立大学】

どのような分野の雑誌（あるいは書籍媒体）であれ、国内にせめて1箇所は保有している機関があるべきで（欠号なしで）、かつILLなどを利用して確実に入手可能な状況を作り出してほしい。【教員, 人文学, 国立大学】

ふらっと図書館に行き、論文誌をばらばらとめくり、たまたま興味ある論文に出会うことが少なくなる気がする。（検索ということではある程度実現されているのかもしれないが。）【大学院生, 数物系科学, PULC】

フリーアクセスの可能なものも多いが、多くの場合最新の論文の本文を参照できないため不便に思っています。その場合、印刷媒体の取り寄せを依頼していますが、最新刊や Online first の場合入手が遅くなるのが非常に残念です。【大学院生, 生物学, PULC】

フリーでダウンロードできる学術論文をより多くしてもらいたい【大学院生, 生物学, PULC】

プロキシサーバーを適宜たてて、自宅からでも見れるよう整備すべき。大学と業者がどのように提携しているのかわからないので例えば自分でプロキシサーバーを大学に立ててよいのかどうか確認するすべがわからない。図書館司書が電子ジャーナル自体をあまり把握していない。【大学院生, 生物学, 国立大学】

まず、電子ジャーナルが学外から利用できれば、本当に助かる。非常に面倒とは思いますが、利用者にパスワードを発行するなど、できないものだろうか。特に、キャンパスに頻繁には来られない社会人の大学院生から、そのような要望をたびたび聞いた。また、近年、従来は電子ジャーナルで入手できたものが購読の打ち切りなどでできなくなってきているが、一方で印刷体（ハードコピー）では入手可能なケースが目につく。そもそも、電子ジャーナルで購読しているものを印刷体でも購読するのは金の無駄としか言いようがない。学内で電子ジャーナルで購読している場合には、印刷体での別途の購読を認めないようにしてはどうかと思う。また、学内の他部署で印刷体で購読していても、電子ジャーナルで読めないというのが、論文を入手する上で最も厄介である。このような無駄な経費を省いて電子ジャーナルに充実に充てることはできないものかと思う。【教員, 人文学, 国立大学】

以前、ある大学図書館にしか蔵書されていない科研費の研究報告書について、著作権の観点から全文コピーできないため、著者に実物の送付を願ったことがあった。相手の大学事務に問い合わせた回答に即して、著者に手紙を認めたのだが、見ず知らずの学生相手だからか、報告書だけでなく返事すら来なかった。相手の大学は飛行機に乗らなければ行けない場所にあり、未だにその論文を手に入れていない。したがって、部数の限られた報告書の入手方法を今以上に整えてほしい。また、冬になると雪に埋もれるような場所に住んでいるため、ネットを介して申し込み、自宅に送付されるようなシステムもあると、非常に助かる。【大学院生, 人文学, 国立大学】

異なる研究機関や部局間での相互利用。印刷体の雑誌ではコピーや現物貸借によってできることが、電子化されることにより不可能になっている。ダウンロード数カウントに基づくライセンス形態の見直しなどで対応できるはず。【教員, 数物系科学, 国立大学】

移行期としては仕方のないことかもしれないが、電子ジャーナルと印刷体の両方が購読不能となっている場合がある。確実にどちらかの形で入手できるようにしてもらいたい。また、電子ジャーナルの場合、自宅で入手できることに意義があるので、自宅からも使えるようにしてもらいたい。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

一つの法人（研究機関）が、地理的に離れた複数の拠点に分散している場合、著作権保護の関連で A 拠点で購読契約した場合、他の B 拠点では電子ジャーナルを閲覧できないなどの制約が課されて

いる。その法人の自主的運用かもしれないが、同じ法人が購読料を支払ってれば、どこの拠点であろうと電子ジャーナルを閲覧する権利があるはずである。そうでないと電子ジャーナルの購読メ리트がないので、発行元で著作権の考え方や閲覧範囲を明確にしていきたい。【教員，複合新領域】

一部の大学では、SciFinder Scholar や Web of Knowledge などの文献検索サービスが利用できない所があると聞きます。過去及び現在の研究を知ることが出来ない環境ほど、研究者にとって危険な事はないと思います。全ての大学でそういったサービスが利用できるよになると良いと思います。【大学院生，化学，国立大学】

印刷可能な PDF というスタイルが一番使いやすいです。自宅から使えれば、それはもちろん便利ですが、職場からの利用のみで現状では特に不都合は生じてはいません。一部の雑誌が、日本中で数校のみしか取っていないケースがあり、これが消えると不便というものもあるので大学が契約している雑誌数が減らない事を祈ります。【教員，工学，国立大学】

印刷冊子をいずれかの国内図書館に保管し、論文情報が電子メディアに寡占されることに備える。【教員，工学，国立大学】

印刷体（冊子体）の確保に、図書館は努めるべきである。雑誌の価格が高すぎる。出版社に価格を下げてもらうような交渉に力を注ぐべきである。そうでなければ、出版社に頼らない、他のベースの雑誌を支援すべきである。【教員，数物系科学，国立大学】

印刷媒体と比べ複写が気軽に（図書館ではなく仕事場で・コピーの際の様々な設定を気にすることなく・速やかに といった意味で）できる電子ジャーナルを充実させることを強く望みます。印刷物は図書館で購入されていても、電子ジャーナルが購入されていない雑誌は複数あり、それが我々の分野では最重要な雑誌であったりします。（例えば American Economic Review は最新3年分程度は電子媒体を図書館で購入しておらず、入手できません）印刷媒体を購入する雑誌の内容を見直しし、電子媒体の導入を充実させることは非常に重要なことだと思います。もちろん自宅からも入手ができるよう、プロキシサーバを充実させることも検討いただきたいと考えています。【大学院生，社会科学，国立大学】

印刷媒体も必要だとは思いますが、やはり電子ジャーナルの方がなにかと便利です。落とせない論文があると研究の支障となることがあるので、できるだけ PDF で落とせるようになってほしいと感じます。また、文献複写にかかる時間を短縮して頂ければと思います。【大学院生，化学，PULC】

印刷媒体も必要とは思いますが、学術論文の検索，収集，整理という点では電子媒体にかなうはずもないので、できることなら今後リリースされる論文などは全て電子化されることを望みます。ただ写真などの画像データに関しては今のところ印刷媒体のほうが優れていますので、その点をクリアできれば今後は電子媒体が主流になるものと思います。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

院生は安くしてほしい【大学院生，社会科学，国立大学】

英語で発表した学術論文を和訳してもらいたい。【大学院生, 工学, 国立大学】

英語圏の発信能力との差がますます開いてきて、さらに加速されている。とにかく、E-journal を維持するためのコストが膨大で、これも増加する傾向がとどめを知らない。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

閲覧できない期間が非常に長い雑誌がある（発行後10年など）が、改善を希望する。【教員, 人文学, 国立大学】

遠隔地などから web of science を利用したい。大学ごとの契約ではなく、無料で幅広くかつデータ量が豊富な論文データベースが欲しい【大学院生, 生物学, 国立大学】

何でも自由に読める環境は便利であるものの、反面、何でも読んでおかなければという圧迫感もある。電子ジャーナルに関しては、印刷媒体とページ数との同一性を保てる状態が必要だと思う。普通のウェブページにしてしまうと、何ページから引用、ということが示せなくなるので。電子ジャーナルも結局プリントアウトすることが多いですし。かといって、PDF はコピーしづらいのが不便ですね。【大学院生, 人文学, PULC】

各分野別あるいは各テーマ別のデータベースがあれば、便利であると思います。【大学院生, 社会科学, PULC】

すべての雑誌について情報をオープンにし、論文の PDF ファイルがダウンロードできるようになるとよい。【大学院生, 農学, 国立大学】

確かに、自宅からも使いたいです。なお、British Library などの affiliate (?) になっていると安価に（学内にない）論文を取り寄せられるような記述が BL のサイトにあります。ぜひ affiliate になってほしいです。【教員, 社会科学, 国立大学】

学会によっては、全く情報を公開していない（会員のみには情報を提供していない）学会もあるので、そういうのがなくなれば良いなあとおもいます。【大学院生, 複合新領域, 国立大学】

学外の図書館に依頼した論文は、印刷されて送られてきますが、時間と費用がかかるので PDF 化したファイルを送ってほしいと思います。印刷物を送ってもらっても、当方で論文を PDF にして保管しており、印刷物は廃棄するので、時間と送料と資源の無駄だと思います。【大学院生, 農学, 国立大学】

学校の専門分野によって取り扱っている論文の種類が偏っているために、他分野の論文を手に入れにくい環境にある気がします。研究に対しての視野やアイデアが広がるようにするためにも、多くの論文を電子ジャーナルとして平等に利用できるようにしてほしいと思っています。【大学院生, 複合新領域, 国立大学】

学術図書についても電子化が進み、内容の検索機能が充実することを望む。日本国内においても、大学・研究機関によっては利用できる電子ジャーナル・論文検索サービスに大きな格差が存在する。できる限り、このような情報格差を小さくし、どこにおいても学術情報を手に入れられる機会を増やしてほしい。【大学院生，生物学，国立大学】

学術用途の利用には、制限を緩くしてほしい。【教員，化学，国立大学】

学術論文・雑誌の個人配布は今後不要であり、全ての学術雑誌をどのように電子ジャーナル化するか、特定の雑誌にかかわらず無料閲覧できるか、が課題。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

学術論文については、学術目的のために複写可能な場合、積極的に電子化していくことが必要であるように思います。【大学院生，社会科学，PULC】

学術論文に限らず、PDF ファイルでは図やデータが読み取る（他者が使用する）ことができるので、その対策を考える必要があると思う。【大学院生，工学，国立大学】

学術論文の検索の際、非常に必要な文献が得られないことがしばしばあります。新しい論文に関してはすぐ手に入れられるケースが多いのですが、古い文献に関してももう少し充実していれば便利だと感じることがあります。【大学院生，工学，国立大学】

学術論文の様々な検索サービスは単純な検索以外の使い方はできるのだけれど、機能が多様すぎて使いこなせないと感じます。まれに大学の図書館主催の講習会等も開かれていますが、できれば日本語での簡単なガイドブックのようなものがあると便利だと思います。【大学院生，農学，国立大学】

学術論文の利用とは直接関係ないかもしれませんが、現状ではあまりにも著作権を無視した利用が多いと感じています。コンピューターソフトなどPCに1台ずつ入れるのが原則なのに、論文や書籍が当たり前のように使い回されるのに誰も疑問を抱かないのは奇異な感じを受けます。学生全員の書籍と論文を用意しろとは申しませんが、もう少し考え直してもよいのでは。コピーライトの流れに棹をさすようであり言いたくないのですが、むしろ現状のコピーライト重視の風潮に抗う姿勢であれば、もっとその点を図書館が率先して強調してくれれば少なくとも個人的には応援したいと思っています。【教員，社会科学，PULC】

学術論文は図書館にある雑誌をコピーして入手する方法が、一番よく用いるものです。インターネットでダウンロードできれば、そちらの方が便利です。ただし、図書館になくなってしまいます。【大学院生，工学，PULC】

学術論文を利用するとき、PDFをオンラインでダウンロードして紙に印刷すると非常に便利であり、実際にほとんどの利用はそのように行っている。そのようにするのにいくつかの利点がある。まず、電子ジャーナルの場合、雑誌単位ではなく論文単位で利用できる。すぐさま情報が得られる。電子媒体なので論文の情報の管理がしやすい。そして、印刷した紙に書き込みがしやすい。【大学院生，

数物系科学, 国立大学】

学術論文購読料が年々上昇しているの、買い支えるのが難しくなっている。【教員, 化学, PULC】

学生に対する文献検索の指導の充実。目的の文献の検索のアシスト。稀少な文献へのアクセスの充実。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

学生の利用に関してはコストをもう少し押さえてもらいたい【大学院生, 総合領域, 国立大学】

学生や院生レポートの盗作のチェックに苦労している。【教員, 人文学, 国立大学】

学内の誰かがダウンロードしたものについては、学内の専用サーバに保管するなどして全体の課金額を減らす工夫が今後重要になるのではないかと。豊かな時代に育った学生が増えるにつれて、無節操なダウンロードは必然であり警告してもなかなか減らない時代がすぐ目の前に来ている気配を感じている。【教員, 生物学, 国立大学】

基本的にインターネットを通じて全ての論文が無料で読めるようになって欲しい。有料の論文は学生には値段が高く、なかなか高いお金を払ってまで見ようはしない。【大学院生, 農学, 国立大学】

機関購入している電子ジャーナルに自宅からもアクセスできると便利。広い視点で、学術研究動向を知るには、本棚に冊子体の雑誌がありいつでも手に取れることが重要。(図書館, 図書室ではなく研究室, グループ単位の人が集まるスペースに)【教員, 数物系科学, 国立大学】

機関デポジトリを進める考え方(論文は著者のもの)と従来の方法に近い出版社, 出版機関の考え方には矛盾がある。閲読, 編集のコストをどう考えるかが問題である。なるべく早期に研究者に納得のいく解法が出るよう誰かが調整をするべきではないかと考えている。【教員, 工学, 国立大学】

機関によって、契約している電子ジャーナルが異なるのが不便。【教員, 数物系科学, 国立大学】

教育機関で使用する論文は無償で提供してほしい。【教員, 化学, PULC】

近年データ化が進み便利だと思うが、色々な知識を得るために印刷物としても必要だと思う。【大学院生, 農学, 国立大学】

契約していない雑誌が目立つようになってきた【大学院生, 工学, 国立大学】

検索でひっかかっても、リンクが著作権のために辿れないのでは詰まらない。昨今の画像やムービーファイルのように、ケチケチせずにバンバン見せてほしい【教員, 化学, 国立大学】

検索機能だけは無料などにして欲しい。【大学院生, 工学, 国立大学】



研究テーマにとってもマッチしている論文に限って有料なので非常に困る【大学院生, 生物学, PULC】

研究の遂行にあたって, 論文の入手の際個人が支払うべき金額が無料もしくは極めて安価であることが重要。研究費から出す形式でもよい。【教員, 工学, 国立大学】

研究は共同財産なので, 論文の原文が, どこでも見れること。【大学院生, 社会科学, PULC】

研究機関が電子ジャーナルを購入してくれているので非常に有難い。【大学院生, 工学, 国立大学】

現在, 印刷体の価格が年々上昇している。また, 電子ジャーナルへのアクセス権の取得にもかなり高額のコストがかかっている。価格が安くなってほしい。【教員, 化学, PULC】

現在, 法学史研究で非常に有用な資料が次々にデータベース化されて, アクセスが容易になっているが, 利用料が高額であるために (3000 万円程度) 購入できない状況にある。しかし, これにアクセスできるかできないかは, 研究者にとって一大問題であり, 利用できないことは研究競争上著しく不利である。【教員, 社会科学, 国立大学】

現在では大学のみでの利用になってしまうため, 個人での講読の敷居が下がると非常に使い易い。また, 学術論文誌の値段自体もう少し下がらないと, 学生は講読を敬遠してしまう。【大学院生, 化学, 国立大学】

現在のところ, 特にないが, 今後電子ジャーナル化が進むと思われるが, コストが下がるとよい。【教員, 化学, 国立大学】

現在の最大の問題は雑誌価格の高騰と大学の図書予算の大幅な減少である。問題は各大学や各学会の努力で解決できる範囲を超えている。現状のままではこの国の科学研究の基盤は崩壊してしまうと思う。政府が科学技術発展のための重要な施策の一つとして, 文献へのアクセスの確保の問題を考慮すべき時期だと強く感じる。【教員, 数物系科学, PULC】

現在の図書館の検索には, ほぼ満足しているが, 理想としては, 全ての論文の全文をすばやく見れるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学医学, 国立大学】

現在一番問題に感じ, さらに手が遠のく理由が「登録されていない文献が意外に多い」「新しい結果についてはほぼ登録されていない」という点になります。これが故に未だ私の周りでは印刷体の利用の方が遙かに優位となっています。ですので, どの雑誌のどの内容も参照できるようになれば大変便利になり, 結果利用数も増加すると思います。【大学院生, 数物系科学, 国立大学】

現在所属している講座では, 電子ジャーナルを含む学術雑誌の購入費が予算全体の70%を越えており, 講読を中止せざるを得ない。その場合, 図書館を通じて複写依頼をすることになるが, この所要時間が短縮されるとありがたい。【教員, 社会科学, 国立大学】

現在の状況で概ね満足している。【大学院生，医歯薬学-薬学，国立大学】

現状で十分満足【大学院生，工学，国立大学】

古い学術雑誌（1950年～1980年くらい）が，最近ネット上でもダウンロード出来るようになった。しかしながら，論文をスキャナーでスキャンしただけの粗末な物が多く，重要な実験結果等を示した写真が真っ黒である場合が多い。この為，我々は，印刷媒体の物も頻繁に利用している。このため，全学術雑誌を電子ジャーナル化することは，反対である。【教員，工学，PULC】

高い【教員，社会科学，PULC】

今のところ図書室にだいたい発注すれば大抵入手できるのでよいが，そのシステムがなくなると困る。【教員，工学，国立大学】

今後どのようにすべきかは判断ができないが，書誌と電子ジャーナルの両方があるといいのではないかと。【教員，総合領域，国立大学】

最近 e-dos を初めて利用したが，e-dos のサービスはとても良いと思う（ペーパーレス化，スピード等において）。学外との間でも行われると良いのではないのでしょうか。【大学院生，農学，国立大学】

最近アクセスが重く，インターネットの最大の利点である即時性に問題が生じることが多々ある。文献の検索までは便利だが，そこから先の取得に対して問題がありそうである。【教員，工学，国立大学】

冊子体でしか入手できない文献が製本中に引っかかるケースがよくあります。しかも，まとめて製本を発注するせいか，1ヶ月以上書架に戻ってこないケースが多いです。こまめな発注により，書架に1週間程度で戻ってくるようにしていただけないでしょうか？電子媒体への切替によっても解決可能です。【教員，工学，国立大学】

雑誌によっては，過去または全部の論文が電子媒体で見れないことがあり，複写依頼等により手に入れるのに時間がかかることがあるので，改善していただきたい。【教員，化学，国立大学】

雑誌によっては，契約関係にない場合は有料になることがあるが，時限を過ぎたら無料等の方策を講じて欲しい。【教員，生物学，国立大学】

雑誌の講読の頻繁な中止，購読開始をしないことを望みます。主に専門家が使用する雑誌や書籍でも，広い意味で高知になった事実やアイデアへのアクセスを保障することは，民主主義を維持する上でベースでもあります。【教員，数物系科学，国立大学】

雑誌の利用は，効率化を進めるが，データの保存という意味の図書館の機能をどう維持するかが問

題。【教員，数物系科学，国立大学】

雑誌記事索引などは，自宅で作業する際に使えるとありがたいと思います。また製本作業中は，論文のコピーが出来なくなるのは不便なので，pdf等の形で使えるようにしてもらえると助かります。

【大学院生，人文学，国立大学】

雑誌社の経営上，全てを無料公開にすることは難しいとしても，3年後など，ある年数を経たものに関しては，全てを無料公開してほしい。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

雑誌論文は紙媒体によって残しておく必要があると考える。個人的な感想だが。【教員，社会科学】

私は，指導教官の異動に伴って，籍は元の大学に残したまま，他大学の研究室で研究活動を行っています。このような状況ですと，1) 他大学から，籍のある大学のサービスへのアクセスが使えない，又は制限を受ける（籍のある大学側）2) 移転先の大学が，外部ねとワークへのアクセスに制限をかけていて，利用に制限を受ける（移転先の大学側）等の問題を，現在かかえていますので，改善できれば良いと思います。また，pdfがダウンロードできても，紙媒体でじっくり眺めたりするのは有用だと思うので，電子媒体と紙媒体の両方を提供できる（特に，広い分野での有名誌，例えばNature, Science, 化学系ですとJACSなど）体制だとうれしく思います。【大学院生，化学，国立大学】

紙媒体が廃止されていく傾向にあるが，紙媒体のものも残して欲しい。【大学院生，工学，国立大学】

紙媒体の電子媒体への移行は，ただ，教育関連予算がどんどん縮減されていく現状においてはやむをえない措置であるというだけの理由で受忍しているにすぎない。論文はやはり印刷物の形で読みたい，PC画面上の文字を追って読むのは苦痛だし，結局個人で印刷して読むことになるため資源の無駄だ，というのが偽らざる本音である。【教員，社会科学，国立大学】

自宅からでも利用できると助かる。雑誌は比較的入手しやすいが，絶版・品切れ書籍が入手し辛い。

【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅からの利用は望ましいが，著作権の問題などクリアできないでしょうね。あと古い文献に強い電子ジャーナルがあればと思う。また，学会の予稿集などが参考文献の引用文献にあり，孫引きしたい時など，どこまで図書館で取り寄せられそうか？のガイドラインの様なものがあれば嬉しいです。【教員，工学，国立大学】

自宅からもアクセスが可能だと便利。電子検索は目的が明確だと使いやすい。その一方で，予想できないアイデアを着想するときは，印刷体を読んでいる時が多い。その意味では，創造的な作業は紙の方がいいと思う。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅からも使いたい。(旧)国立大学間での購読ジャーナルの共有が出来るとありがたいです。【大学院生，化学，国立大学】

自宅からも使いたい。データベース案内を充実させてほしい。【大学院生，社会科学，国立大学】

自宅からも使いたい。マイナーな雑誌でも購読を打ち切らないで欲しい（誰でも知っていることは図書館に期待しない）。単行本の発刊から購入までの時間が長すぎる。【教員，化学，国立大学】

自宅からも使いたい。紙媒体の論文とは異なり，電子ジャーナル購入は後に残らないので買い続けなければならない点が問題。（具体的には，電子ジャーナルの場合には，図書館が購入を停止した場合，（購入停止の）以前に購入したものも見られなくなるのは，困る。【教員，工学】

自宅からも使いたい印刷体を年間購読でなく，一冊だけ買いたい（自分の論文が載った時など）【教員，工学，国立大学】

自宅からも使いたい利用できる電子ジャーナルタイトルを増やしたいあるいは有料の電子ジャーナルを研究費で簡単に使えるようにしたい（現在の立替方法ではやや不便）【教員，化学，国立大学】

自宅からも使用したい（その場合，電子ジャーナル等が便利である）。ただし，印刷物の方が利用しやすい（書き込み等できる）。電子ジャーナルだと業績として評価されないので，評価するようにするかあるいは常に両方を準備するようになってもらいたい。【大学院生，社会科学，PULC】

自宅から使いたい。共同研究者に送付したい。冊子体はコピーをして送ることができる。【教員，総合領域，国立大学】

自宅から使用したい。すべての電子図書のダウンロードを可能にできるように国立大学におけるインフラを整えてほしい。【大学院生，化学，国立大学】

自宅から利用できればかなり便利。所属する大学が契約していない場合，他大学に文献複写をお願いすることが多いが，校費決済で契約していない論文もダウンロードできればなお便利だと思う。例えば，今のシステムであれば他大学へ文献複写を所属図書館へ依頼するところを，依頼された図書館員が一旦ダウンロードを代行して電子ファイルを依頼者に電子メールで送り，その費用を研究室に請求するというシステムがあれば便利。自分のクレジットカードを使ってダウンロードするのは，できれば避けたい。手に入れた論文は電子書類として残しておきたいが，文献複写になると紙媒体しか残らないので，後でもう一度印刷(コピー)したいときに不便。【教員，工学，国立大学】

自宅での利用。最近の論文は図表にカラーが多いので，PDF を安くカラー印刷し配布するサービス。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

自宅でも使えるようになると助かります。また，複写物の料金をもう少し安くしてほしいです。そして，もう少し早く届けてほしいです。【大学院生，社会科学，国立大学】

自宅や，出張先からも利用可能になると良い。直接は関係ないが，サーキュレーションを良くする

ため著者が電子版を公開したいと言うことがあるが、どのような形なら可能かポリシーを各雑誌社に明示して欲しい（エルゼビアでは見たことがありますが）【教員，工学，国立大学】

自宅や出張先からも利用できると便利。ただ、このようなシステムの普及により、媒体を発信する業者への収入が減れば情報を発信しようとする活動そのものの障害になりかねない。著作権を守り、利用する人間が多ければ著作権者に収入が入るような仕組みの開発は必要と考える。ただで情報が手に入るのはありがたいが、一方で、情報を作成した場合にただで供給しなくてはならないことになるわけで、著作権に関わる利益をどのように大学として保護していくかの指針を世界的に提言すべきであると思う。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

自宅や出張先でも利用したい。最近，電子ジャーナルの普及に伴って，図書館で印刷体の購入が減ってきているが，印刷体はまとめて内容を確認するのに適しており，電子ジャーナルとは異なる使い勝手の良さがあるので，極力減らさないでほしい。【教員，化学，国立大学】

自分自身が電子ジャーナルを使いこなしていない面がある。具体的には，あまりにも検索可能なツールが多いため，自分にとっての最適ツールがどれかを探す手間がわずらわしく，紙媒体のものに頼っている面がある。電子ジャーナルをうまく使いこなせるような講習があれば（実はあるが自分が知らないだけかもしれないが，）大変助かると思う。【大学院生，社会科学，国立大学】

自由に利用可能なサイトを増やしてほしい（利用するには登録や料金が必要で，閲覧を断念したケースが多数あるため）。古い文献は電子化されていないことが多いので，どんどんPDF化してほしい。【大学院生，工学，国立大学】

社会科学系・行動科学系の文献情報データベースが充実していない。【教員，社会科学，国立大学】

借りたい時に図書館に行けなかったりすることも多々あるので，宅配サービスや論文のコピーのサービス等があれば助かる。【大学院生，数物系科学，PULC】

借りられる日数を増やして欲しい。【大学院生，医歯薬学-医学，PULC】

主な資料は紙媒体なので，収蔵場所に出向かなければ使えないのが不満。コピー代もかかる。資料が所属機関に収蔵されておらず，他機関に取りに行く場合は，コピー代や交通費，時間・労力が余分にかかるため，使用を諦めてしまうこともある。また，所属がなくなった場合，使える図書館がどのくらいあるのが不安。【教員，人文学，PULC】

収集以上に，PDF化された論文を整理するのが大変である。【大学院生，工学，国立大学】

出版物を購入しないのは問題だと思う。オンラインジャーナルは自分が探す論文しか殆ど目にするのがなく，自分の興味ない分野を勉強する機会を減らしている。出版物があれば一通りまとまった期間に発表された論文を目にすることができるので，非常に勉強になる。出版物の購入が減らされている傾向にあると感じるが，これは研究者にとって非常に大きな痛手となっている。【大学院生，

生物学, 国立大学】

所属する機関が契約していない電子ジャーナルについて, 入手方法がすぐに分かる方法がほしい。

【大学院生, 生物学, 国立大学】

所属機関によって手に入れることのできる電子データが異なるのはどうなのかと思います。研究者が論文を投稿するのにお金をもらっているわけではないのに, それを見るのに制限をかけすぎているのではないのでしょうか? 出版社の問題なので, 難しいとは思いますが。【大学院生, 生物学, 国立大学】

所属機関により購読雑誌の差が有り, 手に入れられる学術情報に格差が生じている現状を改善して欲しい。膨大な情報量から必要な情報を種々選択するには現在のキーワード検索では物理的に不可能か, もしくは漏れが生じており, 検索機能の向上を望む。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

所属大学の図書館と契約しているものでないと見られない論文(誌)の場合, 自宅で論文を探しているときに不便を感じる。また, 自分の所属大学の図書館であればその学問分野上, 当然契約しているべきと思われるその分野の著名な雑誌が契約されておらず, 図書館に不満を感じることもある。できれば電子ジャーナルは自宅からでも無料で見られるように, 完全に一般公開という形にしてもらいたい。【大学院生, 人文学, 国立大学】

書誌の情報に関する項目に「査読の有無(perr review)」があったら, 極めて便利。最近ではEricでこの取り組みが始まっている。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

少なくとも研究機関や教育機関からは小規模な施設であっても利用が可能になると良いと思う。【大学院生, 生物学, 国立大学】

場所を選ばず使いたい, 学校によって購読している雑誌の量と質が異なるので統一してほしい【大学院生, 工学, 国立大学】

情報が多すぎ, 創造性を保つことが難しくなっている気がします。【大学院生, 農学, 国立大学】

新刊雑誌が出た際の対応が遅い。すぐに図書館に導入する, または電子ジャーナルで利用できるような体制を整えて欲しい。【教員, 工学, 国立大学】

身の回りの大学院生レベルの若い研究者に, 学術雑誌離れが起こっている気がする。若い研究者に, 電子ジャーナル利用をベースに, 文献の利用方法をきちんと伝える必要を感じている。【教員, 工学, 国立大学】

身分にかかわらず, だれでも利用できる環境を作っていただきたい【大学院生, 人文学, PULC】

図書の購読費用が膨大になっており, どの雑誌の購読をやめるかという議論に腐心している。出版

社は利益を追求するのかもしれないが、大学などの研究機関にとっては、雑誌を継続的に購読し続けられる環境にあることが重要であり、価格が高騰した場合、購読を中止せざるを得ず、それは研究機関にとっても出版社にとっても望ましくない方向だと思う。両者が持続的に共存していけるような価格設定とサービス体制の設定（コストアップにつながるような新しいサービスは、たとえそれが便利なものであっても、そのコストを負担できない研究機関がでるかもしれないという観点から、行わないという決断を出版社がすること）を強く希望する。【教員，数物系科学，国立大学】

図書館でより多くの雑誌と契約して、個人の経済的負担無しでたくさんの雑誌が見れるようにして欲しい。【教員，医歯薬学-歯学，国立大学】

図書館で契約していない論文の複写を依頼したら、高価である点を改善して欲しい。【大学院生，数物系科学，PULC】

図書館で文献検索等のガイダンスをやっているのは知っているが、（こちらの都合で）なかなか参加できないので、同等の内容を Web 上などで提供してもらえると嬉しい。学生のうちは情報集めに不慣れだから。【大学院生，数物系科学，国立大学】

図書館にある雑誌のリストを、図書館の HP 上で可能な限りすばやく検索できるように、リストの構成を整えることにエネルギーを割いてほしい。【教員，医歯薬学-医学，PULC】

図書館によって利用できる（契約している）ジャーナルが異なるのは不便。学術研究用として、共通のデータベースができると良いと思う。【大学院生，生物学，PULC】

図書館に依頼すると、料金が高いので、安くして欲しい。【その他，工学】

世界の学術論文が自宅でも検索参照ダウンロードができるシステムがあると便利だと思います。図書館の書庫を歩き回り文献を探し、コピー機の前でコピーをするだけで相当の時間がかかっています。【その他，社会科学】

全ての学会は、学術論文を Web で検索でき、かつダウンロードあるいは印刷できるようにして欲しいです。学術論文は、その学会の会員以外の人にも活用できないと学術的意味がないように思います。【大学院生，社会科学，国立大学】

全ての学術的著作物はフリーにすべきだ（人文科学系）。リポジトリに期待している。【教員，人文学，国立大学】

全ての学術論文を電子化し、複写手続きなどがスムーズに、例えば電子検索ページからワンタッチで注文でき、その pdf が即日中にメール配布されるようなシステムを望む。現状では、複写依頼をしてから現物が印刷物として到着するまで 1 週間以上かかる場合があり、届いたところには論文複写依頼時と状況が異なり、価値が薄れている場合が多い。【教員，工学，PULC】

全ての雑誌が制限無く閲覧できる様にして欲しい。過去の論文も全て電子化して欲しい。【教員, 生物学, 国立大学】

全ての論文を一元管理できるようなシステムがあれば非常に便利。雑誌によっては検索にひっかからないものそうでないものがあるので, そのあたりを是正してほしい。【教員, 社会科学, PULC】

全ての論文を掲載してほしい。(古い文献は手に入りにくい)【大学院生, 工学, PULC】

全国どの図書館も共通して利用できるようなIDカードなどが申請できるようになればいいと思う。【大学院生, 人文学, 国立大学】

早く折り曲げることのできる液晶(USB接続もできて論文を取り込める)が開発されて, ペーパーレスになってほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, 国立大学】

相互利用で文献複写をする際, 紙媒体だけでなくPDFファイル化されたデータを利用できると便利。【教員, 人文学, 国立大学】

他大学から取り寄せる場合でも, pdfファイルで受け取れば…【大学院生, 生物学, 国立大学】

他大学の図書館利用について:印刷媒体は相互利用協定にもとづいて館内の開架コーナーを自由に閲覧できるが, 電子ジャーナルは利用できないのが残念です。私の所属機関では, 使いたい電子ジャーナルほど, リモートアクセス不可のものが多いように思います。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

多くがパッケージ販売されているため(特に電子ジャーナル), 図書館が高額で購入できないことがある。また, 毎年値上がりするため, 近年の財政状況では学術情報の確保が困難になってきている。【教員, 生物学, PULC】

大学あるいは部局での費用負担額が高価すぎる。【教員, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

大学が提携していない雑誌あるいは出版社の文献が入手しにくい, あるいは有料になるのが問題。学問発展のために, せめて著名な大学とは出版社側から積極的に提携するようになってほしい。【大学院生, 農学, 国立大学】

大学で利用できない雑誌が多いので, 購読雑誌を増やしてほしい。または, 文献複写のように, 電子ジャーナルを全国で共用できるようにしてほしい。【大学院生, 化学, 国立大学】

大学で利用する場合は, 全て無料に開放してほしい。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】

大学によって学術雑誌, 電子ジャーナルなどの整備状況は, かなり格差がある。【教員, 医歯薬学-医学, 国立大学】



大学によって読めない雑誌があり、論文の入手に時間・費用をかけることになり、大学院生にとっては痛い出費である。国として何とかできないか？【大学院生，数物系科学，PULC】

大学によって利用できる雑誌に違いがありすぎる。【教員，生物学，国立大学】

大学の経営方針などにより講読打ち切りとなった場合に、電子版のみ講読の雑誌はこれまでアクセスできていた過去の文献が読めなくなるので非常に問題であると感じている。印刷体は購読打ち切りとなっても過去の文献を廃棄しない限りいつまでも閲覧可能である。私の専門分野は1960-80年代の黎明期に非常に基礎的で重要な論文が数多く出版されたため、最先端の研究動向の調査とは全く異なった意味で当該年代の論文を頻繁に参照している。したがって、印刷体が可能な限り大学に残るよう、ただ祈るのみである。【教員，数物系科学，国立大学】

大学や研究機関に所属する者だけでなく、一般社会の誰もが、自宅または地域の特定の窓口からアクセスできるようになることを望む。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

大学間の格差を良い方向で無くして欲しい。研究者が運営費交付金を出して大学が購入するのではなく政府の政策として殆ど全ての学術雑誌（せめて頻度の多い上位1000誌など）の費用を出すべきである。この程度は日本が科学技術立国を目指しているのであれば当然である。【教員，化学，国立大学】

著作権のある図表を簡単な手続きで利用できるシステムが必要である。【教員，医歯薬学-医学，国立大学】

著作権や論文盗用などまみ見られるので、ネット上に文字情報を公開しないほうが良いと思う。【教員，人文学，PULC】

著作権法により論文の半分しか複写できない点。【教員，人文学，PULC】

低価格化，過去の論文の電子化【教員，数物系科学，国立大学】

電子・印刷体どちらにせよ，媒体の統一化を希望します。【教員，社会科学，国立大学】

電子ジャーナルでのみ利用できる雑誌の購読が取りやめになった場合，冊子体のものが図書館になくなるのは，問題だと思います。【教員，工学，国立大学】

電子ジャーナルに掲載されている論文を，数百円程度で購入できるようにしてほしい。【教員，数物系科学，国立大学】

電子ジャーナルの講読方法を統一して欲しい。【教員，数物系科学，国立大学】

電子ジャーナルの費用がばか高いのは問題、今後ますます値上げされるのではないか。電子ジャーナルは便利であるが、ネットが切れるとすぐに使用できなくなる点、危機管理上問題がある。【教員、化学、国立大学】

電子ジャーナルの無料化を希望します。abstract も無料ではダウンロードできないことがあります。【大学院生、複合新領域、国立大学】

電子ジャーナルはどこでも使えれるようになれば便利です。学内に英文添削部門があれば便利です。【教員、医歯薬学-医学、国立大学】

電子ジャーナルはできるだけ Free of Charge で使えるようになってほしい。閲覧しやすければ、それだけ引用されやすいし世間に広く知れ渡る。【大学院生、生物学、国立大学】

電子ジャーナルはとても便利だが、古い情報がデータベース化されていないことが多いので、冊子体も探さねばならず、結局二度手間になる。PDF などでも手元においておいても、読むときは紙媒体以上に優れた媒体がないので、印刷して読むことになる。自分で冊子体からコピーするか、電子媒体を印刷するかの違いに過ぎないのだが、時間がなくて切羽詰っている時は電子ジャーナルは 24 時間使えるので大変ありがたい。ただ、情報を幅広く仕入れたい時は、冊子体を手にとって眺めるのが一番効果的だし、電子版よりも記憶の定着率が良いように思う。文献を振り返って考える時は、冊子体の方が記憶に残っていると感じる。【大学院生、社会科学、国立大学】

電子ジャーナルはネットワークの不具合等で使えなくなる可能性があること、契約を解除したら「蔵書」が失われてしまうことに多少不安を感じます。図書館で印刷体を購読してきて、現在も所蔵している巻号の雑誌については古い年次の” Archive” も含めて無償で提供を受けられるように、各発行元に要望するなど図書館側からの働きかけが必要と思われます。(現在、化学系の多くのジャーナルは冊子タイト電子ジャーナルの契約が独立のようです) 【教員、化学、国立大学】

電子ジャーナルはやはり全体的に使い易いので、コストは膨大になるかもしれないが、大学の図書館は電子ジャーナルを充実すべきである。【大学院生、社会科学、PULC】

電子ジャーナルは非常に便利だが、電子アーカイブのみの保存には否定的である。パピルス以来、紙媒体による保存の有効性は明らかである。また、紙媒体の雑誌をピラピラと一枚一枚見開いて、論文を読むことで思いもかけない研究の発想力が生まれることがままあるので、電子ジャーナル一辺倒には反対である。人間の発想力は、キーワードを主体とした検索エンジンではカバーしきれない。このカバーしきれないところに、独創性が生まれるのだと思う。【教員、数物系科学、国立大学】

電子ジャーナルや冊子体のどちらにおいても料金がとても高いので所属機関による購読に頼らざるを得ない。もっと気軽に見れるような環境(料金など)であって欲しい。【大学院生、化学、PULC】

電子ジャーナルを大学だけでなく、自宅でも利用できるようになるとよい。人文系に限った話だが、電子ジャーナルは有力大学でしか利用可能ではない。誰でもどこからでも電子ジャーナルを使える

と、たとえば研究者が大学を移った場合や、OD、PD の学生にとっても便利である。【教員、人文学、国立大学】

電子ジャーナル等の利用でサービスは向上したが、将来にわたり負担が増えるのではかと不安である。過去に冊子体としてあったものが電子ジャーナルで見れないものもあり不便である。【教員、化学、国立大学】

電子ジャーナル購読契約価格が高く、かつ年々増加しており、図書費負担が高騰している。大学外からも電子ジャーナルを使いたい。【教員、工学、国立大学】

電子化されていないタイトルの雑誌の場合、「電子化されていないという事実」がわかるのに時間がかかる。また、有料で提供されているものも、学内からであれば閲覧できることがあるが、それが有料か無料かが判断しにくい。【大学院生、総合領域、国立大学】

電子化される以前の論文を、図書館へ所蔵する。【教員、医歯薬学-医学、PULC】

電子媒体での利用(PDF 等)は大学によって差が大きい。例えば Web of Science は大学によって検索できる年の範囲が違う。また PDF 等での利用も、大学ごとの契約によって、利用できる場合とそうでない場合がある。そのため、図書館を通しての検索サービスは機能面では優れているが、実際に論文を手に入れるためには、Google Scholar の方が優れている場合もある。財政的な問題もあって難しいと思うが、より自由な枠組みがあれば良いと思う。【大学院生、数物系科学、国立大学】

電子媒体で取得するにしても、コピー可能回数などは今後問題になるのではないかと思う。【大学院生、総合領域、国立大学】

電子媒体に全てなっているのなら利用したいが、目次だけ・要旨だけの場合もあり、統一感がない。一括したサイトがあると便利かもしれない【教員、人文学、国立大学】

電子媒体のものは、紙媒体に比べて、操作性のこともあり、読みにくいし、目に良くない。また、自宅のネット環境はさほど高速でないので、EメールやちょっとしたHPの検索以外には使いたくない。【教員、総合領域、国立大学】

電子媒体は企業に握られているので、契約が切れれば読めなくなる可能性がある。その点を留意。【教員、生物学、国立大学】

東京大学では論文がだいたいすぐに読めるので困らないが、他の大学にいたときは(online journal も含めて)読める雑誌が限られていた。こういうところで、研究を進めるチャンスが奪われてしまうのは良くないと思う。【教員、生物学、国立大学】

当然ではあるが、所属機関の購入状況に依存していることが問題になる。現時点では、多くの電子ジャーナルが購読されていて、さほど不満はないが(それでもアクセスできない重要な雑誌があり、

多少, 残念), 将来, 別の大学にうつったとき同等のアクセス環境が保障されないとすれば問題。【教員, 数物系科学, 国立大学】

特定の出版社の出版寡占状況が研究者の研究活動に悪影響を及ぼしている (特に Elsevier の抱合わせ商法は悪質である)。【教員, 工学, 国立大学】

特定の大学などの研究機関に所属していなくても, 低額で使用したい。【教員, 社会科学, PULC】

読みたい論文があっても会員制, 有料制となっていたりして結局読まずじまいとなることがあります。著作権などの問題があるためとは思いますが, 出来るだけ利用しやすい環境を整えていただけると幸いです。【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

読みたくても読めない論文があるので, 出版からある程度年数がたったものは, フリーで取得できるようにしてほしい。【大学院生, 医歯薬学-医学, PULC】

日本国内の大学や国会図書館や, 米英独仏の国立図書館に所蔵されていない雑誌のコピーの入手に非常に苦労する。【教員, 数物系科学, 国立大学】

入手が難しいものがある。また, 入手するのに時間がかかる場合が多い。【大学院生, 社会科学, 国立大学】

著作権の利用などが問題。大学の紀要などを廃止して, 公共性の高い PLOS などの電子 J にお金をまわしたらよい。【教員, 生物学, 国立大学】

比較文学的な研究をすることが多いので, しばしば専門分野以外の論文を探す必要が出てくる。異分野の論文が必要なときに, どうやって探したらいいのかわからない。図書館のレファレンスで論文は探せても, 探し当てた論文がその分野の中でどの程度の評価なのか (査読付論文なのかそうでないのか, 論として古いのか新しいのか), などの情報がわからない。せめて査読付きかどうかかわかると便利。【大学院生, 人文学, PULC】

費用がかかりすぎる点を是正してほしい【教員, 化学, PULC】

必要な論文を購入しなければならないことは, 大学院生にとっては非常な経済的負担である。論文をできるだけ無料で公開するなど (たとえば, 出版からある程度の時間が経ったものなど), 経済的な負担を軽くしてもらいたい。【大学院生, 人文学, PULC】

複写がさらに容易になることを期待する。【教員, 人文学】

分野によっても異なるのであろうが, ピンポイントで検索する論文もあれば, たまたま目に付く論文もある。それらを一緒にして, ただ電子ジャーナルの普及を目指してほしくはない。【教員, 工学, 国立大学】

文系の研究者にとって文献収集は生命線です。個人的には、個人の研究費を少し削ってでもデータベースを充実させることに賛成です。Web of Science の検索期間が、文系のほうが短いのも残念ですし、専門辞書や参考辞書の電子化もぜひ実現させて欲しいです (Gage Digital Reference Library など)。【教員, 人文学, 国立大学】

文系の論文でも、便利なデータベースを作って欲しい。引用文献の索引など。【大学院生, 人文学, PULC】

文献の複写サービスの価格がなぜ 40-50 円もかかるのかが疑問。高すぎる。【大学院生, 社会科学, PULC】

無料であればより良い。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

無料にて手に入らない論文が幾つもあるので、全て無料にしてほしい。【大学院生, 工学, 国立大学】

目的の論文を読むには、ネットで十分だが、新しいアイデアを考える時や研究のトレンドをざっと見たい時は、書物としての雑誌を読みたい。【教員, 化学, 国立大学】

有料なものが多いのでどこからでも無料で使えれば嬉しい【大学院生, 医歯薬学-薬学, 国立大学】

様々な便利な利用法があると思うが、それについての紹介をもっと大学図書館等で周知してほしい。【大学院生, 社会科学, PULC】

欲しい論文が読めないケースがある。中身を見てみないことにはそれが本当に重要な冊子なのかどうか分からないため、購入はためらう。自宅からも使いたい。【教員, 工学, 国立大学】

利用しやすい形態になってきているのは良い傾向だと思う。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】

利用のフォーマットを簡略化して欲しい。一度にたくさんの複写をお願いする時は記入に時間がかかる。【大学院生, 社会科学, PULC】

利用の際にパスワード入力が必要などの制限がある場合、どのように対処すればよいか分からなくなることがあります。もっと分かりやすい方法で説明されているとよいと思います。【大学院生, 農学, 国立大学】

利用の仕方と著作権について、心配になります。勉強会目的でコピーをとって配ったり、限られた仲間内、職場で共有したりすることは、厳密には違法なのかどうか。特にレビューを作成する際には、論文を1つずつ皆で検討するので、自由に利用できないと、厳しいと思います。【その他, 医歯薬学-医学, 国立大学】

利用料金【大学院生, 工学, 国立大学】

論文の抄録ぐらいはサービスしてほしいです。【大学院生, 総合領域】

論文の年間購読料があまりに高すぎる, 研究室の予算で買えない.オンライン契約と雑誌の契約で二重に料金を取られるが, どちらか一方にしてほしい。【大学院生, 数物系科学, PULC】

和訳サービスが欲しい。【教員, 医歯薬学-医学, PULC】